夕刊
滿洲日報
七月八日

教書の朗讀終るや否や劈頭から喧嘩腰の論戰
ロンドン條約批准の爲開會の米上院の特別議會

【ワシントン七日發電通】ロンドン海軍條約批准のため召集されたアメリカ上院特別議會は七日午前九時開會、副大統領カーチス氏議長席に着く定員不足の杞憂も破られて出席率よく議院成立すればフーヴァー大統領は別項のロンドン條約批准速行を促せる教書を送り書記官はこれを朗讀する、攻擊の急先鋒たるべきハイラム・ジョンソン・ジョージ・モーゼス條約支持のリードスワンソン氏等は緊張してこれを傾聽してゐる教書の朗讀終るや共和黨議員マッケラー氏は條約に關する總ての書類及び記錄の提示を迫り余輩たりしリード氏が「言せざる條件の下に提示すべし」といふや反對の頭目ハイラム・ジョンソン氏は「上院は關係書類の檢査をなす職能あり」と劈頭き劈頭の小競合をなすこの時ボラー氏の動議で條約正文を朗讀し直ちに散會した次回は九日開催の筈

米大統領の教書

【ワシントン七日發電通】別項アメリカ上院特別議會に對しフーヴァー大統領が與へた教書左の如し
無制限な武力を有することをアメリカ國民の目的なりと信じてゐる人々から海軍縮小又は制限に對する反對を受けることは吾人の當然豫期せねばならぬことで吾人は實にこれと同樣な型の人々をイギリスにも日本にも見るのである、しかしアメリカ國民の壓倒的多數はかゝる**頑迷な人士の觀念に反對してゐる**と余は確信してゐる、アメリカは世界で最も富裕な國であるから建艦競爭にて他國を敗退せしめ得ると考ふるは實に愚も甚だしいものである、アメリカがかゝる擧に出でれば他國は如何なる犧牲を拂つてもアメリカに對抗するに必要な武力の維持に努めるであらう斯くてアメリカは全世界の敵意の渦中に飛び込むやうなもので世界各國に無用な負擔の增加を强ふる結果となる、殷鑑遠からず彼の歐洲大戰は武力の競爭が遂に無益であることを證據立てゝゐるではないか**今回締結されたロンドン條約の大綱は昨年夏から窺ひ知られてゐた**而して條約に對する判斷に關係ある總ての個々の事實も亦既に前から知られてゐたもので、條約文その物はアメリカの義務を規定したものである、若しアメリカにして條約の批准をせざらんか世界は再びその進歩から後退するやうになるであらう、ロンドン條約はアメリカ國民の理想を保證するものであり且つ**日、英、米三國の海軍を合計三十萬噸縮小した**しかし要するに問題は巡洋艦の僅少なる差といふが如きことでなく吾人がこの軍縮條約を調印するや否や又將來海軍の制限或は縮小に向つて邁進するや或は武力競爭の不幸なる時代に入るや否やの問題である

首相・實業家の財界對策意見聽取

政府は官民協力による產業合理化の目的達成の爲濱口首相が主となり各方面の實業家の意見を聽取する目的から三日正午首相官邸に東京・大阪・横濱・名古屋の實業家約六十名を招待し意見の交換を行ひ午餐を共にした（寫眞は前列右より大橋新太郎・田中拓相・濱口首相・俵商相・郷男・首相の背後は土方日銀總裁）

故王士珍氏
北洋派の元老
內爭より超越して曾て亡命した事が無い

▼…北洋派の四傑（邦人は四天王と稱した）王士珍、段祺瑞、馮國璋、梁華殿は袁世凱が小站練兵時代の逸材で支那軍閥はこの四天王によりて建設された、日清戰爭に敗れた後、支那の讀書子は悲憤慷慨の餘り、擧つて軍人を志したが幾多の俊才中特に傑出し袁世凱に重任されたのがこの四氏であつた、梁華殿は不幸溺死し民國になつてからは殘る三氏が袁世凱を擁して龍の如き王士珍、虎の如き段祺瑞、豹の如き馮國璋と稱せられ天下を睥睨し共和成立後袁の亡くなるまで約五ケ年間は假の統一が實現した、袁亡き後三氏中、虎と豹は絶えず睚み合つたが龍は殆ど禍中に入らなかつたから信望は今日までつゞき曾て租界や外國へ亡命しなかつたのでその識見は各方面から畏敬され衣鉢を嗣ぐ者に吳佩孚の如きを出した

▼…段、馮の睚み合には安直の爭鬪となつてこれに循環的因果關係が生じ民國の爭亂史を染めた、辛亥革命に際し部下に謀られたのであらう、段は津浦線へ、して馮は京漢線へ、袁は王を大兵を率ゐて南進した、知のところ、然るに馮は早くも武漢を攻めその勢當るべからざるものがあつたので黃興の如きは南京へ逃亡し今一息のところで折角の革命はフイになつて了はんとした

▼…清朝の喜びは大したもの、破格の恩典で馮は一等男爵に叙せられた、津浦線の段は一彈をも加へず戰機を待つてゐたが武漢の戰況を見るや勿論袁の密命を奉じてであらうが突如出征將領聯名で清朝に退位を議願する通電を發した共和政體はこれに因つて生れ段は殊功の第一位に坐つたが、馮の一等男爵はスッ飛んで了つた、虎と豹の感情が面白くなくなつたのはこの時からだといはれる、しかし民國九年十二月馮が薨ずるや段は直ちに柩を叩いて長太息し親友を弔つた

▼…馮亡き後、往年の四天王は僅に王、段兩氏となつたが今月一日北平に王士珍逝き、所謂北洋派の元老は虎の段一人となつた、而も天下は北洋派に育ぐまれた武將が血みどろの大戰裡に在り、蓋し感慨深いものがあらう

王士珍は、聘卿と號し、正定の人、北洋武備學堂卒業後、袁に賞識され、山東巡撫參謀處總辦兵部侍郎、陸軍部大臣、陸海軍統率辦事處坐辦等に歷任し、民國六年段內閣參謀總長、復辟の後、經義內閣陸軍總長、十一月國務總理兼陸軍總長、十年蘇院贛巡閱使、十四年善後會議會員、軍事整理會委員長其他の要職に歷任した十七年張作霖北平を退出するに際し請はれて治安維持會長となり北京の秩序保持に當り世人よりその功を稱へられたが、その一生は近世支那史の大半に交渉を有つてゐる

▼…王氏は革まるや余は小站に練兵以來こゝに數十年、祇だ國と民あるを知りて身と家とを知らず、今年七十、孑孑然たる一身、自ら心に向ふて愧なし、たゞ國家の前途を念へば土匪地に遍く兵戈寧日なしこれ心に不安とするところ邦人君子に一致して和平を祈禱し統一局の局を實現せしめられむことを望む、余九泉に在りと雖も亦心安し家事は余の平常の辦理に依るべし人の死や烟の如し厚葬する勿れ
の遺言を認め溘然長逝したが直隷派の人々は、その人格を稱へて支那のヒンデンブルグ將軍だとし、その死を悼んでゐる

▼…曾て張宗昌が民國十五年得意滿面、兵を率ひて北京に入つたところ「張宗昌とは一體何者だ」と諷刺を通じて王氏に面會を求めたとて遂に容易に會見を容さなかつた程の氣概を有つてゐた（寫眞は王士珍氏）

地方債許可額
七千四百萬圓

【東京七日發電通】事業界の沈衰失業者激增に對策として內務省では既に二回に亘り失業救濟事業のためにする地方債起債許可緩和の訓令通牒を發し今後更に失業救濟事業を廣義に解し財政計畫の確實な限り地方起債を許可し生產事業の振興を促す方針であるが目下內務省地方局には各地方から起債申請山積し七日の發表に依れば失業救濟關係地方の申請現在額は總計百一件六千八百三十八萬餘圓に上り當局では審査の結果右申請額の約半分三千五百萬圓を許可する事に決定してゐる尚七月一日以來許可した關係地方債は總額七千三百七十三萬圓に及んでゐる

海軍新國防案と閣內の意見
首相近く樞相と協議

【東京特電八日發】海軍首腦會議の新國防計畫案補正は十四日以後でなければ完了を期し難いため政府はその成行を非常に憂慮してゐるが目下の處
一、計畫案は條約御諮詢奏請の條件でないから海軍省と軍司令部の大綱を以て樞府に說明し、元帥、軍事參議官等への諒解は豫算編成期でよい
二、暑休前に御諮詢を奏請し海軍側の計畫案決定と併行せしむべし
三、併行審議は問題を紛糾せしむるから軍部の諒解決定を待ち御諮詢を奏請すべし
四、英米の態度を考慮するため計畫案決定を待ち暑休後の御諮詢も止むを得ぬ
五、官廳の暑中休暇は七月廿一日から各廳の都合により賜はるのであるから暑休中と雖も御諮詢を奏請し樞府の審議を求めればよい
と政府部內には硬軟兩樣の意見が唱へられてをり、近く濱口首相は倉富樞府議長とこれらの點につき協議するであらう

撫順製油來月から海軍に納入を開始
精蠟も市場に賣出す

【東京特電八日發】撫順のオイルセール事業は昨年十二月より工場一部の運轉を開始し更に本年五月より工場全部の運轉を行つて居るがその成績は頗る良好であり製油は愈々來月より海軍に對し一航海二千噸（卽ち約四千噸）宛の納入を實行する運びに至り、一方この事業と關聯する山口縣德山の日本精蠟會社工場の設備も着々進捗し本月中には全部完成するので遲くも來月末から其製品を市場に出すことが出來るであらうと

石炭液化事業も採算の見込立つ
來月試驗作業を開始

【東京特電八日發】滿鐵が海軍と協力し德山の海軍燃料廠において研究中である石炭液化事業は其後頗る順調で豫定通りに進捗しつゝあり經濟價値についても十分採算の見込みがつくに至つたので本年八月頃には愈々本式の試驗作業を開始し得る運びに至る豫定であると

製鋼所問題決定保留
齋藤總督電請

【京城特電七日發】昭和製鋼所設置敷山說頓々たるにより、朝鮮では更に全鮮的に輿論を喚起し、猛運動を開始することに決定したが一方齋藤總督は七日松田拓相宛長文の電報を發し、總督東上迄決定を保留すべく電請した、因に總督

國際無線電話の施設案骨子
設備は全部民間の會社に
發受信所は東京附近

【東京特電八日發】電話半民營會社の設立、小兒保險の實施などと相並んで所謂小泉遞相の五項目提案中、本邦通信事業に一エポックを劃するものといはれてゐる國際無線電話の施設は先ごろベルリン東京間に通話の成功した例もあり注目をひいてゐるが、遞信省案の骨子は大體左の如くである
一、差しあたりアメリカ、ヨウロッパ、マニラ、香港、上海の五ケ所と無電通話を開かせる
一、發受信所は東京附近における中繼所を經て市內電話に連絡させる
一、設備は全部民間會社にやらせるが管理事務は政府の手で行ふ
一、設備費約五百萬圓
一、總受信電力は對米對歐二十キロ、其他各十キロ
尙詳細な技術的內容は目下歐洲視察中の稻田工務局長が九月に歸朝するを待つて決定される筈で民間からは既に二三の出願もあるが技術上または近き將來の採算上疑問の點もあり、會社を新設させるか既存會社（日本無電）に兼營させるかも尙研究中であると

玆三週間以內に北方政府を樹立
親日主義が外交の中心
朱鶴翔氏の時局談

【北平七日發電通】閻錫山氏の招聘に依り太原に赴いた朱鶴翔氏は今朝歸平して語る
北方政府組織は既に決定的準備期に入り目下組織內容について研究中で今後三週間を出でずして成立する見込みである、政府は勿論正式國民政府であつて臨時的でも軍政府でもない政府の形式は可なり多數の委員より成る最高委員會がその主體となりその責任內閣を置く事になつてゐる、閻錫山氏は黨を基礎とすることを主張し各派が各々その主張を犧牲にせんことを期待してゐる而して政府成立の上は直ちに外國側に對し正式承認の要求をなすことは勿論である、閻錫山氏は國內平和の回復と國交親睦の增進を期し特に日本に對しては一層兩國の良好なる關係を增進する樣希望し居り親日主義が閻氏の外交政策の中心となるものである

の東上は李王殿下御歸鮮その他の爲本月中頃となる由

電話會社計畫多少變更

【東京八日發電通】中野遞信政務次官は八日午前九時二十分濱口首相を官邸に訪ひ電話會社は調査の結果當初の計畫を多少變更するに至つた旨報告し諒解を求めて十時辭去した

吳防備隊に氣球隊

【吳七日發電通】吳防備隊は今回の編成改正に依り防空の任務に就くため氣球隊を置く事となり近く海軍航空隊より輸送されるが同氣球隊は四隊編成で隊長も同時に任命さるゝ筈

支那內地の醫院へ今夏實習生を派遣
將來支那で活躍する爲の準備
滿洲醫大最初の試み

【奉天特電八日發】支那內地における支那人の生活狀態並びに支那人患者の取扱ひを體驗せしめ將來支那內地で活躍する確乎たる人物を養成するため滿洲醫大では本年最初の試みとして今夏休暇を利用し本科四年生から九名選拔し天津は共立醫院、北平は同仁會醫院、上海は福民醫院その他青島、濟南の各醫院に實習生として派遣し研究せしめることゝなりその實習生（上海）池田駿雄、鹿子生嵩、趙恩琛（青島）伊藤修、絹島正利（濟南）齋藤新太郎、小俣良治、井道穗一（天津）平井篤太郎の六名は五、六兩日に亘り夫々目的地へ向け出發した

今後卒業資格に華語試驗を加ふ
◇……森醫大幹事語る

これにつき森幹事は語る
醫大の會計獨立後一ケ年經過せる今日醫大としての使命を遺憾なく發揮せしめるため今夏初めての試みとして明年卒業する學生中から特に選んで支那內地の各醫院に派遣し

實地研究をなさしめることになつた將來發展の道が開かれる學生としても非常な意氣込みであるため好成績を納めることゝ思つてゐるがその成績によつては今後どしく派遣せしめる考へである、之がため本大學卒業生は當然支那語に熟達することが必要となつて來るので明年から本大學を卒業するものは少くとも支那語の三等通譯試驗にパスする力あるものでそれ丈の支那語を話し得ないものは他の學科はパスしても卒業の資格が與へられないといふ他と變つた方針を採ることゝなつたそして支那語

通譯試驗の二等にパスする力を有するものは大學としても特別の獎勵金を與へる考へで獎勵金規定まで成り來る十五日頃開かれる評議員會に提出し確定することゝなつてゐる、又今回派遣された學生中特別の要件がある外主として日本人學生を出すことになつてゐる、そして實習期間は三週間で歸來し自分で研究した報告文を書かしめその內容によつては獎勵金を出すことになつてゐるその外

四年生で派遣されないものは沿線の醫院に出張し實習を行ひ又三年生でも滿鐵衞生課と打合せを了し大學內に殘るかそれも沿線の醫院に出して力めて實習をなさしめてゐる

滿鐵販賣部機構
各課の分掌規定決定

滿鐵販賣部各課の事務分掌規定はやうやく八日決定發表されたがそれに依れば販賣部は庶務、石炭、鐵鑛の三課に分かれ石炭課の內には甘井子埠頭完成に伴ひ新たに大連受渡事務所を設置し本社を甘井子埠頭に置くこととなつた、販賣部各課諸係左の通り
△庶務課　庶務係、調査係、計算係、照査係
△石炭課　地賣係、輸出係、運輸係、計畫係、大連受渡事務所
△鐵鑛課　銑鐵係、雜品係、計畫係

韓氏日本へ亡命說

【青島七日發電通】山西、韓復榘兩軍は一昨日來淄河臨淄の線で主力接觸し激戰中であるが韓軍の形勢漸次不利となり濰縣方面に向つて大部隊を後退せしめつゝあり韓復榘氏の運命もこゝ數日中に迫れるものゝ如く韓は後事を孫桐萱氏に托し日本に亡命せんとの說が傳はつてゐる

細菌檢査所長
村川五郎氏招聘

長春細菌檢査所長坂本醫師は今回の滿鐵大異動で依願退職となり缺員を生じたので本社衞生課では同氏の後任を物色中の處九大醫學部出身村川五郎氏を招聘するに決定し氏は來る十五日來滿直ちに赴任する村川氏は東大藥理學部を出で再び九大醫學部に學んだ人で細菌學に造詣深く目下學位論文提出中であると

西山正金支店長けさ赴任

神戶支店長に榮轉を見た大連正金銀行支店長西山勉氏は八日川帆のはるびん丸で任地へ向け出發、埠頭には在連中交遊多き同氏の事とて見送客頗る多く加へて夫人連の華々しい見送りがあつた船室に同氏を訪へば
永い間お世話になりました、在任中大した失敗もなかつたことをよろこんで居ます、今度私が赴任します神戶と大連とは近い間ですから又度々お目にかゝることもありませう、何卒今後とも宜しく

人事

◀西山勉氏（正金神戶支店長）八日大連出帆はるびん丸で赴任
◀江原節三氏（海務局港務課長）同上東京へ
◀市川數造氏（滿鐵鐵道部經理課長）同上
◀關鑑子氏（聲樂家）同上歸京
◀東京帝大農學部學生十六名滿洲視察中のところ同上

大觀小觀

滿洲輸入組合聯合會の肝煎る第一回滿洲品本市、すこぶる好評。
◇
とにかく進步した日本の生產商品を以てして、世界の消費界に販路を擴張し得ぬ筈はない。
◇
若し、それが出來ぬとあつては、販路擴張の努力が足らぬとせねばならぬ。
◇
どんなに廉價で上等のものがあつても、それの紹介、宣傳が足らねば販路の擴張、覺束なしと知るべし。
◇
豐田式織機や丹羽式電機がドイツやイギリスに歡迎される時代である。
◇
國產奬勵なぞとは野暮の骨頂、海外に對しては上品で廉價な商品を供給すべきである。
◇
この意味において第一回滿洲見本市の好評ある、所以なきにあらずである。

天氣豫報

九日（南の風）曇驟雨模樣

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二二、八	二二、七
旅順	二三、二	二四、九
營口	二三、五	三〇、八
奉天	二六、九	三三、五
長春	二七、七	三〇、七

滿潮（午前九時二十六分　午後九時三十五分）
干潮（午前二時十五分　午後四時〇分）

沈沒船の乗組員を收容 濃霧を突き奉天丸入港

三山島南方にて一夜を明して

濃霧中ノールウエー船ダムプト號(支那名坤和)と衝突、僅卅三分間をもつて沈沒せしめた大汽所有船奉天丸はその後ます〳〵深まつたガスのため二進も三進も叶はずそのまゝ三山島南一哩四分三の地點に假泊、大連港を目近に見てむなしく一夜を明し、八日早朝大連入港の豫定のところ、更にガスは散逸せず「霧の晴れ次第入港」の無電を放送するにとゞまり、早曉より詰めかけた檢疫官、水上署員新聞通信社員等を失望せしめ午前中に小蒸汽をして再三ガスを犯して出港せしめたが何れも空しく歸つて來るといふ有樣であつた、しかるに十一時四十分、漸く風向きの變化につれガスが薄れたと見えたが、その時「奉天丸入港」の報あり一同勇躍して折柄ウネリの高まつた沖に同船を迎へ、零時卅分十番バースに繋留された、奉天丸の當地海務局への遭難報告によれば同船は七日午前四時五十五分南島角を廻り定期の航路を執り大連に向ひつゝあつたが、同時刻約八哩半のスピードを持つたノールウエー船ダムプト號と瞬間に衝突沈沒せしめたものであると

若しあちらで引續き鳴らしてゐたらあんな事にはならなかつたらう、自分としてこんな事をいふのは變だが自分はベストをつくしたと思つてゐる、若し本船とダムプト號の **位置が** 置きかへられてゐたら大した事になつたらうと考へれば慄然たらざるを得ない、何れ海事審判に廻る事だらうがその際詳細報告するつもりである、あちらの乗組員甲板部十三名、司厨部六名、高級船員六名、機關部十五名のものは全部救出できた事をよろこんでゐる、何れにしても皆様に御心配をかけて濟まない、貴紙からよろしくお傳へ願ひたい

奉天丸が沈沒してたら 三分一は溺死したらう

不思議な諾威船乗組員の態度

奉天丸船客交々 當時の模樣を語る

奉天丸乗船中の一等船客大同運輸取締役社長織井武次郎氏、上海長發公司社長小田勇造氏は交々當時の模樣を語る

青島を 出たのは六日の午後でその當時からひどいキリであつた、奉天丸は間斷なく警笛を鳴らして霧の中を航行してゐたが七日午前四時五十五分、山東角を去る南三十哩の地點で衝突、その時の模樣は船體に異樣なショツクを感じたので出て見ると本船の船首が他船の第一船艙に巾二尺位、長さ廿尺位の穴をあけ一時は並行してくつゝいたがそのまゝ破損箇所より浸水石炭が

ドツと 穴からはみ出すのを見たと思ふうちに二隻のボートを下して他船の乗組員が本船に救出された、本船の方は警笛を鳴らしてゐたが他船は衝突の二時間程前に一回信號したに過ぎなかつた、我々の異樣に感じた事はあちらのジョンセン船長が船が並行したと思つたら日本の浴衣がけのまゝいつの間にか奉天丸に乗移り、知らぬ顔をしてゐた事や、高級船員が下級船員に對して

冷淡で あつた事、下級船員(支那人)が我れがちに蒲團手持品をもつて避難したことだ、我々の考へから見てジョンセン船長の執つた態度は不思議である、無電技師の如きもSOS打電どころか逸早く避難して來てゐた、只當直だつたらしい一等運轉士のジャーネー氏が航海日誌をもつて悲痛な面持であつたのが氣をひいた位である、もし逆に本船だつたら恐らく三分の一は助からなかつたらう、またあんな

無責任 な船長だつたら救ひもしなかつたらうと思はれる、これは自分等だけでなく奉天丸の外人船客も船長の態度を不審な目で見てゐた、われ〳〵は共に海事審判にはいつでも證人として出るつもりで居る

咫尺をも辨じ難いガス中あの速力でやつて來られてはたまつたものでない、それにあちらの船は汽笛は一度耳にしたのみで、

奉天丸船長の處置には感謝

總ては海事審判で 白髪のダ號船長談

遭難したダムプト號の乗組員白人五名、支那人三十五名は奉天丸に救助せられ入港したが、白髪の老船長ジョンセン氏は借衣の白詰襟服姿にて語る

遭難當時は霧が非常に深かつた何方が悪いなどとは今いふことを避けたいが、當時の模樣は海事審判もあることだしその際詳しく述べたい、ダンプト號には保險は附してある、たゞ奉天丸船長が遭難した私共に對してとつた處置に對しては我々一同心から厚く感謝してゐるところである

警笛も鳴さず快速で航行

濃霧の中の威諾船 穂積奉天丸船長談

奉天丸船長穂積一穂氏は五日來の不眠不休の執務と事件發生の責任に緊張してゐたが十二時半齋藤と共に「御心配でしたらう」「御苦勞さまでした」と見舞と激勵の言葉をあび乍ら船長室において記者に語る

「上海出帆時よりガスがひどかつたのでかなりの **難航と** 思つて充分警戒して來た、自分は五日以來なるべく自分がブリツヂに立つ樣にしてゐたが、七日曉一寸下に下りてゐる間に椿事の出來したもので、當直にチーフメイトの向井政雄君だつたか變だと氣附いてすぐ危險ベルを押したので直ちにブリツヂに上つたところ、ダムプト號は約八哩半のスピードで突進して來た、本船ではストツプエンヂンで當時警笛を鳴らしてゐたが **あはや** と云ふので避けんとしたところ一時並行になり瞬間に本船船首をダムプト號の第一船艙に突ツつけたので、あの

入港した奉天丸

(下)救助の諾威船高級船員

大連飲食店組合 役員追出し運動

麵類部を中心に舊幹部派 注目さるけふ開催の役員會

新舊幹部の軋轢から再び内訌を暴露した大連飲食店組合は、いよいよカフエー、麵類業、一般飲食の三派に分離すべき氣運を釀成しつゝあるが、麵類部を中心とす舊幹部派は過般總會に於てカフエーを中心とする幹部派に役員を乘ッ取られたことに反感を抱き、今回再び内訌の表面化を機會に新役員追ひ出しの **陰謀を** 策しつゝあり、成行きを注目されてゐる、即ちさきに關東廳より突如組合規約中の六十個問題を削除されたことは新役員の失態であると難詰し、かつ組合内の紛糾絶えざるは新役員に人物なき立證であるとなし、この際臨時總會の招集を要求して現組合長の不信任案を提出、一氣に新役員の追出しを策さんとしてをる模樣であるが、八日午後二時から西廣場組合事務所で開催される桑島組合長以下役員會にて過般麵類部會で **決議し** た分離要求を如何に取扱ふかが問題とされ、この結果によつて舊幹部派から臨時總會開催を要求されるものと見られ、新舊幹部の泥試合はますます激烈化する模樣である

うらる丸 九日午前八時半大連港外着豫定

大連在住支那人の 社交、娛樂機關

天盛倶樂部愈よ生る

大連には支那内亂の爲めに失脚した大官や巨頭の實業家等多數の貴顯紳士が在住してゐるに拘らず未だ何等の社交機關や娛樂機關がなかつた爲め何れも無聊を歎じてをり、土地の **發展上** からも甚だ遺憾とされて來たが、今回恭親王や霍貫子、臧孟飛、李商奮、鄧鶴飛、潘鷺翔、林聘琛氏など十三名が發起人となり大連在住の支那人知名士のみを網羅して天盛倶樂部を組織すべく奔走中である、同倶樂部は會員相互の智識を交換し親睦を圖る爲め

一、講演會、談話會、食事會、娛樂的會合を爲し

二、圖書を備へて縱覽に供し

三、各種の娛樂機關を備へて會員の使用に供する事

等を行事となし事務所を大黒町二十六番地に設置した、倶樂部には尚ほ五名以上、十名以下の理事、五名の監事、および三十名以上五十名以下の評議員を置き **經常費** は會員の會費その他の收入を以つて支辨し、會員の資格は支那人に限り相當の地位あり恒產ある者若くは一定の職業を有する者に限られ入會する者は入會金五十圓、會員になれば州内在住者は毎月五圓、その他の地方會員は二圓となつてある、會場は午前十時より午後十二時までを使用時間とし政治上、宗教上または營業上の集會に使用する事を禁じ主として社交的娛樂的に使用しやうと云ふのである

意思疏通と景氣挽回に

霍貫子氏の話

右に關し發起人霍貫子氏は語る 近來支那政局多事にして南支各地の支那豪商は舊地の不安を感じ當大連に移轉と何等かの創業をなさんとする者尠くない狀態にあるが、遺憾ながら大連の商況および土地の人情に通ぜず官憲の取締や日本法律政令の **如何に** 危惧の念を抱き、またその中に立ちて意思の疏通を計る者なく遂には障壁を生ずる事になる、其處でこれ等の人々の爲めに何か社交機關か、娛樂機關を設置し當地在住の紳商等とも常に會合し意思の疏通を圖る時は當地に於ける實業狀況および當局の待遇の宜しきを知り始めて投資開業し、また **事業家** の來連を促す事ともなり大連市中の景氣挽回策にもなるので今回私等同人は一切の犧牲を排し天盛倶樂部組織に至つた次第である、この上は何卒中外の先見の明ある士は日支兩國親善の爲め遠大の計を以つて賛助と後援を得ば大連前途の爲めにも幸甚である

『國產品愛用は 家◦庭◦か◦ら』

四宮妃殿下の台臨を仰いで 先づ手始に講演會

【東京特電七日發】國產品愛用は先づ家庭からのスローガンの下に全國的實際運動の火蓋を切るべく下田歌子、吉岡彌生、井上秀子、本野久子、諸女史外都下婦人團體各女學校の代表者等百三十餘名は七日午後三時から東京府廳に參集し牛塚府知事以下の關係官も出席しその實際運動の第一歩として來る十二日日比谷公園公會堂に講演會を開催するを始め、その他の具體案について協議したが同日の講演會には特に閑院宮妃殿下を始め、三宮妃殿下の台臨を仰ぎ實際的運動に關する決議をなし着々實行する豫定であると

納涼角力で取込み詐欺

大阪力士が

市内浪速町三丁目の納涼角力を種に各方面を騙り荒した力士が豪遊中大連署に檢擧された、この男は大阪角力男鈴山一行の開心こと黑石精二郎(三〇)といひ、六月廿六日上海から來連、市内西公園町七七番地公園館に山本正男と僞名投宿し、目下浪速町三丁目で開催中の納涼角力を種に一稼ぎせんと企て、主催者たる元力士蘆田川の弟分と士連といふ **奉加帳** を持ち廻つて市内伊勢町久保洋行ほか百五十二軒から百數十圓の寄附を取込み詐欺を働き、逢坂町小尚子の廓で駄々羅遊びを續けてゐたこと發覺、七日旅順へ遠征豪遊中を大連署吉岡、春日兩刑事に逮捕された、彼は取調の係官に對し「どうも濟まんことでごわす」と巨大な圖體で低頭平身してゐるが、警察では力士を看板に惡事を働かぬやう近く丁髷を落す筈

寄附電話

申込は來る十一日から十六日迄

大連電話局では七月十一日から十六日までの間本年度の寄附電話を募集することになつたが、開通料は前年同樣の三百三十圓(老虎灘、星ケ浦は四百三十圓)で申請の際全額を豫納し八月末ごろには開通せしめる見込みであると、尙聞くところによれば不況の折柄にも拘らず大連市中には實際電話を必要とする向が相當多數ある模樣で、寄附電話募集開始期の問合せをなす者多く、結局受理數超過となつて前回同樣抽籤により採否を決定するに至るであらうと

惡德記者・

滿鮮を股に強要稼ぎ

最近内地、朝鮮方面から誇大な肩書をもつた新聞、雜誌の惡德記者が滿洲に多數流れ込み、恐喝、詐欺に等しい手段で良民を泣かせてゐる事實頻々としてあるので大連署高等係で鋭意査察中、京城府初音町八五番地太田茂樹(三六)といふ男が千葉毎日新聞外十數の社名を連ね滿鮮支局長の肩書で全滿各地に亘り賛助金及び購讀料を強要して廻り最近大連市内に入り込んだので七日大連署高等係に引致取調べると、右の者は京城越智省三といふ新聞支局ブローカーの手先となり前記の手段で全滿で約二千圓の強要を行つてゐたことを自白、引續き取調べ中

滿電乗務員會に不穩の空氣

過般來滿電乗務員會の牛耳を執つてゐた川村啓吾が會社から突如解雇されたに端を發し内部に不穩の空氣があり所轄大連署で警戒中、七日午後七時監部通「いろは」において乗務員十五名發起の下に川村の送別會を開催したので、滿電側は時節柄、從業員多數の會合をおそれ大連署を通じ監視おこたらなかつたが、當夜は何事もなく無事散會した

滿鮮を荒した 窃盜旅役者捕ふ

逢廓で登樓豪遊中 徴兵忌避の疑ひ

山口縣熊毛郡室隅町戸仲豐田一(二〇)は本年某歌舞伎劇團員として來連の途次朝鮮、遼陽その他沿線各地において窃盜を働き、來連後は沙河口劇場より現金二百三十圓を窃取して市内逢坂町料理店「戀しき」に登樓し抱へ藝妓豆千代を敵娼として豪遊して居るのを去る五日沙河口署鳥飼刑事に逮捕されたが、同人は本年度徴兵忌避者として本籍地よりの手配により大迫憲兵分隊にて捜査中のものであること判明、同署にて取調べの結果、

豐田は 日本人ではなく朝鮮忠清南道太田郡杷城面佳水院里用れ成周伯(二〇)といふ朝鮮人で幼少のころより前記山口縣に兩親と共に永年居住し親戚のものよりも風貌及び言葉が日本人そつくりであるから日本人としても恥かしくないからといはれ、それ以來日本人となつて豐田性を名乘つて居ると稱してゐるが、本籍地山口縣よりの徴兵忌避者としての手配もあるので或は同名異人ではないかと同署では寫眞を添へて兩原籍地に對し照會することゝなつた

虐待で悲觀自殺

沙河口管内西山會香爐礁第三區一三八滿鐵大連工場苦力實雲川の妻實朝氏(二〇)は七日午後十時ごろ石油に支那マッチの燐酸を化粧用白粉に混合して嚥下し苦悶中を夫に發見され直ちに同壽病院に收容し應急手當を施したが生命危篤、原因は最近原籍地直隷省より夫を頼つて來連したが夫より常に虐待されるのを悲觀してであると

無鑑札女給を働かせて營業停止

市内大正通り六番地飲食店都食堂こと柾木ウメは最近無鑑札女給四名を使用し沙河口署より再三注意を受けたにも拘らずその手續き怠り、遂に八日より向ふ十四日間營業停止を命ぜられた、尙柾木は昨年八月も同樣無鑑札女給を使用して科料十七圓に處せられたことがあると

西久保弘道氏 今曉遂に逝去

【東京八日發電通】今春來腎臟結石病にて千葉縣下八幡町菅野の自邸に療養中たりし元東京市長貴族院議員西久保弘道氏は、この程病革まり八日午前四時遂にミサ子夫人、嗣子良行氏初め近親者に守られつゝ逝去した、享年七十二、なほ告別式の日取未定 氏は佐賀縣出身、地方長官として各地を歴任し北海道長官警視總監を勤め劍道の達人であつた

訂正 本紙六月十八日朝刊第七面記載の「銀安が杲り二高級船員を誠」の記事中、事の經緯を被誠首者濱岡某、森某の二名が水上署に出頭逐一報告したとあるも右は濱岡一人が出頭報告したものにして森某は全然右報告には關係なきこと判明茲に訂正す

電話寄附開通申請受付

一、受付期間 七月十一日より七月十六日迄
一、寄附開通料 金三百三十圓(老虎灘、星ケ浦は金四百三十圓)を申請の際豫納
一、申請者多數のときは抽籤若は審査に依り受理を決定す

昭和五年七月

大連中央電話局
同 沙河口分局

妻元子儀 豫而病氣の處養生相不叶去七日午後七時死去仕候間御通知申上候
追て葬儀は明九日午後三時途中行列を廢し東本願寺に於て執行仕り候尙花環等は固く御斷り申候 櫻花臺三十番地

夫 山下清秀
母 春田タネ
友人總代 鎌田彌助

公告

本年七月一日滿日、大連兩新聞ニ掲載セラレタル本組合ニ關スル業務横領事件云々ハ或者ノ中傷ニテ檢察局ニ於テ公明正大ナル御取調ノ結果七月七日事實無根トシテ不起訴ニ決定シマシタカラ茲ニ紙上ヲ以テ公表致シマス
追テ滿日記事中事務引繼ニ就テ前組合長トノ間ニ綿密ナル引繼ナシトアリタルハ前組合長丸二商會佐志雅雄氏ト現組合長双互間ニ昭和三年十二月二日完全ナル事務引繼ヲ完了シテ居リマスカラ併セテ公表致シマス

昭和五年七月七日

大連運送通關組合長 山崎清吉
外役員一同

謹告

滿洲見本市七月十日 午前八時より正午十二時迄
一般の從覽に供します

第一會場 大連重要物產取引所樓上
第二會場 大連商工會議所樓上

昭和五年七月

滿洲見本市事務所

艶色生膽祕譚 (166)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

哀別 (二)

漸つとのことに辿りついた小屋の木戸前。いやにヒツソリとしてゐる。

「あゝ、矢張三藏は逃げ遲れたか不憫な奴よ」

唇にこそ出さなかつたが、左近心ひそかにから思つた。

「やれ／＼忝じけない、そなたのお蔭でどうやら此處まで身が運べたといふもの、」

「そりやアさうと三藏めは？」

すると重五郎は瞳をふかめ乍らも、

「なアにきつと野郎、戻つてゐるに違えござんせん」

木戸口にたらした荒むしろをクルリとまきあげ、まつくらな小屋內へ首をつッこんだが、

「おお、お染！お染！」

「あいよ！」

ほの白く浮んだ顏。

「おや三藏さんは？」

「あれツ、まだ來てゐねえかい？」

からは云つたが重五郎、さすがに人情、忽ちサツと憂ひの影がその顏に流れた。

「と、とんでもねえことが起つてよ、それ御挨拶申しあげねえか、旦那が宮川左近樣よ。から云ふ阿魔なんで、えツへへへへ」

お染は一寸顏を赧らめ乍ら挨拶をした。

「どうしたことだらう？」

左近も耐りかねたと見える。

「ようがす、あつしがもう一走りひつかへして見やせう、これよお染、旦那のお脚斬傷だ、お手當をしてあげなくちやアいけねえだ、それに夜が明けりやア目黒から……」

「お、ほ、ほ、ほ、ほ、そんなに慌てなくともさ……」

お染は三藏の來てゐない理由を知らればこそ笑つてすませる氣だつたが、

「笑へる處かい、と、とんでもねえ」

重五郎は緊張しきつた顏つきで

「ぢやア旦那、お待ちなすつて、申上るまでもねえが、ぢいつと此處にかくれてゐなさるがいゝ、輕卒みなことウなさらねえやうに」

左近は大きく肯いた。

「忝じけない、誠に氣の毒をいたしたな」

「なアに――」

重五郎が再び木戸を出てゆくと、お染は水鉢に燒酎、繃帶、練り膏藥の類を藥屋から持だして來た。

「お痛みになりますか」

「いや左程のこともない。が、三藏めが身の上案じられてならぬ」

と、お染はけげんな顏をした。

「一體まアどうしたので御座んす」

「それがさ――」

左近の唇から鐵誠庵包圍の最中三藏が身を挺して陷陣布く役にあたつた話をきくと、さすがにお染もギヨツとしたらしい。

「あゝ、無事でゐてくれゝばよいが」

たちまちに曇つたまなざしに、淚がにぢむ。

「すまぬ、誠に申譯もない」

左近は心から詫いつた。

と、不意に醫の中の猿が騒ぎ始めた。

「なんだねえ騒々しい、まだ夜も明けやしないよ、靜かにしてゐないか」

たしなめる聲にも情愛がこもつてゐた。

「ほう、こやつだな、過日來の手柄者は？」

「あい？三藏さんは無事かしれませんよ」

「何故？」

「太夫がからはしやいでるやうちや、何か一座に不吉なことでもあるやうな場合には、ヒツソリ閑と太夫さんまでがしづみ反つてゐますのさ」

「ほう！」

とたんに木戸口からよびかけたは、

「左近樣、左近樣！」

元氣のいゝ三藏の聲だつた。

「おゝ！」

左近はホツとした。

大連棋院臨時稽古碁戰

四段　都筑俊三　初段　高山平藏

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

イロハニホヘト・チリヌルヲワカヨタレソツ

○二一ヲの三　●二二カの三
○二五レの六　●二六レの四
○二九ワの七　●三〇への十七
○三三への十八　●三四ホの十八
○三七チの十八　●三八ロの五
▲都筑四段講評　黑二十六は廿八に打込むべし若し(は)なれば黑(に)に打ち白(い)なれば黑(ろ)に飛び白
○二三ヲの五　●二四ヌの五
○二七ヨの六　●二八カの五
○三一トの十七　●三二トの十八
○三五への十　●三六ホの十七
○三九ロの六　●四〇への五

キネマと演藝

今明日限の映畫會『この母を見よ』

本社主催の「この母を見よ」映畫會は初日以來連日好評を博し會場の大日活は大入滿員の盛況をつゞけて益々盛況は調子づき時代劇解說者として定評のある里見凌洋が「風雲天滿草紙」を擔當し白鹿愛光は「この母を見よ」を熱演してその鋭く突きこんだ解說に觀衆の淚を絞つてゐるが、いよ／＼今期は餘すところ僅か今明日の八、九日の二日間となつたからこの機を逸せず本紙刷込の優待割引券を利用して奮つて參會されたい

◇都會双曲線◇　「何が彼女」を發表した新興帝キネが有名な小說の

◇◇荒木又右衞門◇◇　舞臺戲曲に連載された大隅俊雄の脚本を「馬の脚」に次いで聖麗之助監督が映畫化し全二篇發端の卷、道中双六の卷、獅子奮迅の卷になる長尺もので月形龍之介以下、高松錦之助、堀正夫、スターに今度昇進した高田浩吉、千早晶子、若水絹子、若月孔雀が助演してゐる【帝國館上映】

映畫化を圖り從來の方針を捨てゝ原作尊重の現代劇作品の一つであり且つ近來各社が頻りに製作する所謂傾向映畫の一つである。

△原作は林房雄の小說で二十萬圓の遺產を得た水野が友人の黑田にはかられて礦山に出資して失敗するまでをブルとプルを對立的に描き、また都會の神經を次第に感觸する青年啓太郎と良子の姿を鋭く描寫したものである

△これを前田孤泉が脚色して「三人の母」の高見貞衞が監督したもので瀨良章太郎の啓太郎、藤間林太郎の黑田、歌川八重子の良子、牧英勝の水野らのキャストである、キャメラは鍋本榮三

△脚色は原作に忠實で監督手法は精圖による効果を狙ひ野心的であり尖鋭的であり時には可成り大膽な場面轉換を示して全卷に感覺的な味とスピードを相當に盛りあげてゐる。

△それに帝キネ作品としてはセットに力を入れ東京にもロケーションをして內容の向上充實を圖つてゐる。鍋本榮三のキャメラも却々の努力である。

△藤間林太郎や瀨良章太郎は「何が彼女」以來の好演技を示してゐるし歌川八重子も亦、流石にうまいところがある。次第によくなつて來る俳優の指導によつて從來の新派劇から脫出する日が近づいて來た。

△あらゆる映畫の分野から見て次第に躍進して來た新興帝キネ作品に對して今後の期待がされると共に觀客の眼を變へることも必要であらう【演藝館上映中】

演藝館の「都會双曲線」

「都會双曲線」は題名通りに東京と大阪のイルミネーションがスクリーンに仲良く双曲線を描く▲大日活でゆふべ「唐人お吉」の試寫、カンチャン明烏は前彈きを全部やらぬと見切品のやうでをかしいねと首をひねる▲映畫街はお吉の顏を見ながら梅村蓉子のアゴがだん／＼長くなつて來るので不思議がる▲喇叭座の同人が申し合せたやうに「この母を見よ」のカットを問題にしてゐるので大連署で鋏を入れたやうに見られてゐるらしいが▲これは內務省で全卷三千六米突の內四百六十三米突の近來にない切除をやつたもので▲大連署では內務省の檢閱のまゝノーカットで通してゐる

ラヂオ

大連　JQAK　七月九日午後七時卅分

▲ラヂオ體操

▲英語講座(第十課)大連商業學校上村又一

▲浪花節(乃木將軍辻占賣)桃中軒雲右衞門

▲マンドリン合奏組曲支那(一)前奏曲(二)宮庭の夜宴(三)追憶(四)再起伊藤十五郎作編錄音樂會演奏部員

▲三曲(萩の露)尺八小笠原米山、三味線福永大勾當、箏麻川とし子

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京　JOAK　七月九日午後六時二十五分

▲山と谿の座談會木暮理太郎、冠松次郎、小島烏水、藤原咲平、脇水鐵五郎、橫井春野

買物ニュース

▲田中屋吳服店の英斷　同店では吳服反物類の大暴落を告げて、拾五萬圓大處分の大賣出しを發表した、その斷然壓倒的暴落の値段で時期向の絽絣模樣、絽男物紋付を始め晒木綿、中形浴衣、等に至るまで前例のない英斷振を見せて居る

▲いろはの料理改善　好人氣を呼んで居るいろはは本店の會席附き生ビール菊正白菊の飲み放題は時代にふさはしき好評を博して居るが今回同店にては簡易料理一新の目的にて下の關市春帆樓の司厨長を招き從來の獻立を一變し奉仕的安價にて提供すると

日滿貿易振興策と滿洲見本市批判會を開催
内地滿洲團長其他關係者を招待 十日本社主催にて

我國と滿洲との貿易關係は近時益々緊密の度を加へ今や我國對外貿易中の重要なる地位を占むるに至つた、然るに最近においては昨年來の銀價暴落による華商の倒産者續出、華人の購買力減退等により俄然日滿貿易の前途樂觀を許さゞる狀態にあり之が對策については各方面において講究されつゝある折柄滿洲輸入組合聯合會主催を以て從來の個別的狹小な見本市を綜合統轄したる大規模の滿洲見本市が大連市に開催されたことは寔に意義あることである、滿洲見本市がその眞價を發揮し得るや否やは將來日滿貿易に對して極めて重大なる影響を與へるであらうことを信ずるが故に我社では之れが發達に寄與し日滿貿易の振興に對する一般の注意を喚起する意味において來る十日午後一時からヤマトホテルにおいて民政署、見本市各地團長、輸入組合聯合會、運輸業者、滿鐵、商議等各關係者の參集を求め「日滿貿易振興策と滿洲見本市の批判會」を開き諸氏の意見を徵すると共に近く之れを發表する豫定である

見本市二日目 前日に增し盛況
取引契約は小額乍ら廣範圍 公開は十日午前中

滿洲見本市第二日は降雨にも拘らず愈々油が乘り、午前中の入場者を示せば第一會場邦商七百九十四名、華商三百八十五名、第二會場邦商五百十二名、華商百五十六名合計千八百餘名に上る盛況振りで宣傳方面は百パーセントの成功である、第一日の約定高はまだ判明しないが下見日としては相當あつた模樣である、即ち五萬圓程度にて金額こそ少いが百圓以下の小口約定が大多數を占め五百圓以上のものは數へる程しかなく先づ二百圓平均見當と豫想されてゐるので件數は恐らく二百五十件位に上るであらう、されば時節柄金額の少いのは已むを得ずとして兎もかく件數が多いのは大きな收穫であらう、かくて第二日の約定高は午前中の狀況より推せば三十萬圓位に上るのではないかと觀られ、一般に極端な悲觀豫想を立てられてゐたので豫想よりは好成績をおさめるのではないかと謂はれてゐる、尚一般への公開は昨報九日午前中とあるは十日午前中の誤りにつき訂正

場外取引が非常に多い 場内取引の二三倍行はる

滿洲見本市が成立した以上、場外取引を排擊すべきは理論上當然の方針であるが、從來の見本市の情勢上並に過渡的に見て場外取引を俄に止むるのは容易でない、されば今回の見本市に於ても場外取引が少からず行はれてゐる模樣で、目下のところ場内取引高の二、三倍に上るのではないかと噂されてゐる、現に出品者側に於て事情已むを得ずとして場外取引に對し相當力めて居る向が少からず、それ等のうちには閉市後も一兩日注文をとる模樣である

大平副總裁參觀

大平滿鐵副總裁、田村豆信專務等も八日午前中滿洲見本市を參觀した

見本市の公開に東京府は不參加
意見の相違から

滿洲見本市では十日午前八時より正午まで正札を撤して一般に公開するが、公開に關する意見の根本的相違のため東京府は不參加、愛知縣は條件附の參加になつてゐる買手たる被招待者側に於てもこれは利害關係上一般に反對の模樣であるがその反對說は明白に表明されてゐない、これにつき各府縣の意向を簡單に示せば左の如し

東京府 東京は數年來より滿洲の關係方面の公開反對の意思を表明してゐる、反對の理由を擧ぐれば公開は見本市の本質的性質に反し取引の眞劍味を缺き專ら生産費節約により社會奉仕に力むべきであるのに冗費がかゝる、元來我國に於ては見本市の觀念が未だ確立せず公開や卽賣を爲してゐるので啓蒙する必要がある若し一般教育のためには優良品を展覽せしむる必要あれば別に方法を講じたがよい

愛知縣 沿革上公開は餘り行れてゐない、次に實質的に見て眞劍なるべき取引をルーズにし在來の取引關係に惡影響あるのみならず四時間位の公開では十分の効果が望まれない然し原案たる「成るべく正札を撤し說明書をつける」といふ不徹底なのを改めて絕對に正札を撤することゝし、且つ今回に限ることを條件として參加を承諾した

大阪府 優良品や新聞發明品等を汎く紹介し一般教育上意義があるから賛成である

其の他は明白な意思表明をしてゐないが一般に賛成の模樣である

商議勤續役員所員を表彰

大連商工會議所は本年七月四日を以て創立滿十五年となり十五年勤續の常議員及び所員の表彰式を擧行する議もあつたが近く滿洲商工會議所令も發布される模樣であるから勤續常議員の表彰は新令後解散式と同時に行ふことゝなり勤續所員のみ今回表彰することになつたが勤續常議員及所員の氏名左の如し

十五年勤續常議員 ▲佐藤至誠▲高田友吉▲古澤丈作▲鈴木雛重▲平田包定▲中村敏雄

十五年勤續所員 ▲篠崎嘉郎▲加藤鍵次郎▲猪谷英一

商議定時總會 役員改選を行ふ

大連商工會議所では來る十八九日頃役員會を開き更に二十八九日頃定時總會を開催、當期決算を附議すると共に役員一部の改選を行ふが當期において任期滿了となる常議員は左の如し

安西〓三郎、坂梨繁雄、千田次郎、富次素平、西川勉、和田駿三、田中喜介、平田驥一郎、横田多喜助、谷口英次郎、高崎弓彦、安田柾、藤田臣直

無理の引上はなすに忍びない
豆信手數料問題に關して 田村新專務語る

豆信の窮狀とまでいはれてゐる例の手數料値上げ問題は專務の更迭で其後表面の問題とはなつてゐないが、依然裏面に於ては相當の交渉がなされてゐる模樣である、同問題につき豆信新專務田村羊三氏は左の如く語る

まだ私は何等正式の交渉は受けずたゞ時々小耳に入るだけであるから別に具體案も考へてゐないが、相當研究したる後重役會を開いて意見を定める筈であるしかしこの問題は輕々しく決めるものではない、私は會社と取引人とは兩々相俟つて始めて圓滿に市場が榮えて行くものと思ふ、古證文をたてにして値上げするのはビジネスマンがなすべき行爲でなく高利貸の常套手段である、又銀が安くなり、財界不況の折柄取引人等は相當の苦況に沈んでゐることは周知の事實である、かゝる場合に取引人の頸を締め無理に値上げすることは自分としては忍びないことだ、取引人と株主兩者に滿足を與へることは絕對に不可能なことであるから兩者ともある程度は不滿を忍んで欲しい

篠崎氏起用說に華商側が大反對
田中氏の就任を運動 荻原書記長極力慰撫

大連取引所長後任問題につき太田關東長官は大體篠崎氏說を立てゐる樣だが廳内にも反對があり又輿論も相當反對の聲が出てゐるから長官も立場に困つてゐる樣であるに從つて長官は反對の聲が鎭まるまで待ちたる後決定する模樣であるとも觀られてゐる、しかるに華商側では取引所長後任問題につきよりく協議中であつたが最近「篠崎氏には反對の意思表示を明確に表はし田中喜介氏の取引所長還元を運動すること」に意見の一致を見たので成裕昌西記、東永茂、福順厚の三代表者を選び昨七日午後取引人組合事務所に荻原氏を訪問し「組合委員會を開き篠崎氏反對及田中喜介氏推選の決議を出したる上委員をして關東長官を訪問し諒解運動をなしてくれ」と申込んで來た、それにつき荻原氏は「まだ決定しない内にとやかくこちらから人事問題につき關東廳に對し意見を述べるのはどうかと思ふから少し時期を待て」と慰撫して一同を引取らしめたが、華商側の態度は相當に强硬であり、又邦商取引人の大部分も篠崎氏說には反對の如くであるからもし篠崎氏が決定すれば一波瀾はまぬかれまいと觀られてゐる、荻原氏はこの問題につき左の如く語る

華商側の意思は相當に强硬の樣だが、當方から人事問題につきとやかく關東長官に申出るのはどうかと思つてゐますが先方から意見を聞かれたら勿論堂々と述べます、篠崎氏に反對なのは華商側ばかりではなく、邦商も反對の色が濃厚の樣です、長官も公平に適任者を選んで欲しいと思ひます

郵貯利下げ問題
東京にて 山田生

内地では昨今郵貯利下げ問題が各方面の注意を惹いてゐる。郵便貯金の利下げ問題を起したのは銀行業者で、銀行の預金利子が定期四分五厘見當なのに、郵貯の利子は四分八厘であつて、その結果、郵貯の激增といふ趨勢を馴致したのは、郵貯本來の精神に反し、民業を壓迫する事になるから、宜しく之を引下ぐべしと云ふのである政府もその聲に動かされて、郵貯利下げを決行すべく、早く既にその準備をなすに至つた。

◇

郵貯の激增は事實だ。郵貯の激增は最近四年間の出來事で、昭和元年には十一億五千萬圓であつたのが、本年五月には廿二億圓を突破し、その後も增加する一方である。此の如き郵貯の激增は、その利率が銀行の預金利子より高いからであると見るのは、正當な觀察で、プロレタリアの資金蓄積を目的とした郵貯でありながら、利率の高いために、ブルジョアまでが種々の手段を講じて剩餘資金を郵貯に振向ける、と云ふ事實もあるらしく、郵貯の激增は一因こゝに在るとも觀られてゐる。貯蓄銀行の利率は普通貯金が郵貯と同程度の四分八厘、定期預金四分二厘でその据置貯金は郵貯の据置五分四毛に比して四分五厘といふ安さであるから、貯蓄銀行のために押され氣味である。

◇

併し郵貯の激增はその利率の高いため許りではなく、他にも原因がある。それは銀行に對する一般の疑懼不安で、金融恐慌の昭和二年以來頓に郵貯の激增を見たといふ事實は、これを雄辯に立證する銀行破綻による當時の金融恐慌がいかに銀行預金者を泣かしめ、驚かしめ、恐れしめ、遂に銀行に對する一般の不安心を增大せしめたかは、生々しい事實で、大連乃至滿洲においても既にその經驗を經た筈である。郵貯の利率が普通銀行の利率よりも高いといふことは郵貯本來の精神に背いた事柄であり、銀行業者が郵貯の利下げを希望する實情も、これを諒とせねばならないが、郵貯を激增せしめたのは、その罪寧ろ銀行業者に在りと言つていゝ。

◇

政府は本年九月頃に郵貯の利子を四分二厘乃至四分四厘位に引下げるとの事だが、無條件引下げではなく、産業資金(特に中小農商工業者の金融)社會政策的資金、公共資金に對し低利の融通をなすといふ條件附で引下げる、と云ふのが遞信當局の提案だ。斯くすれば、郵貯預金者は利子引下げによつて失ふところを低資融通によつて補はれ、つまり郵貯資金の社會的還元を見るわけで、至極結構な事であるが、大部分郵貯より成る大藏省預金部の資金が對支借款資金や、特權階級の救濟や、資本家の事業資金などに向けられた是れまでの歷史に稽え、預金部資金運用規程の設けられてある今日でも郵貯利下げの條件がその通り間違ひなく實行されるか何うかは、聊か疑ひなきを得ない。若しもその條件が申譯的條件であるならば、郵貯利下げはプロレタリア階級の收得を減殺し、社會政策上極めて面白からぬ結果を招來するであらうと考へられる。

◇

農村方面では郵貯利下げは反對の聲を揚げてゐる。その言ひ分によれば、郵便貯金の利子引下げは金融資本家の立場のみを考慮しての立案で、その結果が農村に不利益となるのは勿論、農村資金の都市集中を促し、さなきだに金融難に苦める地方農村を一層苦ませると云ふのである。彼の金融恐慌と共に、多數の地方銀行は都市の大銀行に合同若しくは買收せられ、而してその銀行の資金は絕對に農村に向つて融通されず、殆どその全部が都市事業家のために利用されて居るから、農村が郵貯利下げに反對するのは故なきにあらずである。農村と都市とは利害の一致せぬものだが、郵貯利下げの上においても、亦斯やうな利害の不一致を見るのである。

◇

内地で郵便貯金の利下げを實行したら、關東廳の遞信局でもこれに倣つて、同樣の利子引下げを行ふ事になるだらう。關東州方面には邦人農業者極めて尠く、邦人勞働者も少數であるから、恐らく是等階級間の問題にはなるまいが俸給生活者たるサラリーマン中の勤勞階級に關する者には郵貯の利下げはその收得を減殺する結果になるので、起つて反對せぬまでもいゝ氣持はしまい。因に關東廳遞信局の郵貯資金もその地方へもつと社會政策的に利用すべしである。(七月二日)

大豆高粱
六月中の市況

大連取引所信託會社調査六月中に於ける大豆、高粱市況左の如し

大豆 月初に於ける六限七、三三、七限七、四三、八限七、四八を月中の安値とせり而して市況は銀の騰落激甚なる爲相場亂調を來し其間手詰ものに取引活況を見たるも最早夏枯季に入りたるを以て仕手の一服と相俟ち商内閑散に陷りしが東鐵の東行輸送依然優勢なりしと奥地の堆滿に出廻減退し埠頭在荷亦漸減の一途なるに加へて華商は南滿線の諸掛り金圓制なるため銀の暴落は勢ひ運賃割高となり安値見送りなど强材料錯綜せしより先高人氣益々濃厚に推移し奥地筋の見越買あり又邦商の旗埋め等中旬央より騰勢の一路下旬央に至るや歐洲在荷も消化順調の如くやがて商談あるべしとの市場空氣と現物と俱に氣配硬化して各限八圓臺乘せを演じ八、九限八、二八と記錄破りの新高値に驀進せり然れ共急騰には利喰もの等に小反落商狀を呈したりしが何分遠期は端境季に直面せるより華商與惑筋の出動に氣配强く取引高多かりしも月末に於ける銀の急騰に一般軟調裡に越月せり而して其出來高八、七七一車にして前年に比し三、四二七車增加せり

高粱 月初六限四、七一、七限四、六九、八限四、七一と月中の安値を出したり而して市況は華商の手詰め商内多かりしも現物邦商の買走りと銀の下落に漸騰商狀を呈して初旬末に至るや買方主力の利喰賣に各限一氣十三、四錢方反落せり然るに奥地は打ち續く旱天に發芽後の生育良好ならず一般農作物も早くも旱魃騷念擡頭せるに至りて硬派の見越買ありしも專ら手仕舞もの、仕手關係に强調を辿り中旬七限五、三八、八月限五、四二と月中の高値を出したり然れ共小麥の收穫季に直面せるゝ旁々銀安影響に現物不勢を來し尚下旬央に於ける降雨は慈許作物に好響を與へたるもの如く聊か人氣不味に傾きしも奥地は山東移民の累増に地方消費增加し其他金融關係等に當時高張りにて地場亦需要不振に拘はらず相場自體が相當高値にあれ共在荷減少の折柄とて新規の出廻躊せるの氣迷ひ狀態となり不味閑散裡に越月せり其出來高五、一六八車にして前年に比し三一九車增加せり

日滿貿易振興策と滿洲見本市批判會

日時 十日午後一時より
場所 ヤマトホテル
出席者 内地及滿洲の各地團長、滿鐵、民政署、輸入組合、運輸業者、商議、本社
主催 滿洲日報社

吉村組合長送別會

大連海運同業組合長吉村〓〓氏は今回國際運輸會社取締役に就任するため同組合長をも辭任することゝなつたので同組合では來る十日午後六時よりヤマトホテルに於て送別會を開催、記念品、感謝狀を贈る筈、後任組合長は追つて決定すると

御斷り

記事輻輳に付き市況は休載します

市況

特産 銀市の小締に各品軟調

今朝の市場は銀價の小締に影響されて小甘く尙ほ高粱は逐次買氣失せ向ひつゝありて買氣失せき立たず平凡なる場面を辿り今日の油坊生産高は二萬〓〓操業工場は十軒である

◇定期前場 ◇現物前場 定期喰合高

錢鈔 標金安銀塊高で鈔票强氣配

市場電報
銀塊及爲替 / 棉花 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 神戶豆粕 / 橫濱生糸 / 印度麻袋

商品
◇現物取引 前場

株式 内地株軟調 地場も弱合

北滿前場寄は大株九十錢安大新一圓安鐘紡一圓六十錢安新東一圓十錢高を入れ當地の現物は大新一圓六十錢安新東四五十錢高鐘新一圓二十錢安と區々を示した五品新豆は變らず出來高定期七十枚現物五百二十枚

前場 / 滿鐵株(保合) / 後場(保合)

上海爲替情報

爲替相場 / 正金 / 鮮銀 / 手形交換 / 奥地市況 / 錢鈔 / 特産

社説　共匪の慘害　支那當局に警告

往年、廣東における支那共產黨の大爆發が不成功に終るや、ボロージンの失脚となり、當時、既に反共產黨の旗幟を明かにしてゐた蔣介石氏の彈壓は益々猛烈を加へ赤露またその鋭鋒を緩和したかに見えたが、最近の情報は、支那における共產黨の運動が、更に潜行的に、更に深刻なるものあるを看取せしめる。這回の南北戰に際し頻々として傳へられる共產土匪の火事泥的暴虐は、明確にこの情勢を物語つてゐるものでなければならぬ。

◇

何時、如何なる社會においても萬人全體が飽滿自適を謳歌する樂境は望まれ得ない。特に、現代の世界的經濟機構が、必然的に一種の思想的曲歪者を生じ易いことは悲しむべく、傷むべき人類への桎梏であり、その餘りにも尖鋭化し餘りにも血みどろであり過ぎる刻下の世相に對して、われらは全身的な憂鬱に打たれるものであるが、さうした矛盾、その矛盾から生れる不滿への焦燥と、更生への欣求——それこそは、われら人類が離脫し難い永遠の棚でないと、誰が斷言し得やうか？所詮は、惱み、闘ひ、傷れ、そして時代は無關心に流れるのではないか？

◇

とまれ、その鈍重な、混濁した灰色の憂は、今や全支を蔽ひ、更に全滿を包まんとしてゐる。昨年の北滿國境における交戰に、完全に支那を打碎いた赤露は、捲土重來の勢を以て着々その魔手を延ばして來た。支那のクーデターに端を發した昨夏の露支紛爭、それが齎した昨冬十二月の哈府協定——それは、赤露にとつては、雨降つて地固る時の好機を與へたのであり、彼らの勢力扶植は一層の堅實味と、組織的執拗さとを加へつゝある。單に滿洲のみに見るも、精練された露支人の共產黨員は全滿各地に潜入して細胞の結成に全力を注ぐと共に、大衆の獲得に腐心しつゝある。

◇

叙上の言の虚妄にあらざることは、單に本紙の各地通信のみを讀まれた讀者にしても首肯さるゝところであらう、われらは過般、支那官憲によつて逮捕されたハルビンを根據とする赤化鐵血團、或は東鐵從業員の赤化色彩、等々の事實を見る一方に、遼寧省政府が今春來、如何に中國共產黨の對策に苦心しつゝあるかを立證すべき幾多の事例を、直ちに擧げ得ることを、善隣支那のために悲しまざるを得ない。去る四月、東北憲兵司令部が檢擧した彼ら一味の自白は五月一日のメーデーを期して哈爾賓、奉天、撫順、長春、遼陽その他東支、南滿兩鐵道沿線の主要都市において學生の同盟罷業、勞働者の總罷業を行はしめんとする計畫を暴露したのである。

◇

更に最近、間島における暴動事件に關しては、在滿鮮支の共產黨員がモスクワ第三インターナショナルの諒解を得て組成された中國共產黨滿洲黨部の策動に外ならぬことが判明した。かくて、全滿の天地における赤色運動は、冥々裡にその熱度と濃度を加へ來り、何時、如何なる時機に迸出せんかを豫知し難い情勢にある。滿洲の地は日、露、支の直接緩衝地であり列國が多大の關心を拂ひつつあるの地である。われらは、最善の對策を當局と識者に熟望すべく、こゝには單に事實を擧ぐるに止め、而して支那各地方が內亂抗爭に沒頭しつつある間に、如何に共匪の慘害が蔓延しつつあるかは、江西方面を中心とした共產黨の兇暴に徴するも明白なりと斷じ、支那當局の注意を喚起せんと欲するものである。

失業救濟の間接手段に各植民地の事業を振興
適當な方法により國費を支出
政府の失業問題對策

【東京特電八日發】失業救濟につき閣僚間においては本年一月以來の狀勢を調査するに自由勞働者の失業者の增加は事實で救濟策としては既に地方債の緩和により道路河川その他地方土木事業を起すに努めて來たが尚この際熟練工が漸次失業せんとすることは注目すべき傾向でこれに對し充分の對策が必要であるとの見解からその對策につき意見の交換を行つてゐるがその方法としては先づ

一、多數の熟練工を收容するには建築物の營造を盛んならしむるにありとし現在市街建築物に對する取締規則など新建築に對する各種の複雜な條件の伴ふものを緩和し

二、產業組合法の改正を來議會に提出して中商工業者に對する金融の便を圖りこれらの階級にも實質的に活動能力を增加せしめ

三、政府としては各植民地における失業救濟の事業を盛にし以て內地における失業救濟の間接手段たらしむることを考慮すること

など實際的救濟策を進めると共に人心の安定を圖る必要ありとして適當な方法により政府は國費を以て失業者救濟に當ることを表明する方針である

海軍の新國防計畫決定が先決問題
條約御諮詢の奏請期

【東京特電八日發】濱口首相は八日閣議の席上ロンドン條約の樞府御諮詢に就ては海軍側の準備未了のためその奏請期も未定なる旨簡單に報告して閣僚の諒解を求めたが、右は條約に基く兵力量に因る新國防計畫について海軍首腦部の意見が一致しないので條約の樞府御諮詢奏請も目下の處全く目算立たざる狀態に立ち至つたゝめである、即ち濱口首相は事態を頗る憂慮し、閣議開會前財部海相と首相室にて約一時間に亘り協議したが海軍四巨頭會議の經過は加藤參議官の意見が意外に強硬なるため容易に一致點を發見するに至らず、而も華府條約の先例により樞府御諮詢前に元帥會議に御諮詢を奏請しなければならぬので海相としてはそれまでに是非とも軍事參議官會議の諒解を得る必要を認め折角努力中であるが、海軍における新國防計畫の圓滿解決を告ぐるまでは樞府御諮詢奏請も延期されたい旨懇請する處あり、新國防計畫を中心とする元帥並びに軍事參議官方面の

強硬意見を傳へ、之を基礎として愼重に協議の結果政府としては是まで外務、海軍兩省當局の準備完了次第直ちに御諮詢を奏請する方針で進み來りこの方針は今後と雖も變る所無きは勿論であるが樞府方面の情勢並びに軍部の內面關係を考慮すれば今日早急に奏請期を決することは事實上不可能狀態にあるので先づ新國防計畫の圓滿なる樹立をなし元帥並びに軍事參議官會議の承認を經ることを先決問題としこれに主力を注ぐことになつた、而して政府側では來る十四日岡田參議官の歸京までには何とか解決するものと觀てゐる

高松宮兩殿下　英海軍演習を御見學

【ロンドン七日發電通】高松宮同妃兩殿下はイギリス海軍の演習御見學のため七日午前九時五十分公式隨員をしたがへさせられクラーリッヂホテルを御出門自動車でポーツマス軍港に向はせられ午後ポーツマス軍港に成らせられトラファルガーの海戰にネルソン提督の旗艦たりしヴイクトリア號及び海軍砲術學校最新潛水艦を御見學遊ばされた

暑中休暇中でも條約御諮詢奏請
首相、拓相意見一致

【東京八日發電通】八日の定例閣議は午前十時開會、濱口首相以下各閣僚出席し（俵商相缺席）財部海相より閣議に先立ち濱口首相と會見し新國防計畫案審議經過を報告した後樞府の圓滑な審議を望むためには案の完成を必要とするから今後財部、谷口兩大將は極力海軍部巨頭の諒解を求めて速かに決定を圖り條約御諮詢奏請はその後において爲す方針を採ること、濱口首相は近く倉富樞府議長と會見し計畫案出來次第暑中休暇中にても御諮詢奏請する事につき諒解を

四洮線の運賃差別實施の阻止を交渉
上村領事が外交部に

【南京特電八日發】國產品獎勵の意味で國內品に鐵道運賃の減額を行はんとする國民政府の運動は七月一日から膠濟鐵道を皮切りに逐次全國の鐵道に及ぼさんとする風が見えたので、當時關係の領事團から當該鐵道當局に對し嚴重抗議し、その結果一時見合はせの狀態に置かれてあるが最近またしても東北省當局が四洮鐵道に對し同樣の態度に出でんとする模樣が見えて來たこれがため上村南京領事は七日外交部にアジア司長を訪ひその事實の有無を質すと同時に、事前に國民政府から四洮鐵道に實施阻止の命令を發するやう要求したが、この問題は內部に複雜な關係あるため未だ鐵道部より承諾せりとの回答に接せずと答へ要領を得るに至らず多分、國民政府が奉天側に氣がねの結果であらう、しかし膠濟鐵道が七月一日より差別運賃制度を實施せんとし上村領事の抗議で中止した先例もあるから結局、交渉成功の見込みは豫想さるゝ但し地方的交涉の必要もあると認められてゐる

海關乘取問題の影響とその對策
メーズ氏は獨立主張

六月十六日天津海關は反蔣軍山西派に乘取られ、國民政府管理の手から離れてしまつた、爾來天津から青島、大連、上海等へ向けられる輸出貨物は二重課稅を受ける虞を生じ、商人中には積出しを中止してゐる者が多い、これが影響は北支那の不景氣を一層深刻化せしめ、我國の貿易にも勘からぬ打擊を與へるであらう、

▲　▲

同月二十五日の事、上海に大連汽船長平丸が入港した、同船は國民政府が天津海關を閉鎖した後、天津日本領事館において臨時代行的に通關手續を受けた最初のものであつた、ところが、この長平丸の提示した日本領事の關稅徴收證明書に對し、上海海關はこれを認容する事を拒絕した、そこで上海日本領事館が間に入つて調停を試みたが、結局將來支那內亂の終熄を待つて、二重課稅とならぬやう戻しを受けるといふ條件つきで納稅を承諾する事となつた模樣である、

內亂平定、海關統一後、果して右の條件が實行さるゝか何うか、これは頗る疑問であらう、つまる所現在では海關が南北軍何れかによつて統一されるまで事實上二重課稅を強要されたわけである、

▲　▲

同月二十七日重光代理公使は上海外交部事處に折柄來滬中の國民政府外交部長王正廷氏を訪問し、二重課稅の不當を指摘した、而して天津領事團が輸出及び輸入稅供託の手段を執つたのは貿易業者の便宜を圖るため止むを得ない處置である事を說明し、供託金は將來合法政府に當然引渡すものであるから國民政府でも之を諒解し天津よりの入荷に對しては從前通り正規の手續を經たものとして取扱はれたい旨を要求した模樣である。

これより先二十四日上村南京領事は本國政府の訓令に基き王外交部長に對し口頭を以て「閻錫山氏の天津海關乘取りは勿論不法であるが、同時に南京政府がこれに對し同海關を封鎖し、他の海關で徴稅事務を代行せしむる等の手段を執つたのは、日本の貿易に打擊を與へるのみならず日支國交上にも面白くないから宜しく穩健な手段を執られたい」と勸告的抗議をなし、且つ右の手段について日本側の私案を示して考慮を求めた

右の抗議並びに私案は北方當局にも同樣提出された模樣であるが、その內容は種々の關係上嚴秘に附せられてゐる、多分天津海關に關する限り何等かの方法によつて南北の妥協を勸めたものらしい

▲　▲

日本側の抗議及び勸告に對し南京政府は未だ決定的回答をしないやうである、北方當局側では二重課稅によつて各國領事團と衝突を來す事を虞れ、上海其他沿岸各港の積荷で外國領事の手により輸出手續きを了へ、且つ天津で支拂ふべき各稅を前納したものには課稅しない旨を發表してゐる、つまり外國からの直接入港貨物に對してのみ課稅するのであらう

▲　▲

北平における外交團は過般南北戰爭の形勢により生ずる影響及び天津海關問題に關し凝議したが、結局今暫く形勢を觀る事とし散會した、尤も天津海關について二重課稅問題の生ずる場合は、英支條約第二十條「輸出入稅は各到着港及び積出港において徴收すべし」といふ規定に基き、南北双方を調停し妥協せしめるがよいとの意見が有力であつた模樣である

國民政府側總稅務司メーズ氏（佛人）は財政部關務署に對し、此度の事件は現在よりも將來への影響が一層重大であるから、これを機會に海關を純然たる獨立機關とし永久に政府的關係の圏外に置く必要があると建議してある

問題は何う落着くであらうか。

三黨の合同大會
愈よ來る廿日決定

【東京八日發電通】日本大衆黨、全國民衆黨、無產政黨戰線統一全國協議會に依る中間無產三派第一回合同協議會は七日午後五時半協調會館に開會左の如く來る二十日に結黨大會を開くに決し八時散會した、決定事項左の如し

一、新黨規約要綱
イ、民主的中央集權的黨組織の確立
ロ、闘爭力の擴大強化のため組織確立
ハ、黨の統制の必要に應ずる機關設立
ニ、特別委員會を組織し勞働組合、農民組合との連絡を圖る
一、山名、淺沼（大衆）阿部、山內（全民）水谷、鈴木（全協）の各小委員會で綱領政策を審議する
一、黨名候補「全國大衆黨」「日本無產黨」「日本大衆黨」
一、第二回合同協議會は九日、結黨大會準備委員會は十日、結黨大會は二十日に擧行

陸軍省の節約非常手段

【東京八日發電通】七日の陸軍省議は實行豫算節約上非常手段として
一、官吏の減俸を條件とする兵卒醫療費削減
二、購買代金支拂の後年度繰越し
三、兵卒入營期繰下げ及び除隊期繰上げ
の三問題を考慮した模樣であるがこれ等は阿部陸相代理と政府間に折衝の上決定する筈である而して阿部代理陸相は第三の在營期短縮にはその性質上最も反對してゐる

初鐵道會議

【東京八日發電通】官制改正後最初の鐵道會議は九日午前十一時より首相官邸に開會議事規則を附議する筈である

ずと樂觀的報告を爲し今後は濱口、財部、幣原、江木各相間において善處するに決定し次で井上藏相より營繕事業統一につき報告承認を得て零時散會した

岡田參議官谷口部長と協議

【東京八日發電通】岡田軍事參議官は八日午後十時半發特命檢閱の爲め大湊要港部に向ふ爲め同日午前十一時二十分谷口軍令部長を訪ひ午後一時からは財部海相も參加して新國防計畫案につき重要協議を遂げた

營繕事務統一申合
八日定例閣議で

【東京八日發電通】八日の定例閣議は井上藏相の提案に係る營繕事務統一につき左の申合せを行つた

營繕事業統一の趣旨を徹底せしむる爲め昭和六年度より左の如く營繕管財局司掌の範圍を擴張す
一、營繕統一地域的範圍は內地各道縣に擴張す
二、一般會計所屬營繕のみならず原則として特別會計所屬の營繕をも統一範圍に加ふ
三、建造物その他の事由により從來各省に保留せる營繕をも原則として統一範圍に屬せしむる事
四、右三原則に關しては已むを得ざるものにつき例外を求むる場合は極力最小限度に止むる事

製鋼所問題
閣僚協議會は十四日

【東京特電八日發】伍堂滿鐵理事は八日午後三時半拓相官邸に松田拓相を訪問し約一時間に亘り種々要談して辭去した、右は來る十四日政府が濱口首相以下關係六閣僚參集、昭和製鋼所問題につき協議することに決定したので當日協議すべき事項に關する滿鐵側の意嚮を述べ且つ種々意見を交換したものである

山東の戰事一段落
奉派の勸告で妥協成立

【青島八日發電通】濰縣の韓軍總司令部における奉天派代表を加へた韓軍善後措置會議の結果奉天派代表の勸告に從ひ韓軍は一時武裝解除（武器は東北艦隊で保管）をなし青島より乘船出港するの條件で山西、山東兩軍の妥協は成立し膠濟線の兩軍は今朝來休戰狀態に入つた、斯くて膠濟線の戰爭は一段落を告げ山東は數日中に山西派の統治下とならん

廣西軍遂に退却
中央軍目下追擊中

【廣東七日發電通】破竹の勢ひで湖南に侵入した張發奎軍、廣西軍は中央軍と廣東軍との挾擊に遭ひ根據地を得る能はず遂に分離するに至り張軍は江西省南方に至りたるものゝ如く一方廣西軍は湖南省で廣東軍と激戰を交へ双方損害多大で廣西軍は再び廣西に退却中である、その爲め陳濟棠氏は第六十、六十一、六十三の三個師を以てこれを追擊せしめ自らも韶關より歸還し來り五十九師も梧州に迫りつゝあり近く陳濟棠氏も梧州に赴く筈である斯くて戰局は湖南より廣西に移つたが張發奎氏その後の行動については確報がない

養成憲兵は九日各隊に配置

旅順憲兵隊分隊で去る六日以來坂野分隊長主任教官春日軍曹補佐官の下に行はれてゐる全滿部隊から選拔せられた憲兵上等兵候補者教育は成績頗る優秀で本年の候補者は三十名の多きに上つてゐるが來る九月を以て終了次第合格者は直ちに上等兵を拜命し全滿各隊へ配置されると

葫蘆島へ海軍學校設立

【奉天特電八日發】東北海軍司令沈鴻烈氏は豫て張學良氏に對し海軍人材養成の爲め葫蘆島に海軍學校設立を要請中であつたが此程張氏の認可を得たので既に開校準備に取掛つてゐるが第一期學生は三百名で英國より二名の教官を招聘する筈

約定件數多きも金額は僅少
無用な入場者の整理に困惑
滿洲見本市第二日

いよいよ約定の成立期に入つた滿洲見本市の第二日（八日）午後は商談著るしく活氣を呈し、約定件數は頗る多數に上つたが相變らず小口のものが大部分を占め大口のものは極めて僅少である、從つて金額は比較的少い模樣である、次に

入場者數 を擧ぐれば兩會場にて第一日が約二千名、第二日が約二千二百名の多數に上り、表面極めて盛況を表示してゐるやうに見えるが、事實は正反對であつて、取引當事者は固より主催者や後援者側においてもこれが第一回見本市の最も大きな失敗であつたことを明白に認むるに至つた、即ちかくの如く入場者が多數に上るのは招待された來賓の五百名、並びに買手の隨伴者の入場を二名とする限度が徽章流用や勝手な入場申出のため破れて二倍乃至三倍になり、これを

整理する 適策がないからである、されば當業者の眞劍な取引場が殆ど共進會化し、雜鬧して落ついた取引が出來ないのみならず、見識なき來賓中には或はうるさく質問を發し、或は小賣や即賣を強要するものすらある鹽梅で、大いに取引を邪魔してゐる、よつて關係方面では早くも第二回以後の見本市においては隨伴者の來場を整理すると共に來賓を閉市後の開放日の一定時間內に招待するが如く兎もかく適當な對策を講ぜねばならぬといふ議が行はれてゐる

營口通過貨物に不當の關稅
わが領事館嚴重抗議

山西軍が天津海關を乘取つて以來同港輸出入貨物に對する二重課稅問題が各所に起り問題となつてゐるが去る三日天津から營口に入港した近海郵船淡路丸が積込んだ大連揚瓦四千四百枚及び橫濱揚棉花二百俵に對して營口海關は突如二百九十八兩の輸出附加稅納入方を要求した、然るに右貨物は天津にて輸出稅を納入して居た爲め之を拒絕した處、營口海關は天津海關を認めずと主張して讓らず交涉のため徒らに出帆を遲らすので止むを得ず郵船側は一時これを支拂つて後の交渉を領事館に一任し七日出帆したが領事館側は到着貨物に對しては課稅の布告あるも通過貨物に對しては何等の明示がないとて嚴重抗議してゐるが、成行き注目さる

二重稅返還要求
天津海關長から請訓

【天津特電八日發】二重に徴稅された輸出入業者はシンプソン氏に返金を要求してゐるのでシ氏もこれには大弱り目下闘氏に請訓中

電燈料割引恩典要求頻出の傾向
逢廓組合の例に倣ひ

今回逢坂町遊廓の電燈メートル制改正に伴ふ條件として料金割引の恩典が附與されたのに刺戟された市內各種同業組合では「不生產的な存在である廓の電燈料が割引され、生產的で眞面目な業務に從事する各種組合が恩典に與らないといふことは不合理である」となし廓組合同樣の恩典に浴さんと我もくと滿電に對し要求を持ち込まんとする形勢にあり、既に大連飲食店組合では八日附を以て割引要求書を滿電本社に提出した、さきに滿電は一般物價の低落に併行して多大の減收を見越し電燈料の引下げを斷行したばかりであるに、今又廓組合同樣の割引を各方面から要求されることは會社收益上重大なる影響を及ぼすため非常な恐慌を來してゐる

廓の割引は一時的
栗山電燈課長談

右に就き栗山滿電々燈課長は語る逢坂町遊廓組合は特殊な需要家であつて、所謂不夜城といはるゝ程多くの電力を使ふ爲めに、割引制度を設けたものであるが一般需要家が斯かる割引制度を設ければ却つて料金が嵩み決して利益はないと思ふ、即ち廓ほど多く電力を使つて始めて割引の效力があるのである、殊に廓組合といへど一ヶ年を試驗的に實施するだけで永久的に割引制度を設けたゞいふ譯ではない、なほ飲食店組合が割引要求書を本社に提出したといふが未だ私の手許に廻つて來ぬから之に對する意見は今申上げられない

八幡製鐵所の滿鐵賣渡增加

【東京八日發電通】八幡製鐵所の滿鐵に對するレール及び鋼材賣渡し契約は大體昨年度より約二萬噸多くレール三萬噸乃至三萬五千噸鋼材一萬噸乃至一萬五千噸賣渡すべく價格及び賣渡し等の下相談を終了したがなほ詳細調査の必要あるので製鐵所では目下上京中の中西滿鐵理事と打合せの上高井事務官を大連滿鐵本社へ派遣することゝなつた

資源局長官の視察日程

宇佐美資源局長官一行は十日午前八時大連ヤマトホテル發自動車にて九時二十分着旅の筈であるが左記日程の通り一泊二日間の豫定で會議訪問視察をなすと

△十日午前十時總動員計畫準備事務及資源調査事務に關する打合會議（關東廳會議室）△正午內務局長招宴（黃金臺ホテル）△午後二時四十分戰利品記念館視察△三時白玉山納骨祠參拜△三時二十分閉塞隊記念碑參拜△四時博物館視察△五時より七時まで黃金臺ホテル休憩（軍司令部參謀說明）△七時關東長官招宴（官邸）△九時黃金臺ホテル宿泊△十一日午前九時東鷄冠山北堡壘松樹山視察△十一時双島灣鹽田視察△正午軍司令官招宴△午後二時軍司令部出發龍王塘水源池視察の上赴連

宇佐美局長歡迎會

滿蒙視察中の內閣資源局長官宇佐美勝夫氏は十一日夜來連の豫定であるが大連山形縣人會は來る十三日午後六時からヤマトホテル屋上において歡迎會を開催する由、出席者は十一日までに百東、高橋兩幹事へ申込れたいと

柳樹屯司令官招宴

中村柳樹屯駐屯地司令官は同駐屯部隊がいよいよ遼陽へ移駐するので、官民多年の後援を謝すため來る十七日午後六時半から大連ヤマトホテルに有力者を招待し一夕の宴を張ると

小坂次官日程

來滿中の小坂拓務次官一行は十日午後八時三十分着列車で着連同夜は星ヶ浦ヤマトホテルに投宿翌十一日は午前八時より約一時間半大藏、藤根滿鐵兩理事と會見の上自動車にて途中龍王塘水源池を視察の上赴旅の筈

關東廳辭令（七日附）

關東廳稅務吏勳七等　永濱　彥熊
任關東廳屬（各通）　森　嗣松
任關東廳技手　乙守不二男
　　　　　　　片山　正雄
兼任關東廳遞信書記　簡易保險局書記　秋葉　正武
國勢調査評議員會幹事ヲ命ズ　關東廳事務官　田邊　秀雄
官有財產調査委員會委員ヲ命ズ　關東廳技手　村木　經夫
官有財產調査委員會書記ヲ命ズ

人事

▲小澤房造氏（上海長發公司社長）八日入港奉天丸にて來連
▲福井武次郎氏（大同運輸株式會社長）同上

安眼子

中國銀行大連支店長の更任披露宴は七日の晚ヤマトホテルに開かれた招かれたものの日本人あり支那人あり外國人もあつたが▲前支店長韓振華氏は最も流暢溫雅な日本語での挨拶、本行は黃龍旗の時代に大清銀行として生れ、五色旗時代に中國銀行と改名された、その時代に本行は北京から上海に移つた、而して營業は爲替銀行として活躍し來つたのである▲かく政變の影響を受けては居るが行務の成績は頗る良好とあつて來賓に好感を與へ次いで新支店長陳鐵文氏もまた淀みなき日本語を以て將來よろしく頼むと懇懃に落ち着きたる挨拶▲招かれた來賓は中國紳士の典型を中國銀行新舊支店長の二人に認め得るといふので日支共存共榮上すこぶる有意義な招宴であつたと來賓の一人が感服してゐる

本日廳報を添ふ

特產

定期後場（鈔建）

▲大豆（鈔建）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二百十三車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	―	―	―	―
十月限	―	―	―	―
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　四萬三千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三千箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	―	―	―	―
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十五車

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	八三二〇	八三三〇
大豆（裸物）	―	―
出來高	五車	
普通大豆（袋物）	八一六〇	八一六〇
大豆（裸物）	―	―
出來高	五車	
豆粕	二六四五	二六五〇
出來高	九千枚	
豆油（出來不申）		
高粱（出來不申）		
包米（出來不申）		

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄引	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（期近 九十八萬五千圓）（遠期 百二十九萬圓）

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	―	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金 三萬八千圓）（銀對洋 七千圓）

商品

後場

▲綿糸（弱保合）

銘柄	約定期	値段	棚數
鐵筋	十一月限	一〇九六	一〇〇
同	同	一〇九八	四〇

出來高　百四十棚

▲麻袋（出來不申）

神戸特產（八日）

品目	値段
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品中	[illegible]	[illegible]
豆新中	[illegible]	[illegible]
豆信先	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

大阪期米

	五品	東新
寄値	不申	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]

限月	後場寄	後場引
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]

（第三種郵便物認可）

滿日地方版

奉天

庵谷氏、會頭を飽まで辭退
然し結局就任を見ん

奉天商議の正副會頭は既報の如く一日の議員會で會頭に庵谷忱氏、副會頭に石田武亥、藤田九一郎兩氏が推薦され石田氏はその席で庵谷氏が北滿から歸奉して會見をなし意見の交換をなしそれで容れられる處があれば副會頭に就任する旨それまでは保留して貰ひたい希望を述べ閉會その成行は非常に注目されてゐたが庵谷氏は五日歸奉したので六日午前九時吉川、藤田西尾、入江の四氏と會議所に於て會見し議員會における滿場一致の推薦の經過を述べ承諾方を求めた處庵谷氏は以前から辭退の意志を決してゐた事とて同席でも之を辭退したため當日はそのまゝ會見を打切つた之がため副會頭に先立ち會頭問題が持ち出されるやうになり來る十一日頃更に議員會を開き善後策につき協議される筈であるが結局庵谷氏が無理を推してでも承諾せねばならぬやうにならうと云はれてゐるが副會頭が庵谷氏が會頭を承諾しても如何に落ち付くか頗る興味を以て觀られてゐる

醫大の評議員會
中旬滿鐵本社で開く

滿洲醫大の第三回評議員會は滿鐵側評議員の異動で一時見合はせてゐたが今回滿鐵側新評議員も決定したので愈々今月十五、六日頃滿鐵本社で開催することになつた協議事項の主なるものは昭和四年度決算、五年度實行豫算、學年度の事業費、營業收支豫算等廿四件で今回は特に同大學の從事員に重大關係のある共濟規定も提出される筈である尚評議員の氏名は左の通りである

▲滿鐵側　木村總務部次長、向坊計畫部次長、竹中經理部次長、三宅主計課長、鈴木鐵道部次長、山西地方部次長、土肥地方部庶務課長、栗野學務課長、金井衛生課長、小倉奉天地方事務所長

▲大學側　稻葉學長（議長）森幹事林醫院長、久野、久保田、守中三教授

滿洲の雨期

奉天附近の雨期につき奉天觀測所の話を聞けば

日本內地は既に梅雨期を脫してゐるが滿洲では丁度氣壓が雨期の配置となつてゐる六日は北滿方面に小低氣壓が現はれ東進してゐる關係上小康を保つてゐるが之が去れば晴曇不同の天候となる、山東、遼東半島等の沿海地方は非常に濕氣を帶びてゐるが奉天附近はその南方に山を控へてゐるため南方より北方に向ふ濕氣は山に遮られて上空高く飛散して仕舞ふので濕氣がなくなる一方奉天附近は局地的に低氣壓が生ずるので屢々驟雨を齎す滿洲の雨期は七月上旬から約卅四五日間に亘つてゐるが右の關係で雨期と云つても降り續くやうなことは滅多にない今後は氣候も不順となるので一般市民は保健に注意することが肝要である

青年實業團の處女試合

奉天における實業野球團解散後實業系統の野球チーム無きを遺憾とし今回青年有志によつて組織される青年實業團は六日午後二時から新公園グラウンドに於て奉天遞友軍と初の試合が行はれたが兩軍とも失策多きなかにも十一對五で實業團敗れ四時半頃閉戰した

女給志願の女の捜査願

福岡縣直方町井上作市長女さだ（二一）は豫て女給を志願してゐたが去月十六日無斷家出したまゝ行方不明となつたので捜査中奉天江の島町市場食堂にゐるから一日も早く連れに來いとふさだから便りを受取つた作市は早速奉天に向け出發したしかし途中不幸にして發病したゝめ郷里まで引返し奉天署中奉天の知人に對しさだの所在につき電報で聞き合せた處さだは最早市場食堂にはゐないといふ返電に狂氣の如く驚き直に奉天署に對し捜査願を出した、奉天署では各方面に手配し捜査中であるが聞く處によればさだは騎兵曹長で梅森勝と稱する男の甘言に乘せられ郷里を出奔し各地に流浪の旅を續けてゐたものでさだは賣り飛ばされる模樣があると

斷髮酌婦
自殺を圖る

六日午後三時頃市內柳町四番地料理店第一旭樓抱へ酌婦邦枝事日高きみ子（二七）は同樓階下自室に於て洗滌用劇藥カマンガンサンカリウム約十瓦を嚥下し自殺を圖り苦悶中を同日午後四時頃仲居が發見して大騷ぎとなり直に藤卷醫院に擔ぎ込み應急手當の結果生命には別條ないが原因について聞く處によれば數日前から自室に於て靜養中親兄弟のことから自分の現在の境遇のことまで考へ込み遂に厭世の自殺をなす決心をし四日間も斷食を續け豫て用意してゐた劇藥を飲み計畫的に自殺を圖つたものである尚きみ子は以前撫順、奉天等で女給を勸めてゐた事のある評判の斷髮女で曾てはその情夫中市が柳町十文字に於て頸部を斬りつけ自殺を企てゝ大騷ぎをした事もある

町の便り

◇七日の七夕祭當夜の奉天では女の子供を持つ各家庭に於て短册に赤飯に瓜に夫々お供物まで整へられ盛なお祭が行はれた

◇小谷納涼園は今年は稻葉町三番地に於て八日より開場したが蓋明け興行には支那曲馬團の大演技がかけられ人氣を呼んでゐる入場料大人二十錢小人半額每夜七時から十一時迄

◇在奉拓大學友會支部では七日午後五時から浪速通ユニオンの階上に於て臨時打合會が開かれ鈴木氏外八名出席、來る十三日夜開かれる拓大教授學生の辯論大會に關する打合せを了し更に從來規定されてあつた會費徵收が不履行となつてゐたのを七月から五十錢宛徵收することも打合せ決定し七時過散會した

奉天

奧地を目標として
=附屬地は見本市場=
奉天地方事務所長　小倉鐸二氏談

明治四十年滿鐵が軍から奉天附屬地の經營を引繼いで原田鐵造氏が奉天出張地方事務所長となつた、之が地方事務所長の初の就任者である、當時の附屬地は舊停車場があつたゞけで所々に支那の民家が散在してゐたに過ぎない、といふのはロシア時代に何等の施設をしてゐなかつたゝめである、ロシアは南方經營に急で遼陽、大石橋、瓦房店などは相當經營し、撫順でも一寸手を着けたが奉天は後廻しといふことになつてゐたものと思ふ、しかし交通の中心であるのと、支那政廳の所在地といふので將來を見越して附屬地だけは現在のやうに廣く取つてゐたのである

◇

處て　此の廣い土地を出張地方事務所は、主任の外僅かに一二人で經營管理したものである、間もなく奉天經理係と改められ主任に大淵平藏光氏、次に原田氏が再任し、松本顯逸氏、田中德三郎氏などが歷任し、是等の人が附屬地創業の基礎を造つたのである、その後地方事務所長と改稱せられてからも入江正太郎、赤羽正助、島崎好直、竹中政一、山西恒郎、井上信翁、平野正朝、太田雅夫氏などと代つてゐる

◇

四十年頃の市街は南一條通から富士町に掛けての一小區劃だけであつた、しかし全附屬地の都市計畫は當時既に確立してゐた、區劃とか學校、その他の大建築物の位地などには多少の變更はあつても、大體最初のプランに從つて今日の大市街を完成したのである人口增加の跡を見ると四十年は千七百餘、內日本人八百四十八、支那人八百七十人位だつたのが大正元年には約四千七百人、內日本人三千二百、支那人千四百となり、昨年の調査では三萬九千三百七十六人、內日本人一萬九千四百八十三、朝鮮人五百七、支那人一萬八千百七十一、外國人千二百十五、戶數は總計七千四百三十八戶、內日本人四千三百六十七、朝鮮人百、支那人二千六百五十二、外國人三百十九の數字を示して居り、現在でも之と大同小異だらう

◇

以上の戶口を擁する附屬地を經營するに要する經費は公費が六十萬圓、事業費は年に依つて違ふが大體三、四十萬圓である、公費の費途は三十七%が教育費、二十%が土木費、十五%が衞生、殘りの二十八%が雜支出となつてゐるが、此の內市民が負擔するのは僅に二十三萬圓であつて、不足の三十七萬圓は滿鐵が補助してゐるのである、今日まで滿鐵が奉天附屬地の都市經營に注込んだ金は恐らく二千五百萬圓に上るであらう附屬地の總面積百八十萬坪の內北部の住宅地に一萬坪ばかりが殘つてゐるだけで餘地といふものは殆ど無い、此の上は附屬地外即ち商埠地に進出する一途が殘されてゐるだけである

◇

現在　支那側でも新築の瀋陽驛を中心にして大規模の都市計畫を樹てゝ居り、我々もその推移を見て之と聯繫すべく將來の附屬地の道路その他の施設をする考であるが、邦商も今後日本人が三萬になり四萬に增えても共食ひでは多寡が知れてゐるから、將來は附屬地外に進出して支那人と一緒に生活し商賣するやうにしなければなるまい、殊に奉天は交通の中樞たる地位を惠まれてゐるのであるから、將來の邦商は廣大なる奧地を目標として附屬地は單に見本市場であり、倉庫であるところの對支商議の根據地とする意氣を以て奮鬪すべきであらうと考へてゐる

支那には珍しい
齊々哈爾の市街
曠原に和む白帆の點景

◆…四日午前七時半馬車で洮南公所出發、昨夜來の降雨で城內外の道路は濁流で埋まり、車上仲々危險を感ず、洮昂鐵路足立顧問公館に立寄り驛に至つたが、附近は洮昂局員の集合社宅で蒙古原頭としては珍しい文化住宅である、八時四十分發車、一路篠つく雨を窓外に眺めながら昂々溪に向つたが同列車には四月齊々哈爾に於て落馬負傷した黑龍江省政府主席萬福麟氏の病氣見舞に赴く同氏長男萬國賓洮昂鐵路局長（二七）一族十數名が特別列車を連結してその豪勢振りを見せる

◆…酷熱にあえいでゐた陸海の綠草は乾天の慈雨に生々と大空へ延び、地平線は雨霧のため距離を縮められ前日の四洮沿線よりは更に一層の壯觀さを見せて旅情を慰めて吳れた、江橋附近を橫斷する嫩江の濁流は雨量で增水し徐行で通過する、鐵路上は毎年雨期に流出されて交通杜絶する關係上、雨の旅行では矢張り旅客に危險感を抱かせずには置かないやうである、十五時二十分昂々溪着、楡樹屯支線へ迂回し東支線への旅客を降して後齊支間に問題視されて居た東支線上のクロス線を越えて五時半頃齊々哈爾に到着した

◆…驛頭に中川公所長、山本公所員等の出迎へを受け邦人一里餘の泥濘膝を沒する惡路を自動車で龍河城內（齊々哈爾）に入り、そのまゝ雨中の市街視察に一興を添へ同興飯店に公所招待の晩餐會へ出席、駐齊清水領事も陪席して快談したが、九時頃日本人經營龍河旅館に旅裝を解く（最初は朝日旅館の豫定であつたが降雨のため土造屋根が落ち龍洲旅館に變更）

◆…市內人口十萬と稱され內日本人は僅百四十名餘といふ、市街の狀況は嫩江々岸の平坦なる大原野に建設せられ南北に長く中央稍北に偏して內城がある、城內は周圍僅かに二十四町で東北邊防副司令官公署省政府等官衙がのみが置かれ支那の市街建設としては珍しいものゝ一つであらう、龍沙公園は市街の西南にあつて園內殆ど楡の大木を以て覆はれ望嶼樓に登れば全市街を一望に入れ、郊外の平坦々たる平原に白帆の點在するをいるが、これは嫩江々上を利用した帆走で大陸にこの白帆を見るのは一寸驚かされる、龍江は北滿における政治及び軍事の中心地で從つて農業、工業、商業、畜產等の發達は餘り見るべきものはないが、嫩江流域の漁業は相當有望で黑龍江省主要物產の一に數へられてゐるやうである、五日、八時四十分齊昂驛に到り十一時三十分同滿鐵公所を車窓に送つて東支鐵道齊々哈爾驛より乘車齊々哈爾賓に向ふ（齊々哈爾にて南里生）

人事

▲宮島鐵道省事務官　六日過奉大連へ
▲平屋鐵道省事務官　同上
▲三谷奉天憲兵分隊長　六日虎石臺往復
▲八ケ代奉天副領事　六日歸奉
▲高木奉天守備隊長　六日虎石臺往復

宮城山一行の日本大相撲は十八、九の兩日舊グラウンド西隅に於て花々しく開かれることになつた

瀋滴

今始つた事でもないが奉天取引所信託會社の誤算問題が何回となくしかも仰々しく世の中に騒け出される、違算の金額は引續き取調中とあつて知るに由もないが奉天取引所として信託と兩手の如き關係にある取引人組合側が信託の取調べに對し一々奇怪らしい事實を摘發し盛に信託に毒づき今では信託の不信任まで關東廳に持ち出されんとしてゐる▲之を煎じ詰めると會社の內部的些細な問題に過ぎないので內部的に解決方法を進めて行かねばならぬ筈のものであるがこれ程までに問題がましく進められてゐる點から見て嘗ては原田專務の排斥に始まつてゐる原田專務と取引人組合との感情の衝突しか考へられぬ▲まして組合側の陳述する處會社側の辯明する處の內容を見てをやである▲さう仰々しく出た處で問題が解決するか否か甚だ疑問、しかも心あるものは單なる內輪もめ位にしか考へてゐない會社のため取引人組合のため今少し穩かなる圓滿解決を望む

金州

優勝旗、燦として內外綿軍に
炎天下の熱戰凄じく
壯觀を極めた野球リーグ戰

當地青年團主催滿日本社寄贈の優勝旗爭奪野球リーグ戰は六日午前十時より內外綿球場において本丸團長代理の挨拶に次ぎ滿蒙吉井大藤二氏相互審判の下に開始せられた、先づ城內對新市街の對戰は大接戰となり城內軍四回敵失に乘じ一擧十點を先取したが新市街軍六點を返し形勢逆轉せしかと思はれしが遂に十二A十にて新市街軍敗る、第二回內外綿對城內の對戰は十六對一にて內外綿の大勝、第三回城內に敗れし新市街軍對內外綿は內外綿の攻擊物凄く二十七對七にて內外綿最後の止をさし閉戰午後四時、本丸國島兩氏の手に依つて榮ある本社寄贈の優勝旗は遂に內外綿軍の手に歸した

撫順

熱球飛び美技續出
覇權鞍山組に歸す
壯觀！參加チーム實に四十八
庭球州外選手權大會

各方面から久しく翹望されてゐた初めの試みである庭球州外選手權大會は、六日午前九時より永安臺のA、B兩コートにおいて行はれたが當日風なく絕好の庭球日和のこととてファンはコートの周圍を埋め盡し參加四十八チームの曾て見ざる接戰亦接戰は午前九時より開始され、觀衆の熱狂裡に午後四時五十分準決勝戰に入りAコートにおいて撫順の原、赤松組は鐵嶺の藏野、早田組を四對零で屠り

Bコート　では鞍山の片山大谷組と撫順の田所、鹿野組との對戰で接戰の後四對二で鞍山組勝ち、愈々最後の決勝戰は州外の兩雄鞍山の片山、大谷組と撫順の原赤松組に依つて演ぜられたが鞍山の熱球戰に四對二で撫順軍を破り當日の榮ある覇權は遠征の鞍山片山組に歸し六時閉戰した、當日の主なる經過次の如し

第一回戰（豫備戰で勝殘つた組で行ふ）

（Aコート）

△四平街の藤原、藤井組と長春の安永、百田組は四對二で藤原組勝
△撫順の赤松、原對鞍山の岡村、外尾は四對二で赤松組勝
△本溪湖の山下、中野對撫順の百武、野々宮は四對二で山下組勝
△遼陽の池野、村田組と奉天の川口、吉原組は四對二で松尾組勝
△鐵嶺の藏野、早田組對撫順の瀧澤、成井組は四對一で藏野組勝
△奉天の田中、前澤組と四平街の一松、八川組は四對一で田中組勝
△長春の眞子、德田組と本溪湖の本村、鶴田組は四對零で本村組勝

（Aコート）

△開原の田中、木津組と本溪湖の小宮、田口組は四對二で田中組勝
△安東の宍戸、長谷川組と長春の手島、岸川組とは四對零で宍戸組勝
△撫順の田所、鹿野組と奉天の吉川、北川組は四對二で田所組勝
△鐵嶺の寺島、佐賀組と遼陽の平山、三宅組は四對一で平山組勝
△撫順の石井、木下組と鐵嶺の樽谷、酒井組は四對一で石井組勝
△鞍山の片山、大谷組と奉天の大田尾、石川組は四對一で片山組勝
△（長）間瀨、落合對（撫）梶、淚出は四對二で梶組勝
△（遼陽）岸、安住對（營口）牧園、大西は四對三で牧園組勝

第二回戰

原　赤松	四—二	藤原　藤井
山下　中野	四—一	池野　村田
松尾　小井澤	四—一	藏野　早田
田中　前澤	四—一	本村　鶴田
田中　木津	一—四	宍戸　長谷川
田所　鹿野	四—〇	平山　三宅

第三回戰

原　赤松	四—三	山下　中野
藏野　早田	四—三	田中　前澤
石井　木下	四—一	片山　大谷
安田	四—〇	牧園　大西

（準決勝以下前記の通り）

撫軍の好打空く
長春軍遂に復讐
=3—2の大接戰=

撫順野球部對長春野球部との大接戰は六日午後四時四十分より長春グラウンドにおいて熊本（球）長島（壘）氏審判の下にバッテリー撫森內、渡邊、長春高橋、中川、長春先攻で開始されたが觀衆頗る多く、連敗の恨みをこの一戰に雪ぐべく復讐の意氣燃える長春は二、四、六回に各一點計三點を得たるに反し撫軍は長春の全回を通じて安打三に對し安打六本を飛ばしながら武運拙く八回まで遂に物にならず、九回裏猛打連發二點を得しも遂に及ばず、三對二で長春をして名をなさしむ、閉戰六時五十分

兩軍メムバー

長春　香田　川野　田橋　戶幡　淺杉　中小　久保　高原　藤小
9 8 2 4 7 1 3 5 6

撫順　田崎　原田　川邊　內原　森　高尾　野岡　森渡　森出
8 7 4 3 2 1 9 5

因に長春滿倶は來る十三日撫順へ來征する事と決定した

普通校の敷地決定
九月中に竣工

各方面で引張凧であつた新築普通學校敷地が漸く決定した、場所は管理通學至便且つ同校特殊の使命を果し得るゆつたりした實習地のある憲兵隊分遣所南側一萬六千五十五平方米の地點である、同校は九月末竣工の豫定で撫順の鮮人子弟は他に比ない位惠まれてゐる

未教育補充兵の訓練

撫順在郷軍人分會と撫順署の協力で未教育補充兵に兵營生活の一端を體驗せしめ且つ教練の一部を實施し一朝有事の際在郷軍人として遂行せしむるため昭和三四年度の壯丁七十名を十二日午前八時召集守備隊に宿泊せしめ、翌十三日午後一時解散の豫定であるなるべく應召せられたいと

安東

遠來の奉天滿倶
3—0で敗る
安東滿倶軍大に振ふ

安東滿倶野球團は六日奉天滿倶を驛前グラウンドに迎へ一戰を試みた觀衆無慮一千、定刻吉本（球）戶田（壘）兩氏審判の下に午後二時半安東滿倶先攻にて開戰安滿此の日非常に調子よく第一回に三點を先取し最後まで驅迫を加へ結局三對〇を以て勝を占めん因に當日のメムバー及びスコアーは左の如し

安滿　顴岡部井條山葉馬塚
筒吉服酒上瀨千有手
8 3 7 2 4 9 1 5 6

奉滿　川田原藤木村谷口野
香原水近青田油瀨中
7 5 3 2 9 1 8 6 4

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
安滿	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
奉滿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

飛行演習
新義州にて

平壤飛行聯隊は近く新義州において約一週間にわたり飛行演習を實施する筈である、參加飛機は偵察機六機なるが開始期は多分九日若くは十日頃となるであらう

競馬好成績

安東競馬の去月二十八、二十九、三十の三日間の馬券總賣上は五萬九千七百六十圓で第二期の五日初日も一萬六千六百三十六圓の賣揚げを示し、初日以來を通じて四日間の累計は七萬五千八百九十六圓に達し此處許りは不景氣知らず

間島

千四百年前の
銅印を發見
延吉縣車道溝で

數日前間島中央學校全訓導の許へその知友から、大正十四年延吉縣車道溝で荒地を開拓中發見されたといふ古代の銅印一個を送つて來たが同銅印は青銅方一寸九分、厚さ五分五厘のもので印背の中央に高さ一寸一分幅五分長さ一寸五厘の長方形の撮柄があり、印面には篆書で二行に「勾當公事之印」といふ文字と「勾當□□印」（□□の二字不明）といふ文字の彫刻があり、印背の中央撮柄の一面に「上」の一字とその右側に「大同八年六月」といふ六字が彫つけられてある、考査の結果右、大同は支那南北朝梁武帝の年號で大同八年は皇紀一千二百二年第二十九代欽明天皇の第四年に當るから同銅印は西曆五百四十二年即ち今を距る一千三百八十八年前のものであることが判明されると、なほ同印は入手した全訓導が所持し印面の「勾當公事之印」について研究中である（寫眞は銅印）

頭道溝分館主任更迭

間島總領事館頭道溝分館主任毛利此吉氏は奉天省通化領事分館主任に榮轉することゝなり、後任松原久義氏（元廣東總領事館在勤）の着任を見て、龍井經由二日朝官民の見送りを受けて退間したが、一應歸朝の上赴任した

の有様である

大和校の兒童大學

大和小學校では毎週一度兒童大學を開き兒童の希望する學課に就き自由教育、指導、研究等をなしてゐたのを七日から毎日一度午後二時から開く事となつた

兒童に阿片

新義州府內初音町六ノ一勞働者金基臺（三二）は五日長男金春守が腸カタルに罹つたので同夜九時頃豫て安東縣から密輸してあつた阿片十錢分を服用せしめた所病兒は益々苦悶を訴へ六日朝遂に絕命した、新義州署では直に金某を引致し過失致死罪として取調中である

鐵嶺

滿期兵
けふ離鐵す

鐵嶺衞戍病院に勤務中であつた看護卒、磨工卒二十六名は今回滿期となり九日午前十時二十三分發列車にて離鐵郷里に向ふにつき市民は成るべく多數見送り其行を旺にされたいと

中川長春機關區長

長春機關區長に榮轉せる中川正氏は單身赴任中であつたが六日歸鐵家族を同伴して十日午前八時二十分發列車にて正式に赴任すると

築谷特務曹長榮轉

前鐵嶺憲兵分隊班長たりし築谷曹長は鐵嶺から安東に轉任し今回特務曹長に昇進すると共に海城憲兵分遣所長に榮轉したと

兒童水泳競技

鐵嶺小學校では來る十二日プールに於て全校兒童の水泳競技會を擧行する

四平街

全滿弓道大會
十三日、鐵嶺で擧行

鐵嶺に新築道場開きを擧行した鐵嶺弓道部は近く全滿大會及北部優勝旗爭奪戰を目前に控へ部員一同は弓道狂で知られた萩原二段を初め連日熱心に練習なしつゝあるが、其後市中又は滿鐵社員中よりも部員の新加入者ありて道場は晝夜非常の賑ひを呈してゐる、なほ道場新築記念の全滿大會は豫て委員間で着々準備中のところ愈々來る十三日午前十一時より開會する事となり各地へ案內狀が發せられた當日は石原範士の射初式がある外全滿における斯道達練の士多數來會の事なれば盛會は今より豫想せらる、因に當日のプログラムを示せば次の如し

開會の辭三浦會長▲射初式石原範士▲禮射各員一手▲競射十射▲納射石原範士▲賞品授與▲閉會の辭委員長

開原

緊縮映畫公開
十二日公會堂で

滿洲公私經濟緊縮委員會にては來る十二日午後七時半より公會堂に於て活動寫眞會を催し左記映畫を無料公開すると

▲聖上御巡幸復興の帝都（二卷、▲聖上御臨幸帝都復興式典（一卷▲秩父宮殿下御渡滿記念寫（關東廳作）數卷▲日出づる國（文部省作）三卷▲覺めよ國民（文部省作）三卷▲二つの世界（文部省作）一卷

小坂次官來公

拓務政務次官小坂順造氏は松島殖務課長、中谷警務局長、渡邊警務部の諸氏の東道にて八日九時三十四分着の列車にて來公、守備隊司令部を訪問後農事試驗場その他を視察十三時五十五分發の列車にて南下

菱刈軍司令官通過

關東軍司令官菱刈大將は新任初巡視の途次八日午後二時十五分當開原驛通過北行するが、同司令官は十二日午前十一時參謀公會堂に官民有志を招待し新任披露宴を催す

小坂拓務次官

小坂拓務次官一行は北方の視察を終へ八日第十六列車にて當驛を通過南行した

中村中尉寄附

元開原守備隊附中村中尉は奉天第二大隊附に轉任につき當地獎兵義會より記念メダルを贈呈せるに對し金十圓を同會へ寄附した

川崎所長經過良好

大連醫院に入院加療中の川崎所長は經過非常に良好にして近日中に退院し當分（旅大方面か）閑地にて靜養出來るまでに回復したと

遼陽

公園で大園遊會
▽……移駐軍隊の歡迎

遼陽步兵第卅聯隊所屬大隊が廿二日頃旅團司令部と共に柳樹屯から移駐し來るにつき遼陽官民は誠意を以て歡迎の意を表すべく、五日午後二時から滿鐵社員倶樂部に各方面の主腦者會合協議の結果、移駐當日軍隊側に差支なき日時を選ひ白塔公園において將校以下全員の歡迎大園遊會を開催の事に決定、近日內地方事務所長代理として三澤庶務係長が柳樹屯に赴き旅團司令部と大隊本部に招待挨拶を兼ね打合せをなすことになつた

粟野地方課長
七日來遼

滿鐵地方部粟野地方課長は七日朝來遼見坊所長の案內で師團司令部、領事館、警察署其の他を訪問新任挨拶の後十一時から地方事務所會議室に地方委員正副議長青山、猿渡兩委員、松田更正會委員を招き廿萬圓問題につき從來の經緯を聽取し將來の振興策につき意見を交換した、因みに生田更生會長外數名は社團法人設立の件につき七日夜行で關東廳を訪問した

白塔だより

柳樹屯部隊の移駐につきては在住民は赤誠こめて歡迎の意を表すべく計畫中である事は誠に結構▲駐屯部隊の歡迎は二十數年來其の計費の大小の程度に差異こそあれ在住民の軍隊に對する敬意は終始一貫である▲遼陽在住民は軍隊の駐屯を餘り歡迎せぬではなからうかなんて噂する者が軍人間にあるやうに仄聞するが非常な間違ひである▲疲弊しきつた遼陽なれば物質的に鳴物入の大歡迎は出來ぬまでも、精神的歡迎の微意を表はす氣分の持合せは多分にある事だけは間違ひない▲遼陽は軍隊町と教育地として將來の振興策を樹立せねばならぬとは識者の唱ふる處である

人事

▲菱刈軍司令官　七日急行で來遼在遼部隊の初巡視をなし八日朝北行

瓦房店

林間聚落
準備を急ぐ

瓦房店小學校ではいよ〳〵林間聚落を開始して自然の山野に親み身心の教養は勿論其間理科を修得せしむるといふので中條校長以下各受持訓導は準備に忙殺されて居る、豫定左の如し

八日第二水源地において入學年三以下▲九日大沙河尋四以上回調川尋三以下▲十日神社山プール遊び全學年▲十一日第一水源地全學年▲十二日大沙河尋三以上同頭川原尋二以下

衞生映畫會盛況

瓦房店警察署及地方事務所主催の衞生活動寫眞會は六日午後七時より公會堂に於て開催、定刻佐藤署長の挨拶について映畫を公開したが觀衆六百名の多數に達し盛況を呈した

齋藤氏送別會

好人氣を以て當地機關區運轉主任より大連機關區長に榮轉せる齋藤輪之助氏のため謠曲會にては五日午後四時より、また關東北入會にては六日午後二時より何れも社員倶樂部に於て送別會を開催した

公主嶺

菱刈軍司令官
官民招待披露宴

菱刈關東軍司令官は當地駐劄各部隊初度巡視のため八日午後六時着の列車にて來公、丸福旅館に一泊九日正午守備隊將校集會所に主なる官民を招じ開宴、十五時二十七分發の列車にて北行した

馬賊頭目逮捕

梨樹縣下の各部落を橫行農民を脅ひ金品を強奪暴威を逞しうしてゐた馬賊頭目權は、同地支那官憲の手に股肱の部下四名が逮捕され身邊に危險が迫つたので嚴重な警戒網を突破し公主嶺の支那部落に潜入したとの情報に、當署古田刑事は部下を督勵附屬地を警戒中七日午前十一時市內新町と落合町の十字路を徘徊しをる擧動不審の支那人を發見誰何訊問の結果、該頭目であることが判明したので間髮を容れず逮捕し目下嚴重取調中

外蒙の現狀 (七)

Y. X. 生

(四) 對支關係と 對國民軍態度(下)

從來外蒙が支那に期待せし所のものは、其國交を恢復して修交條約を結び新に支蒙貿易を復活せしむるにあり、蒙古政府は再三非公式に蒙藏院を介して其意を支那政府に傳へしめたるも支那政府の顧みる所とならざりき、然るに其希望は前記露支條約によりて全く打ち碎かれたり、故に展開策として彼等は其境域内にある支那商人に對し極度の壓迫を加へ、彼等の經濟的勢力を一掃して自ら經濟的復活すべく官民一致して其宣傳と實行に着手したり、即ち、金融機關を各地に置き貨幣を鑄造して物々交換の弊を除き、コーペラテイーブを設置して需給を調節し、其他精酒工場、皮革工場、自動車會社の設置經營、更に南方よりの輸入品への重税、一方、北方貿易に對しては輸出入品とも極めて低廉なる税率を課するに過ぎず、而して此機會に露商人の進入は日を追つて益々增加し奥地到る處其部落を形成するの狀を呈し、恰も支那商に對する露蒙聯合の經濟戰の觀を呈し、遂に支那商をして孤立無援今や露國の隣力によりて僅に商號を保持するの悲境に沈淪せしめたり、外蒙今日の急激なる覺醒進化は赤露の教化訓練に負ふ所大なりと雖も、一面に於て支那の冷酷なる對蒙態度が招來せる點又少しとせず、故に今日支那が多少なりとも妥協の意志を表示するに於ては外蒙は進んで其代表を派するに躊躇せざるべし、外蒙は已に支那が絶へず内亂政爭に沒頭して其餘力無きを知るも、支那の承認を欲するや切なり、支那の承認を得ざれば列强の承認を得ること容易にあらざるを知るが故なり

轉じて馮玉祥との關係を觀るに世に發表せられたる馮對外蒙の局部的密約の如きは外蒙は殆ど之を無視せざるが如し、抑々外蒙が馮玉祥との密約を結ぶに至りしは昨十四年十一月、外蒙中央執行委員會長丹巴多爾濟が張家口に於ける内蒙國民黨創立發會式に際し外蒙を代表して出席せるを機として兩者の間に成立せるものなるも、是より先き同年三月廣東政府顧問ボローヂンが突如張家口に來りて馮玉祥との間に彼の有名なる密約を締結し、爾來國民軍は赤露より顧問教官を招聘し武器の供給を受け宣傳費を支給せらるゝ等、馮と赤露間の連絡は完全に成立せしも而も武器の受授赤露張家口間の往復等其他總て外蒙を經由せざるべからず、然るに當時未だ馮と外蒙間の諒解成らず且つ外蒙は地理的に兩者の仲繼處たる位置であるを以て一は赤露を介し他は内蒙國民黨をして兩者連絡の任に當らしめたり、其結果兵を外蒙に入れざるを條件として馮軍の希望を容るゝに至れり、然れども外蒙は馮に對しては中立的態度を以てし何れかと言へば寧ろ赤露對國民軍の關係を白眼視するの態度を以て之に對しつゝあるの狀態にあり、何となれば外蒙としては是に依りて何等益する所なきのみならず、單に馮乃至國民軍に利用せられつゝあるに過ぎざればなり、要するに赤露の慫慂已むを得ざりしに依るが如し當時外蒙當局者の予に語りし處に依れば

若し國民軍にして一歩を外蒙境域内に入るゝが如きことあれば外蒙は斷乎たる處置を採るに躊躇せざるべし

と、果して國民軍敗退の際外蒙は兵を國境に增派して是に備ふる所ありしと傳へらる、外蒙政府の對手は結局只中央政府にあり、故に區々たる國民軍の勢力消長の如きは外蒙政府としては殆ど無關心の狀態に在り

八面相

投書歡迎 (一回行數五十行以内のこと) 中傷を目的とするものは採らず

海員團の要求

駿河町 一書生

近頃海員の團體より大連汽船に要求の乗組支那人の取替一件は少し無理ではありますまいか、力量が同一で賃金の高い邦人を採用は無理ではないでせう、邦人やフイリツピン人が米國に歡迎されるのは、賃が同じで價が安いからで、同國の勞働者連中が種々の妨害や壓迫を加へても矢張り無効だそうですそれに動物でさへ情合があるものです、今永く寢食苦樂を共にせし者を正當な理由も無しに突然追ひ出すなぞは不人情不德義全く沙汰の限りです、在滿邦人は口を開けば共存共榮を唱へてゐるではありませんか餘りに狹い了簡を起しては個人間は勿論、國交上にも惡影響を及ぼすの虞れがありませう、も少し氣の利いた救濟法がないでせうか

全世界に揚る報復の火の手 不評判の米新關税

アメリカが實施した新關税は世界的に不評判であるが、其の後反對の火の手は益々擧り、報復手段に出るものが益々增加して來た、そこで「各國がアメリカ品をボイコツトするとすれば、その隙に乘じて日本品が進出することは出來ないものかといふやうなことを考へてゐるものもある。

アメリカの新關税法が議會に提出されて以來約三十ケ國が抗議を提出した、その中最も手廻しよく、而も有効に一撃を加へたのはカナダであつた、カナダはアメリカ新關税實施の一ケ月半も前に關税改正を行つた、改正の要旨はイギリス帝國品に對する特惠を擴張した事、外國へ對する報復關税を用意した事である、この報復關税はアメリカの引上實現と共に自動的に實施された、カナダはアメリカ最大の顧客で年々八億ドルのものを買つてゐた、然し新關税で二億ドル以上減るとアメリカ商務省は憂慮してゐる、但しアメリカ品中最も打撃を蒙るのは農産物及鐵で、日本品の割込む餘地は餘りない。ゼネラル・モータース輸出會社々長ムーネー氏は先頃左の如き演説を試みた

アメリカの關税引上げはイギリス品の進出に絶好の機會を與へた、カナダの關税改正もオーストラリアの關税改正もそうである、オーストラリアは先頃アメリカ自動車の關税を五割引上げ其の他の商品にも禁止的關税を課した、引上の主因は同國の經濟事情に基づくのであるが、アメリカの關税引上がこれを刺戟したことも事實である、オーストラリアは從來「イギリス品を買へ」の運動には餘り動かされずアメリカには比較的好意的であつたのに殘念なことである。

フランスは去る四月自動車關税の基礎を輸出價格より重量に變更した、この結果一部の關税は五割の增徵になり、中等以下のアメリカ自動車は事實上輸出不可能となつた更に六月廿日パリ發電によると、アメリカ新關税法實施に對しフランスの輿論は大いに沸騰し、本日フランス下院關税委員會は政府に對し次の勸告決議を行つた、即ちアメリカの關税を元通りにさせるか、若しくは報復手段に出づべしといふのである、一方急進黨首領エリオ氏は、アメリカの關税引上に對しヨーロッパ諸國政府が共同的行動に出づべきであると説いた、又プチ・ヂュルール紙はこの際ヨーロッパ聯邦組織の絶對的に必要なることを力説してゐる。

ベルギー政府も報復手段を執るに決した、但しその具體案は他のヨーロッパ諸國と協議の上決定することになつてゐる、スペイン政府に於ても、この際アメリカとの現行暫定通商條約を破棄すべしとの同國實業家の訴願を考慮中である又先頃次の如き噂もあつた、即ちイギリス、ドイツ及びベルギーの銅輸入商は共同して價格三千萬弗に上る對米銅注文を廢棄せんとしてゐると、又イタリー及びベルギーの自動車製造業者はアメリカ自動車排撃の全ヨーロッパ的運動を起さんとしてゐるとの報道もある南米はアメリカの最も重要な市場であるが、そこにもアメリカ品排斥の運動が起つて來た、アルゼンチンは去る五月、對米報復の目的を以て新關税制定委員を任命したアメリカ商品で最も狙はれてゐるのは自動車である、アメリカは年額五億弗以上を輸出するがこれでは日本品の割込む餘地はまづない

歐洲大戰回望 (6)

兩軍の戰術的清算

K、O、生

(二)塹壕戰

北地襲至る事早い。そぼ降る雨に濡れ乍ら泥濘の道を獨軍は逃げ聯合軍は追つた。勝つて追ふ者にも十分の餘力が無かつたから、追はるゝ者も次第にその陣形を立直す餘裕が有つた。かくて九月十五日の夕、獨軍は、エーヌ河の線に沿ふて踏み止まることが出來たそれから所謂北海までの長距離競走が始まつた。

日露戰爭によつて教へられた塹壕の威力は、十分に理解されて居なかつた塹壕の威力は、この長距離競走において無意識的に示された、エーヌ河畔で獨軍が踏み止まることが出來たのは主として速成の簡單な掩壕のおかげであつた。かくて彼我兩軍は塹壕の未だ築かれて居らぬ無主地帶に進出して敵の側翼を抱き込まうと互にその西翼を伸ばし遂に北海の海岸まで行つたのである。それは結局十月中旬獨軍はオスタンド、聯合軍はニューポールに達する事によつて行詰つた。これより後三年半の間、西部戰線は、猛烈なる塹壕突破の企と、これに伴ふ慘憺たる犧牲と、常に例外無き失敗とで終始し、塹壕の威力をいやが上にも證明するに過ぎなかつた。

この塹壕突破の企ては先づ獨軍によつて十月二十日より十一月十一日に亘り、アラスとイープルスに向つて試みられた、殊に後者に於いてはスタール・ゲウイッテス(鋼鐵の暴風雨)と名けられた砲彈と砲彈との晝夜の別無き强襲を以てし、十月三十日フアベック指揮の新軍團と二百五十門の重砲が獨帝親臨の許に敵の猛襲に加へられた、其には、英軍の砲兵は半時間に一發にその砲彈を節減すべく餘儀無くされ小銃用の機械油すら缺乏を告ぐるほどの慘な有樣になつたが敵は遂にその目的を達することが出來なかつた。

十一月下旬獨は東方戰場の急を救ふために騎兵全部と歩兵三個軍團を西部戰線から割いてガリシアに送つた。聯合軍はこゝに於て一九一五年三月末、酷寒の緩むを待ち、西部戰線に於て總攻擊を行つたが、英軍はリイルに向つて三哩幅に一哩進出し得たに過ぎず、佛軍はサンエルにおける獨軍突出部を少しく削り得たに止まり、四月に入るや獨軍は始めて毒ガスを使用し英佛軍聯繫部を中斷しやうとしたが失敗し、五月佛フオッシユの第九軍はヴイミイ丘陵部に向つて慘憺なる猛襲を加へたが、三ケ月間に二十萬の犧牲を出して殆んど何等の效果を收むる所無く九月ルースにおける攻擊に際しても英軍は空しく六萬の損傷を生じたに過ぎなかつた。

塹壕の威力は次第に明確に認識されざるを得なかつた。機關銃の發達と、其他各種火器の速射法及間接射擊法の進步とは、塹壕の威力を一大なるものにした主因である。此等の火器と鐵條網とによつて擁護さるゝ塹壕は一の連亙せる要塞と化した。人は近來の各種火器の發達において只その攻擊力を見て防禦力を忘れて居たことが判つて來た。フレデリック大王は「進むことは勝つこと也」と言つた獨軍はこの信念の下に攻擊精神に於て徹底して居た。この旺盛なる攻擊精神を動力とせる惜む所無き肉彈と砲彈の洪水は如何に堅固なる陣地をも突破し得ると考へて居たが、その凡ての進擊が塹壕の前には失敗した。十分なる銃砲を以て守らるゝ塹壕はその前面四百乃至八百碼において敵の進擊を阻止することが出來た。一九一三年において一般專門家は、次の戰爭は移動戰であり、且つ迅速に終結するであらうと考へて居たが、ポーランドの一銀行員ブロッホは十九世紀において既に、

次の戰爭においては兵員は凡て塹壕にこもるべく、鋤は銃と同樣に缺くべからざるものとなるであらう

と豫言して、さうして其豫言は一〇〇パアセントに於いて實現した(此項つゞく)

癩病の話

人世を蝕はみ誰にでも傳染す!

醫學博士 小久保惠作氏 (遺稿)

西暦一八七二年ハンゼン博士の癩菌發見によつて、癩は遺傳ではなく傳染性である事が斷定せられ、内外の學者は擧つて此の説を是認唱導する處となり、臨床學上に一新紀元を畫する事になつた。

× ×

此の業病が遺傳でない事は生理學上に於ても、男子の精虫及女子の卵子は他の微生物の介在する時は斷じて受胎せざる事實によつて證明されてゐるにも拘らず我國に於ては未だ「遺傳」と信ずるもの多く、從つて警戒を怠るために年々新患者が增加し今日に於ては世界第一の癩病國に列せられ誠に寒心に堪えぬ次第であります。(東京朝日所報)

× ×

抑々癩菌が人體内に浸入すると徐々に密集繁殖して外部に症狀があらはれるので此の間を潜伏期と云ひ一年乃至十年位に亘る事もある潜伏期中は血液檢査をしても癩菌は發見出來ず、僅に患者自身の感覺に異狀を生ずるに過ぎぬものである爲め偶々皮膚病、梅毒、神經痛、と誤られ姑息な手當てを施す裡に潜伏期が過ぎて晩進期に進むのである。晩進期に入ると病勢の惡化する速度は極めて迅く僅か數日のうちに顏面筋肉が膨脹弛緩し果には腐敗せる梨の實の如く凸凹を生じ口唇は腐蝕崩壞して齒を脱き出すの醜怪極まる相貌となるものであるから吾人は平素警戒せねばならぬ。

× ×

既に發病せる患者は勿論本稿末尾の初期兆候に心當りの人は予の知人福田秋水氏(東京市下谷區車坂町九二ノト號)に照會し治療書を乞へば小包便で無代送呈さる

傳染初期の兆候

(一)眉毛が痒く、掻けば拔け又は腋毛、眉毛、睫毛、髭毛、陰毛等が徐々に脱毛する。
(二)冬期になると顏、手足が褐色を帶び知肌となり、或は疼傷或は水疱を生ずるも夏になると[illegible]
(三)鼻孔内に腫物を生じ[illegible]き洟は膿の如く粘り、[illegible]が嗅れる事がある。[illegible]面に熱を發し、逆上て顏面油を塗りし如き光澤を[illegible]
(四)躰の一部に小虫の這ふ如き痒みある事あり、亦はチク/\さゝる如き痒みある[illegible]痛む。
(五)睫毛が逆生し拔き採[illegible]球を刺して痛く眼瞼と痙攣しウルミて涙[illegible]
(六)手足に脂肪氣なく、[illegible]じて老人の如く爪は[illegible]先の知覺が鈍くなる[illegible]
(七)田虫樣の頑癬を發生[illegible]を剝す。
(八)躰の一部に知覺を失[illegible]此の部分に物が觸れ[illegible]を感ず。

家庭

小學校兒童の營養問題　理想は學校給食

大連春日小學校長　越川直作氏談

……兒童の營養問題が近來……

識者の間にやかましく論ぜられてゐますが一般家庭ではまだ／＼自覺が足りないやうです、子供が學校に持つて來る辨當について見ても副食物は概して營養價値の乏しいものが多い、活動盛りの子供がアルミの辨當の片隅に入れられた僅かばかりの副食物で營養の足りる筈がありません、甚だしいのになると副食物がウメボシだけだつたり、タクアンばかりだつたりしますが、こんな食物では

……全く榮養不良に陷つて……

しまひます、それから量に對しても案外無關心で、一年生に入つた時に買つた小さな辨當箱を三年になつても四年もなつて其のまゝ使つてゐたりするのがありますが、やはり辨當箱は年齡相當の量の入る大さのものを選びたいものです、辨當の代りに學校の賣店で買つてゐるパンを食べるものも多いがこれなどは營養價値から見て實に不滿足なものです、理想としては學校給食が最もよいのですが

……これには食堂や炊事の……

設備がないと出來ないことでもあり、經費の關係もありますから今直ちに實施することは困難です、そこで私は牛乳一合と食パン半斤とを十錢で供給することが出來れば實行して見たいと思つてパン屋に交渉して見ましたがパン半斤を五錢で供給する店がないので其のまゝになつてゐる次第です、副食物としてせめて味噌汁でも學校で供給することが出來れば滿足な榮養を與へることが出來ますがこれも設備の關係で困難です、それで私の學校では差あたり

……營養の補給として本年……

の五月から虛弱兒童及希望の健康兒約百名に對して毎日三グラム宛の肝油を與へてゐます、まだ始めてから僅二ケ月ばかりにしかなりませんから確實な結果は分りませんが虛弱兒童に肝油を用ひることの有效であることは廣く認められてゐることでもありますから此のまゝ一年も續けたならば、肝油をのんだ兒童と、飲まない兒童との間に

……はつきりした差異を見……

出すことが出來ると思ひます、これについて今肝油を用ひてゐる虛弱兒童と健康兒童、及全然用ひない兒童とを三樣に分け調査表を作つて研究してゐますから、その中に數字的の結果を知ることが出來ると思ひます、其の中虛弱兒の健康增進のため人工太陽燈の設備をしやうと計畫をして見ましたが之も經費の關係で保留の形です

ナンセンス風景 (3)　パンに着いた蠅の脚

▼…お晝に××食堂へトーストパンと紅茶を注文すると二十分ばかりして、いつもの支那人のボーイが岡持に入れて運んで來た

▼…正午前後から三時頃にかけて目の廻るやうに忙しい私は不衞生とは思ひながら仕事をしながら食事をすることが多い

▼…今日もいつものやうに原稿を書きながらパンを嚙つたり紅茶を啜つたりしてゐると、パンに塗つてあるバタの表面に何か黑いものがくつついてゐるのに氣がついた、人一倍潔癖の私はギヨツとして、それを凝視した、蠅の足？……くの字なりに曲つた黑いものは私の頭に暗い豫感を投げた

▼…つまみ出して原稿紙の端の方に置いて見ると間違ひもなく千切れた蠅の足だ、今まで食つたパンがゲーツとこみ上げて來さうになる、私は其の蠅の脚を眺めながら其の脚がパンの表面に附着するまでの經路を想像して見た

▼…私の頭にはオーバーラップで××食堂の光景がまざ／＼と映出されて來る……息づまるやうな熱氣と甘酸つぱい香の飽和した薄暗いクック部屋……食器類が雜然とならべられてゐるゴミ／＼した棚……ゴミ溜のやうな料理臺の下……垢じみた手の甲で流れ落ちる汗を振ひ落しながらパンを燒いてゐる支那人……そして、そこには一群の蠅がワン／＼飛んでゐる……蠅叩きを振り廻してゐる小孩……蠅の死體がそこらあたりに飛び散り蠅や脚が散亂する

▼…そこまで想像を進めた私はそのパンをそれ以上食ふ氣持ちになれなかつた、隣を見るとY君は同じところへ注文した辨當をおいしさうに食べてゐた

コドモの理科　驚くべき水壓の話　千尋毎に一噸を增す

▼▼…海水浴の時期になりましたから海にちなんで水壓のお話をいたしませう

▼▼…水壓といふのは文字の示す通り水の壓す力です、皆さんは海の中にもぐつた時耳の鼓膜がぐつと壓されるやうな氣持ちになることを經驗してゐるでせう、これが即ち水壓です、この水壓は深くなれば深くなるほど强くなり一時平方に受ける水壓一千尋毎に一噸の割合で增して行く。であるから若し二千五百尋の海底であると一時平方に二噸半の水壓を受ける譯である

▼▼…これだけ話したので水壓がどれ位の强さのものであるかはつきり分らないかも知れないから面白い例をお話ししやう、米國の探檢船でアルバトロス號といふのがあつたが、この船がある時驗の厚さが四、五分ばかりある直徑四、五寸のガラスの玉に綱をつけて四、五千尋の海底に沈めてから引上げて見た、すると驚いたことには水がガラスを透して玉の中に滲み込み其の水は永久に蒸發をしなかつた、私どもはガラスは水を透したりするものではないと思つてゐるが、壓力が强くなるとガラスも透すものであるといふことによつて水壓がどんなに强いものであるかを知ることができる

これから必要な　汗のシミぬき

これから暑さに向つて衣服や肌着などが汗でよごれますが肌着や浴衣などは容易に洗濯が出來るとしても上等の衣服は其の度に水を通すことも出來ません、そこで汗のシミ拔きも必要になつて來るわけです汗は脂肪と鹽分の少量を含んで居りますから、汗がまだ乾かないうちでしたらぬれ手拭でふいても取れますが、乾いた後とか或は澤山の汗でしたら洗濯をするか、若くは布の色によつてしみの拔き方もそれ／＼違ひます

白いものとか又は變色の憂ひのないものはアンモニアを十倍の水に薄めて、それを霧吹の中に入れ吹かけます、そして濡れた所と乾いた所との境目を清水で霧を吹いてぼかしてしまひます、すべて汗をとりますにはアモニアが最もよいのですが、變色の憂ひのあるものもありますから、絹類や交り物の夏着はアルコールを用ひ

絹物や毛織物などの酸性を用ひた色物は醋酸を用ひますアルコールでも醋酸でもアンモニアと同じ分量で同じ方法でとります又乾かす場合はすべて汗は蔭干より日光に當てた方がよくとれます

カナモジ會例會

カナモジ會大連支部では十五日午後五時半から敷島町基督教青年會館に於て七月例會を開催假名文の分け書きについて意見の交換を行ふ由、會費三十錢(食費)同志の來會を歡迎すると

男女の行衛　……五……　次郎

「どこの家へ這入るだらう？」

トン吉はすぐ露路の入口で洋車から降り、見つからないやうに煉瓦壁に身を寄せてそつと窺つてゐた。その附近は同じ家主が建てた同じ形の住宅がずらりと列んでゐた。間もなく男女の車はある家の前で停つた、それはトン吉に取つては大きな驚異であつたと云ふのは、その家はトン吉の家であつたからである。

男女は車夫に金を拂つてサツサとトン吉の家の中へ入つて行つた。

ラヂオ英語講座

(大連放送局七月九日午後七時放送)

講師　大連高等商業學校　上村又一

(第八回)

Want to get Ahead?

(3)

Have you ever experienced the peace of mind and satisfaction that result from an intelligent budgeting of your income?

With necessities provided for and a little money left over you have a far better chance to get ahead.

Send for booklet entitled, "Let Budget Help", which was written with a full understanding of the problem of those with limited incomes. Use coupon below.

Metropolitan Life Insurance Co.,
New York.

Metropolitan Life Insurance Co., Dept. 3SO,
One Maidson Ave., New York.

Please mail without charge, booklet "Let Budget Help" which shows how to make incomes cover necessary expenditures—with something left over—and gives full details relating to budgeting incomes ranging from $100 to $800 a month.

Name ______
Street ______
City ______ State ______

(END)

趣味の令孃を訪ねて …二…　お父さんの理解が育てた ピアノの異才　◇…小數賀淑子孃

乃木町六番地、小數賀淑子さんの宅へ訪れた。ピクターの快い洋樂の音が窓を通して聞える。

……◆……

「私が淑子でございます」と出て來たお孃さんは丸顔の明るい氣分の溢れた氣持の良い方だ。「只今お母さんが居りませんがお暑いところを度々來ていただきまして相濟みません」と自ら立つて應接間に招じ入れられた

……◆……

▽▽一昨年△△神明高女を卒業して本年二十歳のお孃さんとしては其おちついた舉措、はき／＼した物言ひには記者はすつかり感心させられた。隨分三十以上の奧さん等でも記者が面會に行くと、留守を使つて逃げたり、何でもないことを隱し立てしたり情ない婦人方が多いが、淑子さんの物怖じしない應待振りは少くとも東洋女性の缺點を遺憾なく清算した立派なものである、

……◆……

「ピアノを習つたのでございますがほんの遊び半分にやつてゐるのでございますからお恥かしい次第です、

▽▽小學校△△の六年から習ひ始めたのでございますが女學校の四年から暫く止めまして東京に行つてゐます間、ずつと習ひませんでしたから今又やり直してゐます」と話される通り、淑子さんは女學校卒業後、此の春迄東京に遊學して府立第三高女の高等科に學び漸く歸連した許りである、

……◆……

現在一週に一回、園山民平氏にピアノの教授を受けてゐるといふことであるが、在學中學藝會のある毎に姉さんと二人でピアノ連彈をやり聽衆の母姉を魅了したものだ。お父さんの政市氏は大連醫院事務長だが仲々理解ある方で、淑子さんのピアノの

▽▽稽古も△△お父さんが傍から口添へて勵まされる程だから淑子さんも幸福だ四人兄弟の内の末子だが協和會館に於ける演奏會等、お母さんと一緒に大てい缺かされたことはない

……◆……

「私はほんとは長唄が好きなのですけど父が餘り好みませんし、もう今からぢや迚も駄目と思ひますので諦めてゐますが聞きにはよく參ります」と可愛い眼をパチ／＼させて話す淑子さんは矢張りあどけないお孃さんだ【寫眞は小數賀淑子さん】

探偵小説 女妖 (136)

江戸川亂歩 作
横溝正史
伊藤幾久造 畫

黒い棘(一)

春日花子と成瀬子爵の新らしい共同生活は、パリーでも最も静かな聖街で始まつた。

彼女はこの戀人と唯二人だけで棲めるといふだけの事で、種んな悲しみや憐みも暫く忘れてゐる體だつた。父の死——それは彼女にとつては何といつても大きな悲しみに違ひなかつた。千家篤麿の恐ろしい幽靈から逃れて、漸く氣も落着いた頃を見計らつて改めて、成瀬子爵からその事を告げられたのであるが、その時はさすがに彼女も氣を失ひさうであつた。

成瀬子爵はそれ以上の事は、彼女の氣持を押し計つて何も言はなかつたけれど、彼女には凡そその見當も附いてゐた。あの綾小路浪子邸で聞いた父の秘密——、それは永劫に消える由なしに彼女の心に殘つてゐるだらう。忌まはしい私生兒——、情ない野合の子——それが自分の上に負はされた運命なのだ。幸か不幸か、父の前の妻は、最近になつて何者にとも知れず殺害された。然しそれかと言つて自分の出生にやきつけられた、忌まはしい運命は拭はるべくもないのだ。

自分の父とが母とが、神の御前で契を誓ひ、永劫のちぎりを結んだ時、父の本當の妻は別の所で生存してゐたのだ。從つて彼等の誓ひは神を欺いた事になり、改めて本當の妻の死後、結婚をしない限り未來永劫本當の夫婦ではないのだ。さうした呪はれた夫婦の間に出來た子供——、それが即ち自分なのだ。あゝ何といふ呪はしい出生だらうか。

花子は今日も自分の居間に閉籠つた切り、浮かぬ顔でとや角と思案に耽れてゐた。何時になつたらからりと晴れ渡つたやうな氣持になれるのだらう。

成瀬子爵は朝から出たきりまだ歸つて來ない。今は唯子爵ばかりが彼女にとつては唯一の頼みだつた。それに彼女は心の底から子爵を愛してゐる。しかし、それでゐて、彼女は子爵を白紙を以て迎へる事が出來ないのであつた。あの春巣街の事件——そして自分達一家の秘密——、それを考へ合はせると、子爵の無罪を信じきる事が出來なかつた。

自分達一家のために子爵があんな事をしたのではなからうか。それは充分信じられる事柄である。若も、若も、子爵が何も知らないといふのであつたなら——、あゝその時に殘る唯一人の人！それは自分の父親ではないか。

どちらを見ても彼女の周圍は眞闇だつた。良人を信じやうとすれば父を疑はねばならぬ。父を信じやうとすれば、當然、良人を疑はねばならぬのだ。どちらにしても彼女は、自分を疑ふ方がまだ安心なくらゐだつた。

「お孃樣、お客樣がお見えになりました」

さう言つて入つて來たのは、意外あの牛松の妻お粂ではないか。

いや／＼、別にこれは意外とするに足りぬ事柄であつたかも知れない。千家邸のあの夜以來、彼等は當然行動を共にする事になつたのだ。花子も子爵も牛松もお粂も、みんな世間から隱れてゐなければならぬ身分である事は同じであるが、當然彼等が同盟を結んだのも頷ける話である。今ではお粂の父庄司三平をも加へて、此の隱れ家で五人暮しだつた。

「お客樣？あたしにと言つて？」

花子はどきりとしたやうに聞き返した。この隱れ家は、誰にも絶對に秘密にしてあつたのである。誰だらう。自分を名指して逢ひに來た人は？

「はい、春日花子さまへと申して居りました」

お粂も不安さうに答へる。

「どんな人、男の人、女の人？」

「ハイ、女の方でございます。でも、深いヴエールで顔を包んでゐらつしやいますので、どんなお方かよく分りませんので」

「浪子さんぢやアないか知らん」

花子はさう言つて、首をかしげた。

彼女は浪子があんな奇禍に會つた事をまだよく知らないのだ。

日本橋小學武運拙なく 朝日小學軍優勝す
きのふ實業球場における決勝戰
全滿少年野球大會終る

本社主催の全滿少年野球大會朝日小學校對日本橋小學校の決勝戰は八日午後三時十五分より實業球場にて安藤（兄）（球）安藤（弟）（壘）兩氏審判朝日先攻で開始したが七對零で日本橋大敗す、試合終了後本社佐藤編輯局長より優勝旗、目錄、全國少年野球協會よりの賞狀及びメダルを朝日小學チームに授與し五日間にわたる

滿洲最初 の全滿少年野球大會は盛會裡に終了した、この日朝來梅雨模樣の天氣で氣づかはれて居たが決行、午後二時半までに內野スタンドは滿員の盛況で試合開始の時には兩壘スタンドも觀衆で埋め小學生徒五分大人五分の割合の觀衆で試合は開始された、第二回朝日杉浦の絶好のバントで堀居生還したが日本橋廣崎好投して續く三者を凡退せしめる以後兩投手とも好投を續け投手戰となる日本橋第四五回にチヤンスありしも遂にめぐまれず朝日また五回にチヤンスありしも成らず漸く六回廣崎の球を打つて出で加ふるに內野手の失に遂に五點を得てすでに

大勢決す 第七回日本橋廣崎を退けて山本をプレートに立てたが勝頭內海に打たれスタートをあやぶまれて居たが僅に一點で食ひ止め日本橋最後の攻撃も空しくノー、ヒツト、ノーランで大敗す

	一	二	三	四	五	六	七	計
（朝）得點	0	1	0	0	0	5	1	7
（日）得點	0	0	0	0	0	0	0	0

試合經過

▲第一回 朝日山邊三飛鹿谷投前緩ゴロで出で二三盜木村左飛△日本橋八丁三振牧遊飛高坂に生き二進補逸に三進村田三振牛澤遊飛

▲第二回 朝日堀居遊擊右拔く單打に出で補逸に二三進し杉浦の投前バンドに生還古田三飛に杉浦二進柴草投飛に杉浦三進松井二飛△日本橋廣崎三飛山本三振市川四球後二盜したが安達三振

▲第三回 朝日山邊三飛鹿谷投前內海四球に出で二三盜木村左飛△日本橋三者三振

▲第四回 朝日堀居三飛杉浦投飛古田三飛△日本橋村田遊飛牛澤二飛失に生き廣崎の三邪飛後二盜したが山本投飛

▲第五回 朝日柴草松井投飛後山邊二越安打して二三壘を連盜し鹿谷三振△日本橋市川四球後二盜し安達の投飛に三進したが入江八丁共に三振して好機去る

▲第六回 朝日內海四球木村遊飛トンネルで內海二進內海木村の重盜成る堀居の投直野選となつて滿壘杉浦三壘左をゴロに拔き內海生還古田の投飛木村を本壘に封殺柴草のスクイズバンドを投手ホームに投げたが間に合はず堀居も生還す松井は自分の打つたゴロに觸れてアウトを宣せられ二死となつたが堀居二遊間を直球に拔き中堅逸する間に杉浦古田柴草の三走者生還し山邊三壘に據る鹿谷投飛に終つたが朝日五點を加へて優勢△日本橋牧一邪飛村田四球に出たが牛澤遊飛廣崎三振

▲第七回 朝日（日本橋廣崎遊擊山本投手に交代）內海左翼左單打して二盜木村投飛で死んだが投手二壘に併殺せんと投げた球を遊擊手過し更に中堅手その球を三壘に惡投して內海生還堀居投飛杉浦三邪飛△日本橋最後の攻撃も山本市川共に三振安達投飛に空し

（朝日）

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
6 山邊	4	0	2	0	2	0	0	1
5 鹿谷	4	0	1	0	1	1	0	0
1 內海	2	2	1	0	2	0	2	0
3 木村	4	0	0	0	2	0	0	0
2 堀居	3	2	1	0	0	0	0	1
8 杉浦	3	1	2	0	0	0	1	0
4 古田	4	1	0	0	0	0	0	1
9 柴草	3	1	1	0	0	0	0	0
7 松井	2	0	0	0	0	0	0	0
計	29	7	8	0	9	1	3	3

（日本橋）

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
8 八丁	3	0	0	0	0	3	0	2
4 牧	3	0	0	0	1	1	0	0
2 村田	2	0	0	0	0	1	1	1
5 牛澤	3	0	0	0	1	0	0	0
16 廣崎	3	0	0	0	0	1	0	0
61 山本	3	0	0	0	0	2	0	1
3 市川	1	0	0	0	2	1	2	0
7 安達	3	0	0	0	0	1	0	0
9 入江	2	0	0	0	0	2	0	0
計	23	0	0	0	4	12	3	4

▲殘壘 朝日（六）日本橋（五）▲試合時間 一時間二十分

燈臺や霧笛信號に 頻りに故障が起る
ガス季節に不安な船

奉天丸、ダムプト兩船の衝突事件利生丸の坐礁事件等々濃霧時の危險が傳へられて居る際航海業者にとり最も重要な

役目を果 す燈臺、霧笛信號に缺陷があつたとしたら甚だ危險であるが、果然七日より八日にかけたあのミルクの樣なガス中において西口角の三山島の霧笛信號が鳴らず航海業者に苦痛を與へた即ち奉天丸の海難報告においても西口角の霧笛を聞かなかつたと報ぜられてゐるが、同じく八日午前霧中を辿り辿つて入港した照國丸の報告によると同樣西口角三山島の

霧笛を聞 かずしかも圓島無線局へ打電しても長い間返電なく難澁な航海をしたとある、海務局においては右報告の入ると共に夫々注意を促したが何分西口角三山島燈臺は燈臺局の管理下にある事とて思ふ樣に命令も徹底せず困却してゐる、故に今後益々猛威を揮ふと豫定されるガスシーズンを控へて航行船舶の注意を促したいと

ダ號乘組員 けふ上海へ向ふ

ダンプト號船長ジヨンセン氏外白人五名支那人乘組員三十五名はそのまゝ奉天丸に一泊の上九日定期通り午前十一時青島上海向け出帆する同船で一路上海に向ふ筈

汽船衝突事件調査 海務局長の意見

奉天丸衝突事件についてはその後關東廳海務局囑託木村理事、係りとなつて海難報告を材料に穩積、ジヨンセン兩船長につき種々調査中であるが木村理事よりの委員會への申立によつて海事審判に移る筈右につき岡本海務局長は語る

木村理事が極力調査中で同理事より海事審判を申請したら裁判に附す事になつてゐる外國船との今度の樣な事件は頗るむづかしいものでこれは大正三年春世界十三ヶ國が衝突條約といふのをつくつたが、締盟國間では極くむづかしい規定に則り解決する事になつてゐるものである、一應話を聞いたがそれだけで即斷は出來かねる、それにあそこ等は船の所在を確むるに好都合なので色々な船が集るから非常に危險なところとされてゐる

李王垠同妃殿下 お久振に御歸鮮
大妃殿下の御機嫌奉伺と御展墓のために

【京城電話（八日發）】李王垠同妃殿下にはお久方振りに御展墓と大妃殿下の御機嫌奉伺を兼ねさせられ御歸鮮、長途御恙なく七日午後七時京城驛着御あらせられた、この日驛頭には齋藤總督夫妻、兒玉政務總監夫妻、南朝鮮軍司令官、上原第廿師團長、軍部首腦、本府各局部長、朝鮮貴族その他官民有力者等一千名ホームに奉迎申上げたが、殿下にはホームにて齋藤總督、兒玉總監、南軍司令官等に御挨拶を賜はり廣田驛長の御先導にて驛構內より御自動車に召され、直ちに昌德宮に入らせられた、殿下御通過の沿道には學生生徒その他青年團、在鄉軍人團、民衆等は堵をなして奉迎した

榮冠を獲た朝日小學のナイン（上）と賞品授與（下）

大連飲食店組合 遂に分裂す
新組合派は八九十名

大連飲食店組合役員會は八日午後二時から西廣場組合事務所で開催過般麵類部より提出中の分離問題を議題に種々議論が戰はされたが事重大なる問題で役員會で決すべき性質のものでなく、臨時總會開催のうへ決定するのが順當であるとの意見多數を占めたが、相談役として出席中の分離派の急先鋒中西藪そば、栗間BCの兩氏は麵類部五十餘名は一名殘らず結束の下に分離を要求してゐるもので、臨時總會を開くまでもないと強硬な分離說を固持して讓らず激論の結果役員會では分離としては認めないが脫退としてなら認めやうといふことになり遂に喧嘩別れとなつた、これによつて新舊幹部の軋轢は行くところまで行つた譯で、脫退派は別個に組合を組織することゝなり直ちに準備に着手してゐるが新組合の傘下に馳せ參ずるものは麵類部五十餘名と洋食部より七八名、雜種部から二十餘名は有るものと見られ結局八、九十名の會員糾合の下に近く創立總會を開くことゝなつたがこれで大連市內に同一業者の組合が二つ出來る譯で監督官廳が如何に裁くか注目されてゐる

二組合の對立遺憾 尾崎署長語る

右につき尾崎大連署長は語る

揉ませるだけ揉ませば自然落ち着くところへ落ち着くであらうからこの際警察が手を出すことは控へやう、然し業態の異つたものが分れて別個の組合を作るといふなら合理的だが、同一業態の者が二派に分れて組合を組織し對峙することは面白くない今回分離した一派が組合を創立し、規約の認可を求めて來るであらうがその時本廳でどう取扱ふかは私の知つたことでないから何んとも申上げ兼ねる

本月下旬大連で 廢娼運動を行ふ
矯風會支部主催で

婦人運動界の久布白落實女史は來る廿四日、大連に來連し當地の婦人矯風會支部の主催で廢娼運動その他の婦人運動を行ふと

朝鮮の水害
死者二十一名、行方不明六名 家屋の流失四十二戸に達す
被害頗る甚大

【京城特電八日發】四日來の朝鮮全道にわたる豪雨のため被害狀況につき警務局調査によれば死者二十一名、負傷者二名、行方不明六名、家屋流失四十二戸、救助人員千十名、浸水三千四百五十一戸、田畑流失三百十九町歩、埋沒五十七町歩、浸水一萬四千百二十七町歩、道路流失破損千七百三十間、橋梁流失十四ヶ所、堤防流失決潰千三十間に及び、なほ鐵道線路の損害その他被害相當ある模樣で目下取調中である

機關車に防煙設備

【東京八日發電通】鐵道省は大鐵管內梅小路機關庫岡キ任發明の完全燃燒機を各機關車に取附け煤煙防止をすることゝなつた

發射した魚雷 驅逐艦に衝突

【橫須賀八日發電通】七日午後三時十九分第三十驅逐隊が觀音崎沖にて魚雷演習中、彌生の發せる魚雷は不規則航走を爲し睦月の右舷中部に衝突し同艦は浸水し且つ推進機を曲げられたので片舷航行を爲し、八日午前七時三十分漸く橫須賀に入港工廠ドツクに入渠したが責任者は査問に附せられる筈である

銀安と不漁から 漁船救濟を叫ぶ
代表者が當局に陳情

銀安と不漁のため苦境に日一日と追ひ込められてゐる關東州漁業組合ではこれが對策につき八日午前市社會館に於て協議會を開催したがその結果、漁船制限、州內漁船保護に關し代表者を關東廳に送り種々陳情する事となつたが、代表者三十名は九日午前九時發にて旅順へ向ふと

商賣不振
全滿郵便局の現金受拂ひ

全滿における日本郵便局の六月中の窓口現金受拂高は受入十八萬一千八百九十三口、金額四百九十萬六千九百六圓、拂出五萬四千五百九十二口で金額二百六十六萬四千七百五十七圓であるが、前年同月に比し受入は四千七百三十四口の增加で金額は二十一萬四千八百圓の減少、拂出は一千二百五十六口の增加で金額は同じく九千百二十圓の減少を示してゐる。その主なる原因は受入の方で郵便貯金二十五萬七千九百圓の增加に對し郵便爲替十九萬六千五百圓および振替貯金二十四萬七千八百圓のいづれも減少に因るものである、また拂出の方は郵便貯金十二萬四千三百圓の增加に對し振替貯金八萬一千四百圓の減少に因るものでこの現象は貨幣移動の減少、即ち送金減少の結果であつて商況不振、取引沈滯を示すものと觀測されてゐる

暗殺團に 狙擊さる
我領事館巡捕長

【漢口八日發電通】わが總領事館警察在勤支那人巡捕長金如尉（三七）は昨夜日本租界にて暗殺團の爲めピストルで狙擊され即死した金は多年わが警察に忠勤せる爲め支那側の一部反帝國主義者の怨みを買つたものらしく本事件は在留邦人に一大シヨツクを與へ尚犯人は支那町に逃げ込んだが支那官憲に捕へられた

生埋卅名
マイト爆發 宮崎縣下の椿事

【宮崎八日發電通】東臼杵郡西鄉村にて發電所工事中、七日午後五時半トンネル入口火藥貯藏場にてダイナマイトに引火爆發し、附近の岩石土砂崩潰し附近にて作業中の人夫三十名生埋めとなりたるより消防組、青年團の應援を得て掘出し作業中であるが、今迄に判明せる死者三名、重傷七名で他は全部輕傷なるも重傷者中四名は生命危篤である

東京號
來月下旬立川着

【立川八日發電通】故國訪問飛行の途にある石川縣生れ飛行家東善作（三九）氏の東京號は八月二十五日立川着の旨東京國際飛行場へ通知があつた、同機は既に英國へ向け汽船で輸送中であり近く英國を出發フランス、ベルギー、ドイツ、ポーランド各シベリアを經て立川に飛來の筈

張宗昌氏へ 阿片密送
大連局員が發見

八日午前十一時二十分市內武藏町郵便小包取扱所で別府滯在の印任元宛の茶罐の中味を局員が怪しみ開封すると多量の阿片が詰め込んであるので大連署に訴へ出た、取調の結果、發荷人は張宗昌全盛時代に檢察廳長だつた印任元の部下で沙河口管內黑石礁五三十七番地朱䑓濱（三〇）で雇主印氏から依賴され密輸を企てんとしたこと判明した

航空郵便
七月は雨期で 減少を免れぬ

六月中における大連郵便局差立內地および朝鮮あての航空郵便物は通常郵便物一千六百九十二通、小包郵便物二十六個、計一千七百十八個で、一便平均七十一個に相當し前月に比して九十一個、一便平均四個の增加であつたが、七月は滿洲の雨期で濃霧のため航空不能の場合が往々あるので減少を免れないであらうと

副業獎勵の 養兎組合
滿鐵社員會ての新らしい試み

滿鐵社員會で元の社會課から引ついで社員の副業獎勵のため兎、鷄、蜜蜂の配布を行ふことゝなつたが右の內兎は目下公主嶺農事試驗場で飼育してゐる白色メリケン種大貫系を配る筈で、皮は割合に高價に賣れ趣味としても歡迎されるので希望者は頗る多い模樣である、然しその飼育法の指導や生產品の販賣等に關しては不便が多いので各地の希望社員をもつて養兎組合を作らせることゝなつた、而して

その組合長 には地方事務所の社會主事を當て常に社員會本部や他地組合と連絡をとり飼育法の指導、講習、種類の分配、生產品の販賣等に便宜を圖ることゝなつてゐる、尚鷄は元の社會課に申込んだ分が二千六百五十羽あるが、目下熊岳城農業實習所に飼育中のものを近日配布すると、また蜜蜂は鳳凰城高嶺養蜂園で飼育してゐる埃國種カニオラン及び、スレーデンコールデン種を分配する筈で希望者からは一組二十五圓を徵する

法政チーム けふ來連

今春六大學リーグ戰で慶明早に對し善戰したる法政大學野球チームは實業、滿俱兩俱樂部後援の招聘に應じ外來チームの第二陣を承つて九日入港のうらる丸で着連することになつた

全英庭球戰
男子複試合決勝

【東京特電八日發】七日におけるウインブルドンでの全英庭球選手權大會男子複試合は再び昨年のアリソン、ヴアンリン組はロツト、ドーグ組をストレートで破り選手權を得た

アリソン ヴアンリン（米）六―三 六―三 六―二 ロツト ドーグ（米）

デ盃戰佛國軍 の陣容成る

【パリ七日發電通】デヴイスカツプ庭球戰のチヤレンヂラウンドに於てインターゾーンの勝者と爭ふフランスチームは、先づボロトラとコーシエがシングルスに出場しその成績で第二日ダブルスにはコーシエ・ブルニヨン、又はコーシエ・ボロトラが組んで出場する事となつた

曳牛だけ歸宅
泥醉の主人を 轢殺して

【東京特電八日發】東京府下瑞江村三四八、農業田中東次郎（四〇）は七日朝汚穢車を仕立てゝ東京へ出たまゝ夜になつても歸宅しないので家人が心配してゐるところへ、同夜八時半ごろ東次郎の曳いてゐた牛が主人のない車を曳いてノコノコと歸つて來たので妻トキ（三九）が驚いて見ると車輪が血だらけになつてゐるので大騷ぎとなり搜査の結果、同村六五五崎の川近くに東次郎の首が轢かつてゐるのを發見、派出所に屆出でたが、東次郎は非常な大酒飲みなのでこの日も泥醉して歸宅の途中誤つて轉び自分の車に轢かれたものと判明した

探偵小說の大家 コナンドイル氏

【イギリス、サセツクス州、クローボーロー七日發電通】シヤーロツクホルムスの探偵小說で有名なサー・アーサー・コナンドイル氏は心臟病重り二月前から度々重態を傳へられてゐたが遂に七日午前九時十五分長逝した、枕頭には夫人、令息二人、令孃一人が詰め切つてゐた、享年七十二歲、病氣の原因は約八月前行つた心靈學に關する南米講演旅行に於ける過勞にあるらしく氏は歸國後當地の別莊で靜かに療養中であつた

土曜講座「能率話」

關東廳學務課主催第十二回土曜講座は十九日午後四時半より旅順一中講堂、二十六日午後七時より大連常盤小學校講堂に於て夫々開催の筈であるが、講師は滿鐵囑託金子利八郎氏で「能率の話」と題し能率運動の沿革から科學的管理、更に昨今やかましいラシヨナリゼエシヨン等につき約一時間半講演をなすと

故西久保氏葬儀

【東京八日發電通】故西久保弘道氏の葬儀は十二日午後二時より青山齋場にて佛式に依り擧行の筈

大聖寺上棟式

攝津町大聖寺では客殿新築中の所十日午後二時より上棟式を行ふと

この母を見よ（五六）

■日活現代劇臺本より■

畸面座同人構成

映畫キャスト

原作　エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色　八木保太郎
監督　田坂具隆
撮影　伊佐山三郎
父　桑木元　南部章三
母　倭子　瀧花久子
子　中子　松平千鶴子
街の女　静子　入江たか子
おみつ　英百合子
乾氏夫人　佐久間妙子
臼田夫人　津島ルイ子
娘瑠璃子　小西節子
婦人用品店主　常盤操子
よね　島村静子
滿村　等　大原仁美
大村時計店主　村田廣壽

師走の風に白けきつた街頭に、有閑階級の夫人や令孃の一團が、花籠を手にして、消行く人々に造花の白バラを賣つてゐる。それは貰ふ事に放浪した貴夫人や、令孃が、あり餘る金と閑とで作りあげた社交的な媚と、態度とを街頭に誇る「白ばら會」の同情週間である。

白ばらデーのお花召しませ

會社員、勞働者、商人、男女學生等々が、夫々に運ぶ十二月の足どりへ、貴婦人や令孃達の聲はきざ…くまつわつては流れた。

瑠璃子——臼田造花工場主の娘は、深々と毛皮の襟卷に顔をうづめて、白ばら會の一員として、お花召しませ。を呼びかけてゐる。

すべてを凍りとざすこの十二月の空の下に
寒氣と饑餓のために
死にうめく
多くの失業者のため
あなたの
あたゝかきみ心に
白バラ　召しませ
價はわづか　拾錢

美しく着飾つた和服、洋裝の群

が、次から次と聲を絞つて囀りまわる混雜の街角に、夢遊病者のやうに只あてもなく、足を運んでは吐息を洩らしてゐる倭子——の耳にも「花召しませ」の聲はするどく響いた。

うなだれきつた首筋に、汚れた毛糸のショールを卷いてゐる倭子は急に立ち止まると、襟をかき合せながら、花を賣る人達へ、錐のやうな視線を投げた。

馬鹿な美しい僞善者の群だ

倭子のかたく引き締つた唇の間から、憤怒の熱い息が續いた。と同時に、倭子の頭には、神の名をかさにきて、弱い者をいじめぬく臼田造花工場主と、そこに働らく多くの氣の毒な人々——わけても倭子の如き者の不正に對する反抗に、暴逆を共にした光子の顔——などが次から次とかけめぐるのだつた。

花を賣る瑠璃子——は、倭子の姿を目さとく見付けて、嘲笑を美しく化粧した顔に浮せながら、倭子へ寄つて行つた。

倭子さん
お花を一つ買つて頂戴
たつた拾錢なの……

倭子——は、瑠璃子の皮肉と光る眼を見据ゑた。こうした二人の暫くの沈默の間に、等の顔が二人の頭にかぶさつた。

この女の爲めに、自分のものとなりきらない等樣——等——。等——あんな男の爲めに侮辱を受けつゞける自分。瑠璃子と倭子の頭に寫り出る等の顔はこうした二つに動くのだつた。

倭子は、瑠璃子の態度に、むらむらと起る興奮が、蒼白となつた顔に決めの色を表して云つた。

瑠璃子樣
あなたのお母樣は

この花を造る女工達にいくらお拂ひになります？
この花を造る女工は一日働いたつて此の花五ッは買へませんのましてあなたにクビになつた私がどうしてこの花を買へませう！

瑠璃子は——自分の工場のからくりの全てを知つてゐる倭子の、この思ひ切つた言葉にどぎまぎした。他人に、まして花を賣る人々の誰にも聞かしてならない事實の暴露だつた。倭子にもう一時も相對してはいられない瑠璃子であるじつと瑠璃子の顔に視線をあつめて立つてゐる倭子から、瑠璃子はにげるやうにのがれて行くのだつた（宣傳水西節子瀧花久子）

滿日俳壇　募集規定

次回課題「日盛り」「夏帽子」「夏草」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各用紙に住所姓雅號を記入の事▲締切七月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

川柳募集課題

▽題「弱」「雨」「ハンモック」
▽句　各題五句限必ず別記の事
▽締　七月十日（住所記入の事）
▽宛　大連霧生町一六高橋月南

滿日文藝係

新刊紹介

▲**新銀行法理由**（小川郷太郎著）新銀行法理由とは本法立法機關に於ける審議の間に現はれた意思を發表したものである。新銀行法は約四十年の間普通銀行を支配して來た銀行條令を根本的に改め昭和三年三月公布されたものであるが、本著に於て同法令解釋の要素である同法立法者の意見を充分に究知することが出來る、即ち議會の速記錄及び新聞記事を主素として組織的にその要點を纏めたものが本著であるが、先づ上下二篇に分つてゐるが、上篇にて金融制度調査委員會の準備委員會「普通銀行の改善に關する具體的方策」が考え出され、それが再討究され、やがて兩院通過、裁可公布されるやうになつたまでの經過を新聞記事を資料として敍し、下篇にては銀行法の内容に立ち入り、兩院の本會議並びに委員會議の論議を總說、各說の二部に分つて組織的に集錄してゐる、そのうち各說は本書の生命とも言ひ得るものであるが、第一條から第四十七條までを「條文」「理由」「質疑應答並に論議」の順序に配列して極めて要領よく解り易く說明してゐる五百六十六頁の大册、流石に立法當事者の編纂したものであり經濟また曾て京都帝大の教授の職に在つた人だけに學究的、實際的の兩方面が良く調和された近來の好著、けだし斯界に關係する人々に必讀を奬めたい一書である（定價五圓東京丸の内昭和ビル内日本評論社發行）

大連汽船出帆

●青島上海行　奉天丸　七月九日正午
　龍口十二時　大連丸　七月十三日正午
●天津行　濟通丸　七月九日正午
　天津迄溯航　天潮丸　七月十二日正午
　濟通丸　七月十五日正午
●登州府龍口行　龍平丸　七月十日午後六時
●名古屋行　永安丸　七月十四日
●香港廣東行　萬達丸　七月十八日
●阪神行　長順丸　七月十六日

大連汽船株式會社

電話番號代表四一一八五番

專屬荷扱店（大連敷島町）　永和公司　電話七二七五・七八六八番

阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町）　澤山兄弟商會　電話長五二六五・四六八一

乘船切符發賣所（大連伊勢町）　ジャパン・ツーリスト・ビューロー　電五五五四・四七一三番

高橋汽船大連出帆

●芝罘行　命令定期大連芝罘線　福壽丸　七月十日午後六時
●登州府龍口行　命令定期大連龍口安東線　海壽丸　七月十四日午後六時

大連加賀町三〇　代理店　松浦汽船株式會社　電六一一七・三八五一番

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本北海道行　鮮海丸　八月六日
　　大成丸　七月十三日
寄港地　鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館小樽、各等客室設備あり
●朝鮮裏日本北海道樺太行　長成丸　七月廿四日
寄港地　鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、舟川、函館、小樽、大泊、
各等船客設備あり

島谷汽船株式會社大連出張所　大連市山縣通一五三

代理店　大三商會　電話四七一一・三四八二

日本郵船出帆

●歐洲行（でらごあ丸　七月廿三日漢堡行　松本丸　七月廿四日季浦行）

近海郵船大連出帆

●横濱行　相模丸　七月廿一日
　　勝浦丸　七月廿六日
●長崎神戸大阪横濱行　玄武丸　七月十三日
●天津行　汨羅丸　七月十六日
●牛莊行　淡路丸　七月十九日
●基隆高雄行　養老丸　七月十八日

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行　會寧丸　七月十四日
●仁川、長崎、鹿兒島行　錦江丸　七月十一日

朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することも有之候
水路圖誌「海圖」販賣所　キューナード汽船會社　船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所
大連市山縣通電話（三七三九番　七八四六番　六七一二番）

政記輪船出帆

順利號　七月九日營、安、汕
永利號　七月九日芝罘
廻安號　七月十日營、芝、泉、興

政記輪船股份有限公司　電話代表四一四一番

專屬客荷取扱店　大連市監部通吾妻橋　丸二商會　電話四二六四・五八八八

阿波共同汽船

●威海衞青島行（第十六共同丸　七月十四日　前十時）
●芝罘、威海衞、仁川行（第廿六共同丸　七月十三日　後七時）
●芝罘、威海衞、青島行（第廿一共同丸　七月十二日　後七時）
●芝罘青島行（第卅六共同丸　七月十日　前十時）
●天津行　長山丸　七月十二日
滿鐵とは貨物連絡取扱致候

大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社大連支店　電六八九一・五〇〇一

大阪商船出帆

●門司、神戸、大阪行（前十時出帆）うらる丸　七月十一日
　香港丸　七月十四日
　亞米利加丸　七月十七日
　はるびん丸　七月二十日
　ばいかる丸　入渠中
●上海福州基隆高雄行　盛京丸　七月十九日
●臺灣三時出帆　福建丸　八月七日
●長崎鹿兒島行　長沙丸　入渠中
●朝鮮經由　關東丸　七月廿二日
●北米シャトル、タコマ行（上海、神戸、四日市、横濱經由）　ろんどん丸　八月廿三日
●紐育行（神戸、四日市、横濱經由）船客御斷り　はばな丸　七月廿八日
●歐洲行（上海、香港、新嘉坡經由）船客御斷り　あとらす丸　八月一日
●天津行（塘沽、佛租界埠頭繫留）　武昌丸　七月二十日
　河南丸　七月廿七日
●横濱直行（午後二時出帆）　貴州丸　七月十三日
　武昌丸　七月廿五日
　河南丸　七月三十日　宇品寄港
　貴州丸　八月六日

大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番

●乘船切符發賣所　ツーリスト・ビューロー
大連伊勢町案内所（電五五五四）
同大山通出張所（電七〇三四）
同沙河口東萊洋行内（電九五〇六）
營口案内所（電三七六）
奉天案内所（電一九一四）
長春案内所（電一三九三）
哈爾賓案内所（電四七八八）
●乘船切符取次所　滿洲旅館協會

專屬荷扱所　大連東京信濃町遼東ホテル内　電七五七四番

國際運輸株式會社大連支店　電話三一五一番

二ホーム荷扱所（電話四八〇二番）
當社左記の店所にて荷物發送引受内地各港行連絡引換證發行致ます
營口、九、奉天、公主嶺、鐵嶺、開原、四平街、長春、吉林、哈爾賓其他

日清汽船出帆

●青島上海行　華山丸　七月十四日
　唐山丸　七月廿一日
午前十時出帆

代理店　大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番

專屬荷取扱店（大連市山縣通）　國際運輸株式會社　電話三一五一番

夕刊 滿洲日報 七月八日

第三種郵便物認可

昭和五年七月九日 THE MANSHU NIPPO (水曜日) 第八千六百八十四號 (一)

教書の朗讀終るや否や劈頭から喧嘩腰の論戰
ロンドン條約批准の爲開會の米上院の特別議會

【ワシントン七日發電通】ロンドン海軍條約批准のため召集されたアメリカ上院特別議會は七日午前九時開會、副大統領カーチス氏議長席に着き定員不足の杞憂も破られて出席率よく議院成立すればフーヴァー大統領は別項のロンドン條約批准速行を促せる教書を送り書記官はこれを朗讀する、攻撃の急先鋒たるべきハイラム・ジョンソン・ジョージ・モーゼス條約支持のリードスワンソン氏等は最も緊張してこれを傾聽してゐる教書の朗讀終るや共和黨議員マッケラー氏は條約に關する總ての書類及び記錄の提示を迫り全權たりしリード氏が「言せざる條件の下に提示すべし」といふや反對の頭目ハイラム・ジョンソン氏は「上院は關係書類の檢査をなす權能あり」と敦圉き劈頭の小競合をなすこの時ボラー氏の動議で條約正文を朗讀し直ちに散會した次回は九日開催の筈

米大統領の教書

【ワシントン七日發電通】別項アメリカ上院特別議會に對しフーヴァー大統領が與へた教書左の如し

無制限な武力を有することをアメリカ國民の目的なりと信じてゐる人々から海軍縮小又は制限に對する反對を受けることは吾人の當然豫期せねばならぬことで吾人は實にこれと同樣な型の人々をイギリスにも日本にも見るのである、しかしアメリカ國民の壓倒的多數はかゝる**頑迷な人士の觀念に反對してゐる**と余は確信してゐる、アメリカは世界で最も富裕な國であるから建艦競爭にて他國を敗退せしめ得ると考ふるは實に愚も甚だしいものである、アメリカがかゝる擧に出でれば他國は如何なる犧牲を拂つてもアメリカに對抗するに必要な武力の維持に努めるであらう斯くてアメリカは全世界の敵意の渦中に飛び込むやうなもので世界各國に無用な負擔の增加を强ふる結果となる、殷鑑遠からず彼の歐洲大戰は武力の競爭が遂に無益であることを證據立てゝゐるではないか今回**締結されたロンドン條約の大綱は昨年夏から窺ひ知られてゐた**而して條約に對する判斷に關係ある總ての個々の事實も亦既に前から知られてゐたもので、條約文その物はアメリカの義務を規定したものである、若しアメリカにして條約の批准をせざらんか世界は再びその進步から後退するやうになるであらう、ロンドン條約はアメリカ國民の理想を保證するものであり且つ**日、英、米三國の海軍を合計三十萬噸縮小した**しかし要するに問題は巡洋艦の僅少なる差といふが如きことでなく吾人がこの軍縮條約を調印するや否や又將來海軍の制限或は縮小に向つて邁進するや或は武力競爭の不幸なる時代に入るや否やの問題である

首相・實業家の財界對策意見聽取

政府は官民協力による產業合理化の目的達成の爲め濱口首相が主となり各方面の實業家の意見を聽取する目的から三日正午首相官邸に東京・大阪・横濱・名古屋の實業家約六十名を招待し意見の交換を行ひ午餐を共にした(寫眞は前列右より大橋新太郎・松田拓相・濱口首相・俵商相・鄉男・背後の方は土方日銀總裁)

地方債許可額
七千四百萬圓

【東京七日發電通】事業界の沈衰失業者の增加對策として内務省では既に二回に亘り失業救濟事業のためにする地方債起債許可緩和の訓令通牒を發し今後更に失業救濟事業を廣義に解し財政計畫の確實な限り地方起債を許可し生產事業の振興を促す方針であるが目下内務省地方局には各地方から起債申請が山積し七日の發表に依れば失業救濟關係地方の申請現在額は總計百一件六千八百三十八萬餘圓に上り當局では審査の結果右申請額の約半分三千五百萬圓を許可する事に決定してゐる尚七月一日以來許可した關係地方債は總額七千三百七十三萬圓に及んでゐる

海軍新國防案と閣内の意見
首相近く樞相と協議

【東京特電八日發】海軍五頭會議の新國防計畫案修正は十四日以後でなければ完了を期し難いため政府はその成行を非常に憂慮してゐるが目下の處

一、計畫案は條約御諮詢奏請の條件でないから海軍省と軍司令部の大綱を以て樞府に說明し、元帥、軍事參議官等への諒解は豫算編成期でよい

二、暑休前に御諮詢を奏請し海軍側の計畫案決定と併行せしむべし

三、併行審議は問題を紛糾せしむるから軍部の諒解決定を待ち御諮詢を奏請すべし

四、英米の態度を考慮するため計畫案決定を待ち暑休後の御諮詢も止むを得ぬ

五、官廳の暑中休暇は七月廿一日から各廳の都合により賜はるのであるから暑休中と雖も御諮詢を奏請し樞府の審議を求めればよい

と政府部内には硬軟兩樣の意見が唱へられてをり、近く濱口首相は倉富樞府議長とこれらの點につき協議するであらう

撫順製油來月から海軍に納入を開始
精蠟も市場に賣出す

【東京特電八日發】撫順のオイルセール事業は昨年十二月より工場一部の運轉を開始し更に本年五月より工場全部の運轉を行つて居るがその成績は頗る良好であり製油は愈々來月より海軍に對し一航海二千噸(即ち約四千噸)宛の納入を實行する運びに至り、一方この事業と關聯する山口縣德山の日本精蠟會社工場の設備も着々進捗し本月中には全部完成するので遲くも來月末から其製品を市場に出すことが出來るであらうと

石炭液化事業も採算の見込立つ
來月試驗作業を開始

【東京特電八日發】滿鐵が海軍と協力し撫順の海軍燃料廠において研究中である石炭液化事業は其後頗る順調で豫定通りに進捗しつゝあり經濟價値についても十分採算の見込みがついたので本年八月頃には愈々本式の試驗作業を開始し得る運びに至る豫定であると

製鋼所問題決定保留
齋藤總督電請

【京城特電七日發】昭和製鋼所設置が鞍山說濃厚たるにより、朝鮮で猛運動を開始することに決定したが一方齋藤總督は七日櫻田拓相宛長文の電報を發し、總督東上迄決定を保留すべく電請した、因に總督

故王士珍氏
北洋派の元老
内爭より超越して
曾て亡命した事が無い

▼…北洋派の四傑(邦人は四天王と稱した)王士珍、段祺瑞、馮國璋、梁華殿は袁世凱が小站に練兵時代の逸材で支那軍閥はこの四天王によりて建設された、日清戰爭に敗れた後、支那の讀書子は悲憤慷慨の餘り、擧つて軍人を志したが幾多の俊才中特に傑出し袁世凱に重任されたのがこの四氏であつた、梁華殿は不幸凋死し民國になつてからは殘る三氏が袁世凱を擁して龍の如き王士珍、虎の如き段祺瑞、豹の如き馮國璋と稱せられ天下を睥睨し共和成立後袁の亡くなるまで約五ケ年間は氣の統一が實現した、袁亡き後三氏中、虎と豹は絶えず啀み合つたが龍は殆ど禍中に入らなかつたから信望は今日までつゞき曾て租界や外國へ亡命しなかつたのでその識見は各方面から畏敬され衣鉢を嗣ぐ者に吳佩孚の如きを出した

▼…段、馮の啀み合には安直の爭覇となつてこれに循環的因果關係が生じ民國の爭亂史を染めた、啀み並び立たずではなく部下に擁せられたのであらう、辛亥革命に際して馮は京漢線へ、段は津浦線へ大兵を率ゐて南進した、袁は王を隨へて北京に指揮したこと世人周知のところ、然るに馮は早くも武漢を攻めその勢當るべからざるものがあつたので黃興の如きは南京へ逃亡し今一息のところで折角の革命はフイになつて了はんとした

▼…清朝の喜びは大したもの、破格の恩典で馮は一等男爵に敍せられた、津浦線の段は一彈をも加へず戰機を待つてゐたが武漢の戰況を見るや勿論袁の密命を奉じてであらうが突如出征將領聯名で清朝に退位を請願する通電を發した共和政體はこれに因つて生れ段は勳功の第一位に坐つたが、馮の一等男爵はスッ飛んで了つた、虎と豹の感情が面白くなくなつたのはこの時からだといはれる、しかし民國九年十二月馮逝くや段は假にも長太息し親友を弔つた

▼…馮亡き後、往年の四天王は僅に王、段兩氏となつたが今月一日北平に王士珍逝き、所謂北洋派の元老は虎の段一人となつた、而も天下は北洋派に育くまれた武將が血みどろの大戰裡に在る、蓋し感慨深いものがあらう

王士珍は、聘卿と號し、正定の人、北洋武備學堂卒業後、袁に賞識され、山東巡撫參謀處總辦兵部侍郎、陸軍部大臣、陸海軍統率辦事處坐辦等に歷任し、民國八年欣内閣參謀總長、六年李經羲内閣陸軍總長、復辟の後、議政大臣、十一月國務總理兼陸軍總長、十年蘇皖贛巡閱使、十三年善後會議會員、軍事整理會委員長其他の要職に歷任した

十七年張作霖北平を退出する時請はれて治安維持會長となり北京の秩序保持に當り世人よりその功を稱へられたが、その一生は近世支那史の大半に交渉を有つてゐる

▼…王氏嘗て云ふ余は小站に練兵以來こゝに數十年、祇だ國と民あるを知りて身と家とを知らず、今年七十、孑然たる一身、自ら心に向ふて愧なし、たゞ國家の前途を念へば土匪地に遍く兵戈寧日なし人心に不安とするところ邦人君子に一致して和平を祈禱し統一局の局を實現せしめられむことを望む、余九泉に在りと雖も亦心安し家事は余の日常の辦理に依るべし人の死や燭の如し厚葬する勿れの遺言を認め溘然長逝したが直隸派の人々は、その人格を稱へて支那のヒンデンブルグ將軍だとし、その死を悼んでゐる

▼…曾て張宗昌が民國十五年得意滿面、兵を率ひて北京に入つた際刺を通じて王氏に面會を求めたところ「張宗昌とは一體何者だ」とて遂に容易に會見を容さなかつた程の氣概を有つてゐた(寫眞は王士珍氏)

玆三週間以内に北方政府を樹立
親日主義が外交の中心
朱鶴翔氏の時局談

【北平七日發電通】閻錫山氏の招電に依り太原に赴いた朱鶴翔氏は今朝歸平して語る

北方政府組織は既に決定的準備期に入り目下組織内容について研究中で今後三週間を出でずして成立する見込みである、政府は勿論正式國民政府であつて臨時的でも軍政府でもない政府の形式は可なり多數の委員より成る最高委員會がその主體となりその責任内閣を置く事になつてゐる、閻錫山氏は黨を基礎とすることを主張し各派が各々その主張を犧牲にせんことを期待してゐる而して政府成立の上は直ちに外國側に對し正式承認の要求をなすことは勿論である、閻錫山氏は國内平和の回復と國交親睦の增進を期し特に日本に對しては一層兩國の良好なる關係を增進する樣希望し居り親日主義が閻氏の外交政策の中心となるものである

の東上は李王殿下御歸鮮その他の爲本月中頃となる由

電話會社計畫多少變更

【東京八日發電通】中野遞信政務次官は八日午前九時二十分濱口首相を官邸に訪ひ電話會社は調査の結果當初の計畫を多少變更するに至つた旨報告し諒解を求めて十時辭去した

吳防備隊に氣球隊

【吳七日發電通】吳防備隊は今回の編成改正に依り防空の任務に就くため氣球隊を置く事となり近く海軍航空隊より輸送されるが同氣球隊は四隊編成で隊長も同時に任命さるゝ筈

支那内地の醫院へ今夏實習生を派遣
將來支那で活躍する爲の準備
滿洲醫大最初の試み

【奉天特電八日發】支那内地における支那人の生活狀態並びに支那人患者の取扱ひを體驗せしめ將來支那内地で活躍する確乎たる人物を養成するため滿洲醫大では本年最初の試みとして今夏休暇を利用し本科四年生から九名選拔し天津は共立醫院、北平は同仁會醫院、上海は福民醫院その他青島、濟南の各醫院に實習生として派遣し研究せしめることゝなりその實習生(上海)池田駿、趙恩琛(青島)伊藤修、龐子牛嵩、福島正利(濟南)齋藤新太郎、小俣良治、井道德一(天津)平井篤太郎の六名は五、六兩日に亘り夫々目的地へ向け出發した

今後卒業資格に華語試驗を加ふ
◇……森醫大幹事語る

これにつき森幹事は語る

醫大の會計獨立後一ケ年經過せる今日醫大としての使命を遺憾なく發揮せしめるため今夏初めての試みとして明年卒業する學生中から特に選んで支那内地の各醫院に派遣し

實地研究 をなさしめることになつた將來發展の道が開かれる學生としても非常な意氣込みであるため好成績を納めることゝ思つてゐるがその成績によつては今後どしどし派遣せしめる考へである、之がため本大學卒業生は當然支那語に熟達することが必要となつて來るので明年から本大學を卒業するものは少くとも支那語の三等通譯試驗にパスする力あるものでそれ丈の支那語を話し得ないものは他の學科はパスしても卒業の資格が與へられないといふ他と變つた方針を採ることゝなつたそして支那語

通譯試驗 の二等にパスする力を有するものは大學としても特別の獎勵金を與へる考へで獎勵金規定まで成り來る十五日頃開かれる評議員會に提出し確定することゝなつてゐる、又今回派遣された學生中特別の要件がある外主として日本人學生を出すことになつてゐる、そして實習期間は三週間で歸率し自分で研究した報告文を書かしめその内容によつては獎勵金を出すことになつてゐるその外

四年生で 派遣されないものは沿線の醫院に出張し實習を行ひ又三年生でも滿鐵衞生課と打合せを了し大學内に殘るかそれも沿線の醫院に出して力めて實習をなさしめてゐる

國際無線電話の施設案骨子
設備は全部民間の會社に
發受信所は東京附近

【東京特電八日發】電話半民營會社の設立、小兒保險の實施などと相並んで所謂小泉遞相の五項目提案中、本邦通信事業に一エポックを劃するものといはれてゐる國際無線電話の施設は先ごろベルリン東京間に通話の成功した例もあり注目をひいてゐるが、遞信省案の骨子は大體左の如くである

一、差しあたりアメリカ、ヨウロツパ、マニラ、香港、上海の五ケ所と無電通話を開かせる

一、發受信所は東京附近における中繼所を經て市内電話に連絡させる

一、設備は全部民間會社にやらせるが管理事務は政府の手で行ふ

一、設備費約五百萬圓

一、總受信電力は對米對歐二十キロ、其他各十キロ

尚詳細な技術的内容は目下歐洲視察中の稻田工務局長が九月に歸朝するを待つて決定される筈で民間からは既に二三の出願もあるが技術上または近き將來の採算上疑問の點もあり、會社を新設させるか既存會社(日本無電)に兼營させるかも尚研究中であると

滿鐵販賣部機構
各課の分掌規定決定

滿鐵販賣部各課の事務分掌規定はやうやく八日決定發表されたがそれに依れば販賣部は庶務、石炭、銑鐵の三課に分かれ石炭課の内には甘井子埠頭完成に伴ひ新たに大連受渡事務所を設置し本部を甘井子に支所を大連埠頭に置くこととなつた、販賣部各課諸係左の通り

△庶務課 庶務係、調査係、計算係、照査係

△石炭課 地質係、輸出係、運輸係、計畫係、大連受渡事務所

△銑鐵課 銑鐵係、雜品係、計畫係

韓氏日本へ亡命說

【青島七日發電通】山西、韓復渠兩軍は一昨日來淄河臨淄の線で主力接觸し激戰中であるが韓軍の形勢漸次不利となり濰縣方面に向つて大部隊を後退せしめつゝあり韓復渠氏の運命もこゝ數日中に追はるゝものゝ如く韓氏は後事を孫傳芳氏に托し日本に亡命せんとの說が傳はつてゐる

細菌檢査所長
村川五郎氏招聘

長春細菌檢查所長□本醫師は今回の稀な大異動で榮轉となり缺員を生じたので本社衞生課では同氏の後任を物色中の處九大醫學部出身村川五郎氏を招聘するに決定し氏は來る十五日來連直ちに赴任する 村川氏は東大藥學部を出で再び九大醫學部に學んだ人で細菌學に造詣深く目下學位論文提出中であると

西山正金支店長けさ赴任

神戶支店長に榮轉を見た大連正金銀行支店長西山勉氏は八日出帆のはるぴん丸で任地へ向け出發、埠頭には在連中交遊多き同氏の事とて見送客頗る多く加へて夫人連の華々しい見送りがあつた船室に同氏を訪へば

永い間お世話になりました、在任中大した失敗もなかつたことをよろこんで居ます、今度私が赴任します神戶と大連とは近い間ですから又度々お目にかゝることもありませう、何卒今後とも宜しく

人事

△西山茂氏(正金神戶支店長) 八日大連出帆はるぴん丸で赴任

△江原爺三氏(海務局港務課長)同上東京へ

△市川數造氏(滿鐵鐵道部經理課長)同上

△關鑑子氏(聲樂家) 同上歸京

△東京帝大農學部學生十六名 滿洲視察中のところ同上

大觀小觀

滿洲輸入組合聯合會の肝煎る第一回滿洲日本市、すこぶる好評。

◇

とにかく進步した日本の生產商品を以てして、世界の消費界に販路を擴張し得ぬ筈はない。

◇

若し、それが出來ぬとあつては販路擴張の努力が足らぬとせねばならぬ。

◇

どんなに廉價で上等のものがあつても、それの紹介、宣傳が足らねば販路の擴張、覺束なしと知るべし。

◇

豐田式織機や丹羽式電機がドイツやイギリスに歡迎される時代である。

◇

國產奬勵なぞとは野暮の骨頂、海外に對しては上品で廉價な商品を供給すべきである。

◇

この意味において第一回滿洲見本市の好評ある、所以なきにあらずである。

天氣豫報

九日(南の風)曇驟雨模樣

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二二、八	二二、七
旅順	二三、二	二四、九
營口	二三、五	三〇、八
奉天	二六、九	三三、五
長春	二七、七	三〇、七

滿潮 午前九時二十五分 午後九時三十五分

干潮 午前二時十五分 午後四時〇分

沈沒船の乘組員を收容 濃霧を突き奉天丸入港
三山島南方にて一夜を明して

濃霧中ノールウエー船ダムプト號（支那名坤和）と衝突、僅廿三分間をもつて沈沒せしめた大汽所有船奉天丸はその後ますゝ深まつたガスのため二進も三進も叶はずそのまゝ三山島南一哩四分三の地點に假泊、大連港を目近に見てむなしく一夜を明し、八日早朝大連入港の豫定のところ、更にガスは散逸せず「霧の晴れ次第入港」の無電を放送するにとゞまり、早曉より詰めかけた檢疫官、水上署員新聞通信社員等を失望せしめ午前中に小蒸汽をして再三ガスを犯して出港せしめたが何れも空しく歸つて來るといふ有樣であつた、しかるに十一時四十分、漸く風向きの變化につれガスが薄れたと見えたが、その時「奉天丸入港」の報あり一同勇躍して折柄ウネリの高まつた沖に同船を迎へ、零時卅分十番バースに繋留された、奉天丸の當地海務局への海難報告によれば同船は七日午前四時五十五分兩島角を廻り定期の航路を執り大連に向ひつゝあつたが、同時刻約八哩半のスピードを持つたノールウエー船タムプト號と瞬間に衝突沈沒せしめたものであると

奉天丸が沈沒してたら 三分一は溺死したらう
不思議な諸威船乘組員の態度 奉天丸船客交々 當時の模樣を語る

奉天丸乘船中の一等船客大同運輸取締役社長福井武次郎氏、上海長發公司社長小田男造氏は交々當時の模樣を語る

青島を 出たのは六日の午後でその當時からひどいキリであつた、奉天丸は間斷なく警笛を鳴らして霧の中を航行してゐたが七日午前四時五十五分、山東角を去る南三十哩の地點で衝突、その時の模樣は船體に異樣なショックを感じたので出て見ると本船の船首が他船の第一船艙に巾二尺位、長さ廿尺位の穴をあけ一時は並行してくつゝいたがそのまゝ破損箇所より浸水石炭が

ドッと 穴からはみ出すのを見たと思ふうちに二隻のボートを下して他船の乘組員が本船に救出された、本船の方は警笛を鳴らしてゐたが他船は衝突の二時間程前に一回信號したに過ぎなかつた、我々の異樣に感じた事はあちらのジョンセン船長が船が並行したと思つたら日本の浴衣がけのまゝいつの間にか奉天丸に乘移り、知らぬ顏をしてゐた事や、高級船員が下級船員に對して

冷淡で あつた事、下級船員（支那人）が我れがちに滿國手持品をもつて避難したことだ、我々の考へから見てジョンセン船長の執つた態度は不思議である、無電技師の如きもSOS打電どころか逸早く避難して來てゐた、只當直だつたらしい一等運轉士のジャーネー氏が航海日誌をもつて悲痛な面持であつたのが氣をひいた位である、もし逆に本船だつたら恐らく三分の一は助からなかつたらう、またあんな

無責任 な船長だつたら救ひもしなかつたらうと思はれるこれは自分等だけでなく奉天丸の外人船客も船長の態度を不審な目で見てゐた、われ〳〵は共に海事審判にはいつでも證人として出るつもりで居る

奉天丸船長の處置には感謝
總ては海事審判で 白髮のダ號船長談

遭難したダムプト號の乘組員白人五名、支那人三十五名は奉天丸に救助せられ入港したが、白髮の老船長ジョンセン氏は借衣の白詰襟服姿にて語る

遭難當時は霧が非常に深かつた何方が惡いなどとは今いふことを避けたいが、當時の模樣は海事審判もあることだしその際詳しく述べたい、ダムプト號には保險は附してある、たゞ奉天丸船長が遭難した私共に對してとつた處置に對しては我々一同心から厚く感謝してゐるところである

警笛も鳴さず 快速で航行
濃霧の中の威諾船 穗積奉天丸船長談

奉天丸船長穗積一桂氏は五日來の不眠不休の執務と事件發生の責任に緊張してゐたが十二時半齋藤と共に「御心配でしたらう」「御苦勞さまでした」と見舞と激勵の言葉をあび乍ら船長室において記者に語る

「上海出帆時よりガスがひどかつたのでかなりの

難航と 思つて充分警戒して來た、自分は五日以來なるべく自分がブリッヂに立つ樣にしてゐたが、七日曉一寸下に下りてゐる間に椿事の出來したもので、當直にチーフメイトの向井政雄君だつたか變だと氣附いて直ちにすぐ危險ベルを押したので直ちにブリッヂに上つたところ、ダムプト號は約八哩半のスピードで突進して來た、本船ではストップエンヂンで當時警笛を鳴らしてゐたが

あはや と云ふので避けんとしたところ一時並行にたり瞬間に本船船首をダムプト號の第一船艙に突ッつけたので、あの咫尺をも辨じ難いガス中あの速力でやつて來られてはたまつたものでない、それにあちらの船は汽笛は一度耳にしたのみで、若しあちらで引續き鳴らしてゐたらあんな事にはならなかつたらう、自分としてこんな事をいふのは變だが自分はベストをつくしたと思つてゐる、若し本船とダムプト號の

位置が 置きかへられてゐたら大した事になつたらうと考へれば慄然たらざるを得ない、何れ海事審判に廻る事だらうがその際詳細報告するつもりでゐる、あちらの乘組員甲板部十三名、司厨部六名、高級船員六名機關部十五名のものは全部救出できた事をよろこんでゐる、何れにしても皆樣に御心配をかけて濟まない、貴紙からよろしくお傳へ願ひたい

入港した奉天丸
（下）救助の諸威船高級船員

大連飲食店組合 役員追出し運動
麵類部を中心に舊幹部派 注目さるけふ開催の役員會

新舊幹部の軋轢から再び内訌を暴露した大連飲食店組合は、いよいよカフェー、麵類業、一般飲食の三派に分離すべき氣運を醸成しつゝあるが、麵類部を中心とす舊幹部派は過般總會に於てカフェーを中心とする幹部派に役員を乘ッ取られたことに反感を抱き、今回再び内訌の表面化を機會に新役員追ひ出しの

陰謀を 策しつゝあり、成行きを注目されてゐる、即ちさきに關東廳より突如組合規約中の六十間問題を削除されたことは新役員の失態であると難詰し、かつ組合内の紛糾絶えざるは新役員に人物なき立證であるとなし、この際臨時總會の招集を要求して現組合長の不信任案を提出、一氣に新役員の追出しを策さんとしてをる模樣であるが、八日午後二時から西廣場組合事務所で開催される桑島組合長以下役員會に於て過般麵類部會で

決議し た分離要求を如何に取扱ふかが問題とされ、この結果によつて舊幹部派から臨時總會開催を要求されるものと見られ、新舊幹部の泥試合はますます深刻化する模樣である

うらる丸 九日午前八時半大連港外着豫定

寄附電話
申込は來る十一日から十六日迄

大連電話局では七月十一日から十六日までの間本年度の寄附電話を募集することになつたが、開通料は前年同樣の三百三十圓（老虎灘、星ケ浦は四百三十圓）で申請の際全額を豫約し八月末ごろには開通せしめる見込みであると、尚聞くところによれば不況の折柄にも拘らず大連市中には實際電話を必要とする向が相當多數ある模樣で、寄附電話募集開始期の問合せをなす者多く、總局受理數超過となつて前回同樣抽籤により採否を決定するに至るであらうと

惡徳記者
滿鮮を股に 強要稼ぎ

最近内地、朝鮮方面から誇大な肩書をもつた新聞、雜誌の惡徳記者が滿洲に多數流れ込み、恐喝、詐欺に等しい手段で良民を泣かせてゐる事實頻々としてあるので大連署高等係で鋭意査察中、京城府初音町八五番地太田茂樹（三）といふ男が千葉毎日新聞外十數の社名を連ね滿鮮支局長の肩書で全滿各地に亘り贊助金及び購賣料を強要して廻り最近大連市内に入り込んだので七日大連署高等係に引致取調べると、右の者は京城越智省三といふ新聞支局ブローカーの手先となり前記の手段で全滿で約二千圓の強要を行つてゐたことを自白、引續き取調べ中

納涼角力で 取込み詐欺
大阪力士が

市内浪速町三丁目の納涼角力を種に各方面を騙り荒した力士が豪遊中大連署に檢擧された、この男は大阪角力男鈴山一行の開心こと黒石福二郎（三）といひ、六月廿六日上旬から來連、市内西公園町七七番地公園館に山本正男と僞名投宿し、目下浪速町三丁目で開催中の納涼角力を種に一儲ぜんと企て、主催者たる元力士蘆田川の弟分といふ觸れ込みで體育會後援地方力士連といふ

奉加帳 を持ち廻つて市内伊勢町久保洋行ほか百五十二軒から百數十圓の取込み詐欺を働き、逢坂町、小樽子の廓で歡々羅遊びを續けてゐたこと發覺、七日旅順へ遠征豪遊中を大連署吉岡、春日兩刑事に逮捕された、彼は取調の係官に對し「どうも濟まんことでごわす」と巨大な圖體で低頭平身してゐるが、警察では力士を看板に惡事を働かぬやう近く丁髷を落す筈

滿電乘務員會に不穩の空氣

過般來滿電乘務員會の牛耳を執つてゐた川村啓吾が會社から突如解雇されたに端を發し内部に不穩の空氣があり所轄大連署で警戒中、七日午後七時監部通「いろは」において乘務員十五名發起の下に川村の送別會を開催したので、滿電側は時節柄、從業員多數の會合をおそれ大連署を通じ監視おこたらなかつたが、當夜は何事もなく無事散會した

滿鮮を荒した 窃盗旅役者捕ふ
逢廓で登樓豪遊中 徴兵忌避の疑ひ

山口縣熊毛郡室隅町戸仲豐田一（二）は本年某歌舞伎劇團員として來連の途次朝鮮、遼陽その他沿線各地において窃盗を働き、來連後は沙河口劇場より現金二百三十圓を窃取して市内逢阪町料理店「戀しき」に登樓し抱へ藝妓豆千代を敵娼として豪遊して居るのを去る五日沙河口署鳥飼刑事に逮捕されたが、同人は本年度徴兵忌避者として本籍地よりの手配により大迫憲兵分隊にて捜査中のものであること判明、同署にて取調べの結果、

豐田は 日本人ではなく朝鮮忠清南道太田郡把城面佳水院里用れ成周伯（二）といふ朝鮮人で幼少のころより前記山口縣に兩親と共に永年居住し親戚のものよりも風貌及び言葉が日本人そつくりであるから日本人としても恥かしくないからといはれ、それ以來日本人となつて豐田姓を名乘つて居ると稱してゐるが、本籍地山口縣よりの徴兵忌避者としての手配もあるので或は同名異人ではないかと同署では寫眞を添へて兩原籍地に對し照會することゝなつた

『國産品愛用は家庭から』
四宮妃殿下の台臨を仰いで 先づ手始に講演會

【東京特電七日發】國産品愛用は先づ家庭からのスローガンの下に全國的實際運動の火蓋を切るべく下田歌子、吉岡彌生、井上秀子、本野久子、諸女史外都下婦人團體各女學校の代表者等百三十餘名は七日午後三時から東京府廳に參集牛塚府知事以下の關係官も出席しその實際運動の第一歩として來る十二日日比谷公園公會堂に講演會を開催するを始め、その他の具體案について協議したが同日の講演會には特に閑院宮妃殿下を始め、三宮妃殿下の台臨を仰ぎ實際的運動に關する決議をなし着々實行する豫定であると

大連在住支那人の 社交、娛樂機關
天盛倶樂部愈よ生る

大連には支那内亂の爲めに失脚した大官や巨萬の實業家等多數の貴顯紳士が在住してゐるに拘らず未だ何等の社交機關や娛樂機關がなかつた爲め何れも無聊を歎じてをり、土地の

發展上 からも甚だ遺憾とされて來たが、今回恭親王や霍實子、臧孟飛、李商彧、孫鶚飛、潘鳳鱗、林鵬飛氏など十三名が發起人となり大連在住の支那人知名士のみを網羅して天盛倶樂部を組織すべく奔走中である、同倶樂部は會員相互の智識を交換し親睦を圖る爲め

一、講演會、談話會、食事會、娛樂的會合を爲し
二、圖書を備へて縱覽に供し
三、各種の娛樂機關を備へて會員の使用に供する事

等を行事となし事務所を大黒町二十六番地に設置した、倶樂部には會長五名以上、十名以下の理事、五名の監事、および三十名以上五十名以下の評議員を置き

經常費 は會員の會費その他の收入を以つて支辨し、會員の資格は支那人に限り相當の地位あり恒産ある者若くは一定の職業を有する者に限られ入會する者は入會金五十圓、會員になれば州内在住者は毎月五圓、その他の地方會員は二圓となつてゐる、會場は午前十時より午後十二時までを使用時間とし政治上、宗教上または營業上の集會に使用する事を禁じ主として社交的娛樂的に使用しやうと云ふのである

意思疏通と 景氣挽回に
霍實子氏の話

右に關し發起人霍實子氏は語る 近來支那政局多事にして南支各地の支那豪商は舊地の不安を感じ當大連に移轉と何等かの創業をなさんとする者尠くない狀態にあるが、遺憾ながら大連の商況および土地の人情に通ぜず官憲の取締や日本法律政令の

如何に 依惧の念を抱き、またその中に立ちて意思の疏通を計る者なく遂には障壁を生ずる事になる、其處でこれ等の人々の爲めに何か社交機關か、娛樂機關を設置し當地在住の紳商等とも常に會合し意思の疏通を圖る時は當地に於ける實業狀況および當局の待遇の宜しきを知り始めて投資開業し、また

事業家 の來連を促す事ともなり大連市中の景氣挽回策にもなるので今回私等同人は一切の犧牲を排し天盛倶樂部組織に至つた次第である、この上は何卒中外の先見の明ある士は日支兩國親善の爲め遠大の計を以つて贊助と後援を得ば大連前途の爲めにも幸甚である

無鑑札女給を働かせて營業停止

市内大正通り六番地飲食店都食堂こと柾木ウメは最近無鑑札女給四名を使用し沙河口署より再三注意を受けたにも拘らずその手續き怠り、遂に八日より向ふ十四日間營業停止を命ぜられた、尚柾木は昨年八月も同樣無鑑札女給を使用して科料十七圓に處せられたことがあると

西久保弘道氏 今曉遂に逝去

【東京八日發電通】今曉來腎臟結石病にて千葉縣下八幡町菅野の自邸に療養中たりし元東京市長貴族院議員西久保弘道氏は、この程病革まり八日午前四時遂にミサ子夫人、嗣子良行氏初め近親者に守られつゝ逝去した、享年七十二、なほ告別式の日取未定氏は佐賀縣出身、地方長官として各地を歷壯し北海道長官警視總監を勤め劍道の達人であつた

訂正 本紙六月十八日朝刊第七面記載の「銀安が祟り二高級船員を馘」の記事中、事の經緯を被馘首者潮田某、森某の二名が水上署に出頭一報告したとあるも右は潮田一人が出頭報告したものにして森某は全然右報告には關係なきこと判明茲に訂正す

虐待で悲觀自殺

沙河口管内西山會香爐礁第三區一三八滿鐵大連工場苦力寶雲川の妻寶朝氏（二）は七日午後十時ごろ石油に支那マッチの燐酸を化粧用白粉に混合して嚥下し苦悶中を夫に發見され直ちに同壽病院に收容し應急手當を施したが生命危篤、原因は最近原籍地直隷省より夫を頼つて來連したが夫より常に虐待されるのを悲觀してであると

艶色生膽秘譚 (166)

伊藤松雄作　河原塚亀太郎畫

哀別（二）

漸つとのことに辿りついた小屋の木戸前。いやにヒッソリとしてゐる。

「ああ、矢張三藏は逃げ遅れたか不愍な奴よ」

唇にこそ出さなかつたが、左近心ひそかにかう思つた。

「やれ〳〵忝じけない、そなたのお蔭でどうやら此處まで身が運べたといふもの、」

「そりやアさうと三藏めは？」

すると重五郎は眉をふかめ乍ら、

「なアにきつと野郎、戻つてゐるに違えござんせん」

木戸口にたらした荒むしろをクルリとまきあげ、まつくらな小屋内へ首をつッこんだが、

「おお、お染！お染！」

「ちやア旦那、お待ちなすつて、申上るまでもねえが、ちいつと此處にかくれてゐなさるが、卒みなことウなさらねえ」

左近は大きく肯いた。

「忝じけない、誠に氣の毒をいたしたな」

「なアに——」

重五郎が再び木戸を出てゆくと、お染は水鉢に焼酎、繃帶、練り薬の類を樂屋から持だして來た。

「お痛みになりますか」

「いや左程のこともない。が、三藏めが身の上案じられてならぬ」

と、お染はけげんな顔をした。

「一體まアどうしたので御座んす」

「それがさ——」

左近の唇から鐵誠庵包圍の最中三藏が身を挺して陷陣布く役にあ

左近は心から詫いつた。と、不意に闇の中の猿が騒ぎ始めた。

「なんだねえ騒々しい、まだ夜も明けやしないよ、靜かにしてゐないか」

たしなめる聲にも情愛がこもつてゐた。

「ほう、こやつだな、過日來の手柄者は？」

「あい？三藏さんは無事かしれませんよ」

「何故？」

「太夫がかうはしやいでるやうちや、何か一座に不吉なことでもあるやうな場合には、ヒッソリ默と太夫さんまでがしづみ反つてゐるのさ」

「ほう！」

とたんに木戸口からよびかけたは、

「左近様、左近様！」

元氣のいゝ三藏の聲だつた。

「おゝ！」

左近はホッとした。

「あいよ！」

ほの白く浮んだ顔。

「おや三藏さんは？」

「あれッ、まだ來てゐねえかい？」

かうは云つたが重五郎、さすがに人情、忽ちサッと憂ひの影がその顔に流れた。

「と、とんでもねえことが起つてよ、それ御挨拶申しあげねえか、旦那が宮川左近様よ。かう云ふ阿魔なんで、えッへへへ」

お染は一寸顔を赭らめ乍ら挨拶をした。

「どうしたことだらう？」

左近も耐りかねたと見える。

「ようがす、あつしがもう一走りひつかへして見やせう、これよお染、旦那のお脚斬傷だ、お手當をしてあげなくちやアいけねえだ、それに夜が明けりやア目黒から……」

「お、ほ、ほ、ほ、ほ、そんなに慌てなくともさ……」

お染は三藏の來てゐない理由を知らねばこそ笑つてすませる氣だつたが、

「笑へる場かい、と、とんでもねえ」

重五郎は緊張しきつた顔つきで

たつた話をきくと、さすがにお染もギョッとしたらしい。

「ああ、無事でゐてくれゝばよいが」

たちまちに曇つたまなざしに、涙がにぢむ。

「すまぬ、誠に申譯もない」

『この母を見よ』讀者優待割引券

七月三日から大日活で　この券持參者に限り　階上七十錢　階下五十錢

主催　滿洲日報社

『この母を見よ』讀者優待割引券

七月三日から大日活で　この券持參者に限り　階上七十錢　階下五十錢

主催　滿洲日報社

大連棋院臨時稽古碁戰

四段　都筑米子女史　五子　鳴尾直入氏

○二一ヲの三　●二二カの三　○二三ヲの五　●二四ヌの五
○二五レの六　●二六レの四　○二七ヨの六　●二八カの五
○二九ワの七　●三〇ヘの十七　○三一トの十七　●三二トの十八
○三三ヘの十八　●三四ホの十八　○三五ヘの十　●三六ホの十七
○三七チの十八　●三八ロの五　○三九ロの六　●四〇ヘの五

▲都筑四段講評　若し(は)なれば黒(に)に打込むべし　黒二十六は廿八に打ち白(い)なれば黒(ろ)に飛び白

——【2】——

キネマと演藝

今明日限の映畫會『この母を見よ』

本社主催の「この母を見よ」映畫會は初日以來連日好評を博し會場の大日活は大入滿員の盛況をつゞけて愈々舞臺は調子づき時代劇解説者として定評のある里見凌洋が「風雲天滿草紙」を擔當し白藤愛光は「この母を見よ」を熱演してその鋭く突きこんだ解説に觀衆の涙を絞つてゐるが、いよ〳〵今期は餘すところ僅か今明日の八、九日の二日間となつたからこの機を逸せず本紙刷込の優待割引券を利用して皆つて參會されたい

都會双曲線

「何が彼女」を發表した新興帝キネが有名な小説の映畫化を圖り從來の方針を捨てゝ原作尊重の現代劇作品の一つであり且つ近來各社が頻りに製作する所謂傾向映畫の一つである。

△原作は林房雄の小説で二十萬圓の遺産を得た水野が友人の黒田にはかられて礦山に出資して失敗するまでをヅルとブルを對立的に描き、また都會の神經を次第に感觸する青年啓太郎と良子の姿を鋭く描寫したものである

△これを前田孤泉が脚色して「三人の母」の高見貞衛が監督したもので顧良章太郎の啓太郎、藤間林太郎の黒田、歌川八重子の良子、牧英勝の水野らのキャストである、キャメラは鍋本榮三

△脚色は原作に忠實で監督手法は構圖による效果を狙ひ野心的であり尖鋭的であり時には可成り大膽な場面轉換を示して全巻に感覺的な味とスピードを相當に盛りあげてゐる。

△これに帝キネ作品としてはセットに力を入れ東京にもロケーションをして内容の向上充實を圖つてゐる。鍋本榮三のキャメラも抑々の努力である。

△藤間林太郎や顧良章太郎は「何が彼女」以來の好演技を示してゐるし歌川八重子も亦、流石にうまいところがある。次第によくなつて來る俳優の指導によつて從來の新派劇から脱出する日が近づいて來た。

△あらゆる映畫の分野から見て次第に躍進して來た新興帝キネ作品に對して今後の期待がされると共に觀客の眼を變へることも必要であらう【演藝館上映中】

荒木又右衛門

寫臺戯曲に連載された大隅俊雄の脚本を「馬の脚」に次いで聖麗之助監督が映畫化し全二篇發端の巻、道中双六の巻、獅子奮迅の巻になる長尺もので月形龍之介以下、高松錦之助、堀正夫、スターに今度昇進した高田浩吉、千早晶子、若水絹子、若月孔雀が助演してゐる【帝國館上映】

演藝館の「都會双曲線」は題名通りに東京と大阪のイルミネーションがスクリーンに仲良く双曲線を描く▲大日活でゆふべ「唐人お吉」の試寫、カンチャン明烏は前彈きを全部やらぬと見切品のやうでをかしいねと首をひねる▲梅村蓉子のアゴがだん〳〵長くなつて來るので不思議がる▲南面座の同人が申し合せたやうに「この母を見よ」のカットを問題にしてゐるので大連署で鋏を入れたやうに見られてゐるらしいが▲これは内務省で全巻三千六米突の内四百六十三米突の近來にない切除をやつたもので▲大連署では内務省の檢閲のまゝノーカットで通してゐる

ラヂオ

大連 JQAK

七月九日午後七時卅分

▲ラヂオ體操
▲英語講座（第十課）大連商業學校　上村又一
▲浪花節（乃木將軍辻占賣）桃中軒雲右衛門
▲マンドリン合奏組曲支那（一）前奏曲（二）宮庭の夜宴（三）追憶（四）再起伊藤十五郎作滿鐵音樂會演奏部員
▲三曲（萩の露）尺八小笠原米山、三味線福永大勾當、箏森川としこ
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK

七月九日午後六時二十五分

▲山と谿の座談會木暮理太郎、冠松次郎、小島烏水、藤原咲平、脇水鐵五郎、槇井春野

買物ニュース

▲田中屋呉服店の英斷　同店では呉服反物類の大暴落を告げて、拾五萬圓大處分の大賣出しを發表した、その斷然壓倒的暴落の値段で時期向の絽裾模樣、絽男物紋付を始め晒木綿、中形浴衣、等に至るまで前例のない英斷振を見せて居る

▲いろはの料理改善　好人氣を呼んで居るいろは本店の會席附き生ビール菊正白菊の飲み放題は時代にふさはしき好評を博してゐるが今回同店にては簡易料理部の目的にて下の關市春帆樓の司厨長を招き從來の獻立を一變し奉仕的廉價にて提供すると

日滿貿易振興策と滿洲見本市批判會を開催

內地滿洲團長其他關係者を招待

十日本社主催にて

我國と滿洲との貿易關係は近時愈々緊密の度を加へ今や我國對外貿易中の重要なる地位を占むるに至つた、然るに最近においては昨年來の銀價暴落による華商の倒產者續出、華人の購買力減退等により俄然日滿貿易の前途樂觀を許さゞる狀態にあり之が對策については各方面において講究されつゝある折柄滿洲輸入組合聯合會主催を以て從來の個別的群小見本市を綜合統制したる大規模の滿洲見本市が大連市に開催されたことは寔に意義あることである、滿洲見本市がその眞價を發揮し得るや否やは將來日滿貿易に對して極めて重大なる影響を與へるであらうことを信ずるが故に我社では之れが發達に寄與し日滿貿易の振興に對する一般の注意を喚起する意味において來る十日午後一時からヤマトホテルにおいて民政署、見本市各地團長、輸入組合聯合會、運輸業者、滿鐵、商議等各關係者の參集を求め「日滿貿易振興策と滿洲見本市の批判會」を開き諸氏の意見を徵すると共に近く之れを發表する豫定である

見本市二日目

前日に增し盛況

取引契約は小額乍ら廣範圍

公開は十日午前中

滿洲見本市第二日は降雨にも拘らず愈々油が乘り、午前中の入場者を示せば第一會場邦商七百九十四名、華商三百八十五名、第二會場邦商五百十二名、華商百五十六名合計千八百餘名に上る盛況振りで官傳方面は百パーセントの成功である、第一日の約定高はまだ判明しないが下見日としては相當あつた模樣である、即ち五萬圓程度にて金額こそ少いが百圓以下の小口約定が大多數を占め五百圓以上のものは數へる程しかなく先づ二百圓平均見當と豫想されてゐるので件數は恐らく二百五十件位に上るであらう、されば時節柄金額の少いのは已むを得ずとして兎もかく件數が多いのは大きな收穫であらう、かくて第二日の約定高は午前中の景況より推せば三十萬圓位に上るのではないかと觀られ、一般に極端な悲觀豫想を立てられてゐたので豫想よりは好成績をおさめるのではないかと謂はれてゐる、尙一般への公開は昨報九日午前中とあるは十日午前中の誤りにつき訂正

場外取引が非常に多い

場內取引の二三倍行はる

滿洲見本市が成立した以上、場外取引を排擊すべきは理論上當然の方針であるが、從來の見本市の情勢上並に過渡的に見て場外取引を僅に止むるのは容易でない、されば今回の見本市に於ても場外取引が少からず行はれてゐる模樣で、目下のところ場內取引高の二、三倍に上るのではないかと噂されてゐる、現に出品者側に於て事情已むを得ずとして場外取引に對し相當力めて居る向が少からず、それ等のうちには閉市後も一兩日注文をとる模樣である

商議勤續役員所員を表彰

大連商工會議所は本年七月四日を以て創立滿十五年となり十五年勤續の常議員及び所員の表彰式を擧行する議もあつたが近く滿洲商工會議所令も發布される模樣であるから勤續常議員の表彰は新令後解散式と同時に行ふこととなり勤續所員のみ今回表彰することになつたが勤續常議員及所員の氏名左の如し

十五年勤續常議員

▲佐藤至誠▲高田友吉▲古澤丈作▲鈴木兼重▲平田包定▲中村敏雄

十五年勤續所員

▲篠崎嘉郎▲加藤鏡次郎▲猪谷英一

見本市の公開に東京府は不參加

意見の相違から

滿洲見本市では十日午前八時より正午まで正札を撤して一般に公開するが、公開に關する意見の根本的相違のため東京府は不參加、愛知縣は條件附の參加になつてゐる買手たる被招待者側に於てもこれは利害關係上一般に反對の模樣であるがその反對說は明白に表明されてゐない、これにつき各府縣の意向を徵聽に示せば左の如し

東京府　東京は數年來より滿洲の關係方面の公開反對の意思を表明してゐる、反對の理由を擧ぐれば公開は見本市の本質的性質に反し取引の眞劍味を缺き專ら生產費節約により社會奉仕に力むべきであるのに冗費がかゝる、元來我國に於ては見本市の觀念が未だ確立せず公開や卽賣を爲してゐるので啓蒙する必要がある若し一般敎育のために優良品を展覽せしむる必要あれば別に方法を講じたがよい

愛知縣　沿革上公開は餘り行れてゐない、次に實質的に見て眞劍なるべき取引をルーズにし在來の取引關係に惡影響あるのみならず四時間位の公開では十分の效果が望まれない然し原案たる「成るべく正札を撤し說明書をつける」といふ不徹底なのを改めて絕對に正札を撤することゝし、且つ今回に限ることを條件として參加を承諾した

大阪府　優良品や新聞發明品等を汎く紹介し一般敎育上意義があるから贊成である

其の他は明白な意思表明をしてゐないが一般に贊成の模樣である

大平副總裁參觀

大平滿鐵副總裁、田村豆信專務等も八日午前中滿洲見本市を參觀し

郵貯利下げ問題

東京にて　山田生

內地では昨今郵貯利下げ問題が各方面の注意を惹いてゐる。郵便貯金の利下げ問題を起したのは銀行業者で、銀行の預金利子が定期四分五厘見當なのに、郵貯の利子は四分八厘であつて、その結果、郵貯の激增といふ趨勢を馴致したのは、郵貯本來の精神に反し、民業を壓迫する事になるから、宜しく之を引下ぐべしと云ふのであるが、政府もその聲に動かされて、郵貯利下げを決行すべく、早く既にその準備をなすに至つた。

◇

郵貯の激增は事實だ。郵貯の激增は最近四年間の出來事で、昭和元年には十一億五千萬圓であつたのが、本年五月には廿二億圓を突破し、その後も增加する一方である。此の如き郵貯の激增は、その利率が銀行の預金利子より高いからであると見るのは、正當な觀察で、プロレタリアの資金を目的とした郵貯でありながら、利率の高いために、ブルジョアまでが種々の手段を講じて剩餘資金を郵貯に振向ける、と云ふ事實もあるらしく、郵貯の激增は一因ことに在ると觀られてゐる。貯蓄銀行の利率は普通貯金が郵貯と同じ、据置貯金四分二厘で、郵貯の据置五分毛に比して四分五厘といふ安さであるから、貯蓄銀行のために押されて居るから、實業家のために利用さるべき郵貯利下げ…と言つてゐる。

併し郵貯の激增はその利率の高いため許りではなく、他にも原因がある。それは銀行に對する一般の疑懼不安で、金融恐慌の昭和二年以來頓に郵貯の激增を見たといふ事實は、これを雄辯に立證するものである。銀行破綻による當時の金融恐慌がいかに銀行預金者を泣かしめ、恐れしめ、遂に銀行に對する一般の不安心を增大せしめたかは、生々しい事實で、大連乃至滿洲においても既にその體驗を經た筈である。郵貯の利率が普通銀行の利率よりも高いといふことは郵貯本來の精神に背いた事柄であり、銀行業者が郵貯の利下げを希望する衷情も、これを諒とせねばならないが、郵貯を激增せしめたのは、その罪寧ろ銀行業者に在りと云はれる氣味である。

◇

政府は本年九月頃に郵貯の利子を四分二厘乃至四分四厘位に引下げるとの事だが、無條件引下げではなく、產業資金（特に中小農商工業者の金融）社會政策的資金、公共資金に對し低利の融通をなすといふ條件附で引下げる、と云ふのが遞信當局の提案だ。斯くすれば、郵貯預金者は利子引下げによつて失ふところを低資融通によつて補はれ、つまり郵貯資金の社會的還元を見るわけで、至極結構な事であるが、大部分郵貯より成る大藏省預金部の資金が對支借款資金や、特權階級の救濟や、資本家の事業資金などに向けられた是れまでの歷史に徵え、預金部資金運用規程の設けられてある今日でも郵貯利下げの條件がその通り間違ひなく實行されるか何うかは、聊か疑ひなきを得ない。若しもその條件が申譯的條件であるならば、郵貯利下げはプロレタリア階級の收得を減殺し、社會政策上極めて面白からぬ結果を招來するであらうと考へられる。

◇

農村方面では郵貯利下げは反對の聲を揚げてゐる。その言ひ分によれば、郵便貯金の利子引下げは金融資本家の立場のみを考慮しての立案で、その結果が農村に不利益となるのは勿論、農村資金の都市集中を促し、さなきだに金融難に苦める地方農村を一層苦ませると云ふのである。彼の金融恐慌と共に、多數の地方銀行は都市の大銀行に合同若しくは買收せられ、而してその銀行の資金は絕對に農村に向つて融通されず、殆どその全部が都市事業家のために利用されて居るから、農村が郵貯利下げに反對するのは故なきにあらずである。農村と都市とは利害の一致せぬものだが、郵貯利下げにおいても、亦斯やうな利害の不一致を見るのである。

◇

內地で郵便貯金の利下げを實行したら、關東廳の遞信局でもこれに順應して、同樣の利子引下げを行ふ事になるだらう。關東州方面には邦人農業者極めて尠く、邦人勞働者も少數であるから、恐らく是等階級間の問題にはなるまいが俸給生活者たるサラリーマン中の薪勞階級に屬する者には郵貯の利下げはその收得を減殺する結果になるので、却つて反對せぬまでもいゝ氣持はしまい。因に關東廳信局の郵貯資金もその地でもつと社會政策的に利用すべしである。（七月二日）

商議定時總會

役員改選を行ふ

大連商工會議所では來る十八九日頃役員會を開き更に二十八九日頃定時總會を開催、當期決算を附議すると共に役員一部の改選を行ふが當期において任期滿了となる常議員は左の如し

安西治三郎、坂架繁雄、千田次郎、富次素平、西山勉、和田敬三、田中喜介、平田驥一郎、橫田多喜助、谷口英次郎、高崎弓彥、安田柾、藤田侶直

無理の引上はなすに忍びない

豆信手數料問題に關して

田村新專務語る

豆信の癥とまでいはれてゐる例の手數料値上げ問題は專務の更迭で其後表面の問題とはなつてゐないが、依然裏面に於ては相當の交涉がなされてゐる模樣である、同問題につき豆信新專務田村羊三氏は左の如く語る

まだ私は何等正式の交涉は受けずたゞ時々小耳に入るだけであるから別に具體案も考へてゐないが、相當研究したる後重役會を開いて意見を定める筈であるしかしこの問題は輕々しく決めるものではない、私は會社と取引人とは兩々相俟つて始めて圓滿に市場が榮えて行くものと思ふ、古證文をたてにして値上げするのはビジネスマンがなすべき行爲でなく高利貸の常套手段である、又銀が安くなり、財界不況の折柄取引人等は相當の苦況に沈んでゐることは周知の事實である、かゝる場合に取引人の頸を締め無理に値上げすることは自分としては忍びないことだ、取引人と株主兩者に滿足を與へることは絕對に不可能なことであるから兩者ともある程度は不滿を忍んで欲しい

篠崎氏起用說に華商側が大反對

田中氏の就任を運動

荻原書記長極力慰撫

大連取引所長後任問題につき太田關東長官は大體篠崎氏說を立てる樣だが廳內にも反對があり又輿論も相當反對の聲が出てゐるから長官も立場に困つてゐる樣である從つて長官は反對の聲が鎭まるまで待ちたる後決定する模樣であるとも觀られてゐる、しかるに華商側では取引所長後任問題につきよりく協議中であつたが最近「篠崎氏には反對の意思表示を明確に表はし出中喜介氏の取引所長還元を運動すること」に意見の一致を見たので成裕昌西記、東永茂、福順厚の三代表者を選び昨七日午後取引人組合事務所に荻原氏を訪問し「組合委員會を開き篠崎氏反對及田中喜介氏推選の決議を出したる上委員をして關東長官を訪問し請願運動をなしてくれ」と申込んで來た、それにつき荻原氏は「まだ決定しない內にとやかくこちらから人事問題につき關東廳に對し意見を述べるのはどうかと思ふから少て時期を待て」と慰撫して一同を引取らしめたが、華商側の態度は相當に强硬であり、又邦商取引人の大部分も篠崎氏說には反對の如くであるからもし篠崎氏が決定すれば一波瀾はまぬかれまいと觀られてゐる、荻原氏はこの問題につき左の如く語る

華商側の意思は相當に强硬の樣だが、當方から人事問題につきとやかく關東長官に申出るのはどうかと思つてゐますが先方から意見を聞かれたら勿論堂々と述べます、篠崎氏に反對なのは華商側ばかりではなく、邦商も反對の色が濃厚の樣です、長官も公平に適任者を選んで欲しいと思ひます

日滿貿易振興策と滿洲見本市批判會

日時　十日午後一時より

場所　ヤマトホテル

出席者　內地及滿洲の各地團長、滿鐵、民政署、輸入組合、運輸業者、商議、本社

主催　滿洲日報社

大豆高粱

六月中の市況

大連取引所信託會社調査六月中に於ける大豆、高粱市況左の如し

大豆　月初に於ける六限七、三三、七限七、四三、八限七、四八を月中の安値とせり而して市況は銀の騰落激甚なる爲相場亂調を來し其間手詰ものに取引活況を見たるも最早夏枯季に入りたるを以て仕手の一服と相俟ち商內閑散に陷りしが東鐵の東行輸送依然優勢なりしと奧地の堆荷に出廻減退し埠頭在荷亦漸減の一途なるに加へて華商は南滿線の諸掛り金圓制なるため銀の暴落は勢ひ運賃割高となり安値見送りなど强材料錯綜せしより先高人氣益々濃厚に推移し奧地筋の見越買あり又邦商の旗埋め等中旬央より騰勢の一路を辿るに至るや歐洲在荷も消化順調の如くやがて商談あるべしとの市場空氣と現物と伸に氣配硬化して各限八圓臺乘せを演じ八、九限八、二八と記錄破りの新高值に驀進せり然れ共急騰には利喰ひもの等に小反落商狀を呈したりしが何分遠期は端境季に直面せるより華商思惑筋の出動に氣配强く取引高多かりしも月末に於ける銀の急騰に一般軟調裡に越月せり而して其出來高八、七一車にして前年に比し三、四二七車增加せり

高粱　月初六限四、七一、七限四、六九、八限四、七一と月中の安値を出したり而して市況は華商の手詰め商內多かりしも現物邦商の買走りと銀の下落に漸騰商狀を呈して初旬末に至るや買方主力の利喰賣に各限一氣十三、四錢方反落せり然るに奧地は打ち續く旱天に發芽後の生育良好なりし一般農作物も早くも旱魃懸念擡頭せるに至りて硬派の見越買ありしも專ら手仕舞ものゝ仕手關係に强調を辿り中旬七限五、三八、八月限五、四二と月中の高値を出したり然れ共旬央に於ける降雨は茲許作物に好響を與へたるもの〻如く聊か人氣不味に傾きしも奧地は山東移民の累增に地方消費增加し其他金融關係等に當時高張りにて地場亦需要不振に拘はらず相場自體が相當高値にあれ共在荷減少の折柄とて新規の出動茲許躊躇せるの氣迷ひ狀態となりしより不味閑散裡に越月せり而して其出來高五、一六八車にして前年に比し三一九車增加したり

吉村組合長送別會

大連海運同業組合長吉村英吉氏は今回國際運輸會社取締役辭任に伴ひ組合長をも辭任することゝなつたので同組合では來る十日午後六時よりヤマトホテルに於て送別會を開催、記念品、感謝狀を贈呈する筈、後任組合長は追つて選任すると

御斷り　記事輻輳につき賓屋は休載します

市況

特產

銀市の小締に各品軟調

今朝の市場は銀價の小締りに概して小甘く殊に高粱は逐次變質季に向ひつゝありて買氣失せに人氣引き立ず平凡なる場面を辿りて大引今日の油坊生產高は二萬三千枚で操業工場は十軒である

◇定期前場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	八二〇	八三〇〇	八二八〇	八三〇〇
八月末	八三六〇	八三六〇	八三四〇	八三五〇
九月末	八四〇〇	八四〇〇	八三六〇	八三九〇
十月末	八二〇〇	八二〇〇	八一八〇	八一九〇
十一月末	七七二〇	七七二〇	七七〇〇	七七二〇

出來高　一百四十七車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	一六〇〇	一六〇〇	一五八〇	一五八〇
八月限	一六二〇	一六二五	一六〇〇	一六一〇
九月限	一六四〇	一六四〇	一六二〇	一六三〇

出來高　五萬四千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	三三九〇	三三九〇	三三八五	三三八五
八月限	—	—	—	—
九月限	三三九〇	三三九〇	三三八五	三三九〇
十月限	三三九〇	三三九〇	三三八五	三三八五
十一月限	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇

出來高　七千箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	—	—	—	—
八月末	五三六〇	五三六〇	五三四〇	五三四〇
九月末	五三八〇	五三八〇	五三六〇	五三六〇
十月末	四九一〇	四九一〇	四九一〇	四九一〇
十一月末	四八〇〇	四八一〇	四八〇〇	四八一〇

出來高　三十四車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）	八二六〇	八二七〇

大豆裸物　出來高　二十五車

普通大豆　出來不申

	出來高	
豆粕	二萬三千枚	一二六〇 一二六四〇
豆油	四千五百箱	二三八〇 二三七五
高粱	（次物）二車	四九二〇 四九二〇
包米	二車	四六二〇 四六二〇

定期喰合高（七日現在）（前日對比較△印減）

大豆	二一四五車	六四車
高粱	七六二車△	九車
豆粕	三八九千枚△	三十枚
豆油	一〇三〇百箱	一〇百箱

錢鈔

標金安銀塊高て鈔票强氣配

株

今朝北濱寄は鐘紡の一圓六十錢安を初め大株大新、鐘新も一圓摑みの低落を示し東京もボンヤリを入れたので地場も不冴えの場面を呈した▲財界安定策も結局卽效を期待し得ずと見極られて了つた形であるが現實に生糸の惡化綿糸の落潮を眺めて再び人氣は腐れかゝたやうだ▲しかし軟派もさきの急反撥にこりて突込賣りを餘程警戒してゐるやうであるから一氣には下げず相場はヂリ貧的商狀を辿つてゐるが上旬貿易でも依然として入超を示したら新東の如きは愈々軟派の理想値まで崩れるのではないかとみられてゐる

豆

大豆は昨後場一氣に急騰を呈せる氣先さ今朝は銀市の强氣配を眺め反動安を呈した▲高粱は漸次變質季に入りたる爲に人氣引き立たず各限共に無味平凡なる場面を辿りと共に七月限は昨後場及び今朝は出來不申の不振狀態であつた▲取引所長後任問題の噂は表面一服狀態であるが裏面には相當の策動をしてゐる人があるらしい▲關東長官は篠崎君に內定しようとしてゐるさうだが反對があり又人氣がないので困つてゐるとか▲華商側は代表者を出して大反對をしてくれ▲又田中喜介君が最も適任だと思ふから是非氏を推選してくれと申し込んで來た▲日本人取引人もそれには同感であるらしいから長官もこの際考慮する必要があると思ふ

銀

海外材料としての銀塊は一齊に反撥し上海標金は低落を呈した▲これは上海標金現物拂底し金輸出解禁說が出たるためと又上海在銀は倫敦、孟買に輸出され又奧地にも移出されてゐるうへ最近輸入が皆無であるから漸減の一途を辿つてゐる等によるものであらう▲從つて地場鈔票は標金安及び銀塊反撥を眺め概して强氣配に推移した▲金輸出解禁說は支那のことであるか眞偽のほどは勿論不明である▲最近金の密輸出多く當局も困つてゐる樣であるから密輸出を嚴重に取締る方針であると▲委託手數料値下が時々話題に上る樣だが取引人間では値下することには反對者が多い樣であるから結局問題にはなるまい

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十五片八分の七と（十六分の五高）先物は十五片四分の三と（四分の一高）紐育は三十四仙丁度と（八分の三高）孟買は休み、滙申は七十一兩二〇、滙四七二五、大洋は九十七圓九十錢、日米は四十九弗八分の三と（同事）米日は四十九弗十六分の七と（同事）米英は八十六仙八分の五と（十六分の三高）米支は三十六弗八分の五と（十六分の一高）上海標金は六百六兩八と寄り六百一兩五と止め當市の銀價は强氣配に推移した

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（期近）二百七十八萬圓（遠期）三百八十[illegible]萬圓

市場電報（八日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	十五片八分七
同　先物	十五片四分三
紐育銀塊	三四仙〇分〇
孟買銀塊	四六留比六分一
英米爲替	四弗八六仙八分五
米日爲替	四九弗十六分七
米支爲替	三六弗八分一

棉花

●米棉（換算五〇錢安）

現物	一三仙五〇
七月	一三仙〇六
十月	一三仙一五
十二月	一三仙三二
一月	一三仙四六
三月	一三仙六三

●印棉

ベンコール	一四四留比
ヴローチ	一〇一留比
オムラ	—

商品

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一二〇四	一二七三〇	一三四〇
十時	一二〇三	一二七二〇	一三四〇五
十一時	一二〇〇	一二七二五	一三三五〇
十二時	一二〇七	一二八〇〇	一三四〇五

出來高（銀對金）二十三萬圓（銀對洋）一萬五千圓

前場

・麻袋（低落）　產地皆二留比十六分の三安と暴落を示したが地場銀票引締りに相殺されて響かず現物氣配は二十七錢八厘先物二十九錢見當であつた

・綿糸（續落）　米棉現當九十錢先六十錢安大阪三品前場寄各限一圓方續落し引際更に一圓安を示したので當市も軟派の賣と小口の利喰物ありて相當手合をみた

株式

內地株軟調　地場も弱含

北濱前場寄は大株九十錢安大新一圓安鐘紡一圓六十錢安鐘新一圓十錢高を入れ當地の現物は大新一圓六十錢安新東四五十錢高鐘新一圓二十錢安と區々を示した五品新豆は變らず出來高定期七十枚現物五百二十枚

銘柄	約定期	値段	株數
福助	十一月限	一一〇〇	一〇〇
同	同	一〇九六	一〇〇
同	同	一〇九七	一〇〇

出來高　百二十株

◇定期前場

銘柄	當限	中限	先限
五品（寄）	—	—	[illegible]
新豆（寄）	—	—	[illegible]
錢鈔（寄）	—	—	[illegible]
新東（寄）	—	—	[illegible]
五品（引）	—	—	[illegible]

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七四	七五	七四	七五
商信	—	—	—	—
新豆	九六	九六	九六	九六
錢鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇現物（乙部）

銘柄		
大新（寄）	四三〇	
大新（引）		
新東（寄）	八五〇	
新東（引）		
鐘新（寄）	四〇七	
滿鐵（寄）		

◇爲替及受渡日歩

	爲替	受渡	代引	日歩
五品	八三	一	四三〇	八
商信	七五	—	—	—
新豆	九六	一二	五九	一四
錢鈔	五五	一	一五	一四
氷新	八五〇	一〇〇	一〇〇	一〇三

滿鐵株（保合）

▲東京前場　二十八圓六十錢

▲大阪現物　同

▲滿鐵舊株　五十九圓十錢

後場（保合）

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品（寄）	—	—	[illegible]
新豆（寄）	—	—	[illegible]
錢鈔（寄）	—	—	[illegible]

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一六〇	一五八三
大新	一〇五	一〇三
紡	一二七〇	一二六
鐘新	五七〇	五八〇
日郵	一〇七	一〇六
東新	三九	三九
	八〇〇	八〇〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	九七〇	九七〇
東新	八一〇	八一〇
五品（當・中・先）	—	—
新豆（當・中・先）	—	五品
同（短期）	東新	
寄値	八〇〇	八〇〇
引値	八四〇	八〇〇
高値	八三〇	八〇〇
安値	八三〇	八〇〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二六〇	二六〇
中限	二六三	二六六
先限	二七二	二七〇

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二八二	二八〇
中限	二八〇	二八〇
先限	二七七	二七七

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
七月	一〇四〇	一〇六〇
八月	一〇九〇	一〇八〇
九月	一一〇五	一一〇〇
十月	一一〇〇	一一〇〇
十一月	一〇九〇	一〇九〇
十二月	一〇八〇	一〇七〇
一月	一〇九〇	一〇八〇

大阪棉花

寄付　大引

神戶豆粕

	前場一節
當限	[illegible]
先限	[illegible]
七月	三〇五〇
八月	三〇七〇
九月	三〇九〇
十月	三〇〇〇
六月	—

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
七月	六六〇	—
八月	六六〇	—
九月	六六〇	—
十月	六六〇	—
十一月	六六〇	—
十二月	六六〇	—

印度麻袋

當筋直積	二留比八分七
鍍筋直積	二留比三分一
爲替相場	一志二留比二分一

上海爲替情報

【上海八日發】銀塊期待外れと福昌、元盛永、信孚外大手賣り支那人投機筋賣りイタリー銀行少し買ひたる外、一般銀行買ひ見送りに標金突込みしも安値恒興大連筋買ひ、支那政府軍需品輸入振當磅三十萬出廻り、マカリ銀行の買に引戻す

	定期	現物	合計
株式出來高（七日）	六〇〇枚	八八〇〇枚	九四〇〇枚

上海標金

寄付	六〇〇兩八
高値	六〇〇四兩
安値	五九四兩五
大引	六〇三兩

爲替相場（八日正午）

正金（銀勘定）

日本向參着買（銀貨）	一四四圓五〇
同　十五日買（同）	一四五圓七〇
上海向參着買（銀貨）	七三兩〇〇

正金（金勘定）

倫敦向電信買（圓）	二志〇片六分五
信用付二月買（同）	二志〇片六分一
米國向電信買（百圓）	四九弗八分五
同　九十日拂買（同）	五〇弗〇分〇

鮮銀（金勘定）

倫敦向電信買（圓）	二志〇片八分三
同　二ケ月買（同）	二志〇片八分三
紐育向電信買（金貨）	四九弗八分三
上海向電信買（金貨）	一三三兩八分七
同　買（銀貨）	七六圓三〇
日本向電信買（銀貨）	一五五圓〇〇
同　十五日拂買（同）	一四五圓三〇

手形交換（八日）

金	一、八〇七枚　一、九八八、〇〇〇圓
銀	二九九枚　一、三〇八、〇〇〇圓

奧地市況（八日前場）

錢鈔

	寄付	大引
奉天（奉票）現物	二、四〇〇	二、一五〇
同　先限	—	—
奉天（奉票）現物	[illegible]	[illegible]
大洋票　定期	[illegible]	[illegible]
開原（奉票）現物	[illegible]	[illegible]
同（鈔票）先限	[illegible]	[illegible]
安東　鎮平銀　近期	[illegible]	[illegible]
同　遠期	[illegible]	[illegible]
哈爾濱（大洋）現物	[illegible]	[illegible]

特產

▲大豆

	寄付	大引
開原　七月限	[illegible]	[illegible]
同　八月限	[illegible]	[illegible]
同　九月限	[illegible]	[illegible]
長春　七月限	[illegible]	[illegible]
同　八月限	[illegible]	[illegible]
同　九月限	[illegible]	[illegible]
公主嶺　七月限	[illegible]	[illegible]
同　八月限	[illegible]	[illegible]
同　九月限	[illegible]	[illegible]
哈爾濱　八月限	[illegible]	[illegible]
同　九月限	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

奉天

庵谷氏、會頭を飽まで辭退
然し結局就任を見ん

奉天商議の正副會頭は既報の如く一日の議員會で會頭に庵谷忱氏、副會頭に石田武亥、藤田九一郎兩氏が推薦され石田氏はその席で庵谷氏が北滿から歸奉して會見をなし意見の交換をなしそれで容れらる處があれば副會頭に就任する旨がそれまでは保留して貰ひたい希望を述べ閉會その成行は非常に注目されてゐたが庵谷氏は五日歸奉したので六日午前九時吉川、藤田、西尾、入江の四氏と會議所に於て會見し議員會における滿場一致の推薦の經過を述べ承諾方を求めた處庵谷氏は以前から辭退の意志を決してゐた事とて同席でも之を辭退したため當日はそのまゝ會見を打切つた之がため副會頭に先立ち會頭問題が持ち出されるやうになり來る十一日頃更に議員會を開き善後策につき協議される筈であるが結局庵谷氏が無理を推してでも承諾せねばならぬやうにならうと云はれてゐるが副會頭が庵谷氏が會頭を承諾しても如何に落ち付くか頗る興味を以て觀られてゐる

醫大の評議員會
中旬滿鐵本社で開く

滿洲醫大の第三回評議員會は滿鐵側評議員の異動で一時見合はせてゐたが今回滿鐵側新評議員も決定したので愈々今月十五、六日頃滿鐵本社で開催することになつた協議事項の主なるものは昭和四年度決算、五年度實行豫算、學年度の事業費、營業收支豫算等卅四件で今回は特に同大學の從事員に重大關係のある共濟規定も提出される筈である尚評議員の氏名は左の通りである

▲滿鐵側　木村總務部次長、向坊計畫部次長、竹中經理部次長、三宅主計課長、鈴木鐵道部次長、山西地方部次長、土肥地方部庶務課長、粟野學務課長、金井衛生課長、小倉奉天地方事務所長
▲大學側　稻葉學長(議長)森幹事林醫院長、久野、久保田、守中三教授

滿洲の雨期

奉天附近の雨期につき奉天觀測所の話を聞けば

日本內地は既に梅雨期を脫してゐるが滿洲では丁度氣壓が雨期の配置となつてゐる六日は北滿方面に小低氣壓が現はれ東進してゐる關係上小康を保つてゐるが之が去れば晴曇不同の天候となる、山東、遼東半島等の沿海地方は非常に濕氣を帶びてゐるが奉天附近はその南方に山を控へてゐるため南方より北方に向ふ濕氣は山に遮られて上空高く飛散して仕舞ふので濕氣がなくなる一方奉天附近は局地的に低氣壓が生ずるので屢々驟雨を齎す滿洲の雨期は七月上旬から約卅四五日間に亘つてゐるが右の關係で雨期と云つても降り續くやうなことは滅多にない今後は氣候も不順となるので一般市民は保健に注意することが肝要である

青年實業團の處女試合

奉天における實業野球團解散後實業系統の野球チーム無きを遺憾とし今回青年有志によつて組織される青年實業團は六日午後二時半から新公園グラウンドに於て奉天憲友軍と初の試合が行はれたが兩軍とも失策多きなかにも十一對五で實業團敗れ四時半頃閉戰した

女給志願の女の搜查願

福岡縣直方町井上作市長女さだ(二〇)は豫て女給を志願してゐたが去る[illegible]した

斷髮酌婦
自殺を圖る

六日午後三時頃市內柳町四番地料理店第一旭樓抱へ酌婦莊枝事日高きみ子(二〇)は同樓階下自室に於て洗濯用藥品カマンガンサンカリウム約十瓦を嚥下し自殺を圖り苦悶中を同日午後四時頃仲居が發見して大騷ぎとなり直に藤卷醫院に擔ぎ込み應急手當の結果生命には別條ないが原因について聞く處によれば數日前から自室に於て通のことまで考へ込み遂に厭世の觀兄弟のことから自分の現在の境遇を續け豫て用意してゐた劇藥を飲み計畫的に自殺を圖つたものである、きみ子は以前撫順、奉天等である女給を勤めてゐた事のある評判の斷髮女で嘗てはその情夫中市が柳町十文字に於て腹部を斬りつけ自殺を企てゝ大騷ぎをした事もある

[illegible]月十六日無斷家出したまゝ行方不明となつたので搜查中奉天江の島町市場食堂にゐるから一日も早く連れに來いといふさだから便りを受取つた作市は早速奉天に向け出發したしかし途中不幸にして發病したゝめ鄕里まで引返し靜養中奉天の知人に對しさだの所在につき電報で聞き合せた處さだはも早市場食堂にはゐないといふ返電に狂氣の如く驚き直に奉天署に對し搜查願を出した、奉天署では各方面に手配し搜查中であるが聞く處によればさだは騎兵曹長で梅森勝と稱する男の甘言に乘せられ鄕里を出奔し各地に流浪の旅を續けてゐたものでさだは賣り飛ばされる模樣があると

支那には珍しい
齊々哈爾の市街
曠原に和む白帆の點景

◆…四日午前七時半馬車で洮南公所出發、昨夜來の降雨で城內外の道路は濁流で埋まり、車上仲々危險を感ず、洮昂鐵路足立顧問公館に立寄り驛に至つたが、附近は洮昂局員の集合社宅で蒙古原頭としては珍しい文化住宅である、八時四十分發車、一路篠つく雨を窓外に眺めながら昂々溪に向つたが同列車には四月齊々哈爾に於て落馬負傷した黑龍江省政府主席萬福麟氏の病氣見舞に赴く同氏長男萬國賓洮昂鐵路局長(二七)一族十數名が特別列車を連結してその豪勢振りを見せる

◆…駱驛にあえいでゐた陸海の綠草は乾天の慈雨に生々と大空へ延び、地平線は雨霧のため距離を縮められ前日の四洮沿線よりは更に一層の壯麗さを見せて旅情を慰めて呉れた、江橋附近を驀進する嫩江の濁流は雨量で增水し鐵路行で通過する、鐵上は毎年雨期に流出されて交通杜絕する關係上、雨の旅行では矢張り旅客に危險感を抱かせずには置かないやうである、十五時二十分昂々溪着、檢閱中支線へ迂回し東支線への旅客を降して後[illegible]支間に問題視されて居た東支線上のクロス線を越えて五時半頃齊々哈爾に到着した

◆…驛頭に中川公所長、山本公所員等の出迎へを受け邦一里餘の泥濘膝を沒する惡路を自動車で龍河城內(齊々哈爾)に入り、そのまゝ雨中の市街視察に一興を添へ同興飯店に公所招待の晚餐會へ出席、駐齊清水領事も陪席して快談したが、九時頃日本人經營龍河旅館に旅裝を解く(最初は朝日旅館の豫定であつたが降雨のため土造屋根が落ち龍河旅館に變更)

◆…市內人口十萬と稱され內日本人は僅百四十名餘といふ、市街の狀況は嫩江々岸の平坦なる大原野に建設せられ南北に長く中央稍北に偏して內城がある、城內は周圍僅かに二十四町で東北邊防副司令官公署省政府等官衙がのみが置かれ支那の市街建設としては珍しいものゝ一つであらう、龍沙公園は市街の西南にあつて園內殆ど楡の大木を以て覆はれ望嘛樓に登れば全市街を一望に入れ、郊外の平坦なる平原に白帆の點在するを見るが、これは嫩江々上を利用した帆走で大陸にこの白帆を見るのは一寸驚かされ、龍江は北滿における政治及び軍事の中心地で從つて農業、工業、商業、畜產等の發達は餘り見るべきものはないが、嫩江流域の漁業は相當有望で黑龍江省主要物產の一に數へられてゐるやうである、五日、八時四十分齊昂線齊々哈爾驛より乘車滿鐵公所を車窓に送つて東支線道齊々哈爾驛に到り十一時三十分同驛發哈爾濱に向ふ(齊々哈爾にて南里生)

人・事

▲宮島鐵道省事務官　六日過奉大連へ
▲平屋鐵道省事務官　同上
▲三谷奉天憲兵分隊長　六日虎石臺往復
▲八ヶ代奉天副領事　六日歸奉
▲高木奉天守備隊長　六日虎石臺往復

宮城山一行の日本大相撲は十八、九の兩日舊グラウンド西隅に於て花々しく開かれることになつた

瀋滴

今始つた事でもないが奉天取引所信託會社の誤算問題が何回となくしかも仰々しく世の中に騷け出される▲誤算の金額は引續き取調中とあつて知るに由もないが奉天取引所として信託と兩手の如き關係にある取引人組合側が信託の取調べに對し一々奇怪らしい事實を摘發し盛に信託に毒づき今では信託の不信任まで關東廳に持ち出されんとしてゐる▲之を煎じ詰めると會社の內部的些細な問題に過ぎないので內部的に解決方法を進めて行かねばならぬ筈のものであるがこれ程までに問題がましく進められてゐる點から見て嘗ては原田專務の排斥に始まつてゐる原田專務と取引人組合との感情の衝突しか考へられぬ▲まして組合側の陳述する處會社側の辯明する處の內容を見てをやで▲さう業々しく出た處で問題が解決するか否か甚だ疑問、しかも心あるものは單なる內輪もめ位にしか考へてゐない、會社のため取引人組合のため今少し穩かなる圓滿解決を望む

金州

優勝旗、燦として
內外綿軍に
炎天下の熱戰凄じく
壯觀を極めた野球リーグ戰

當地青年團主催滿日本社寄贈の優勝旗爭奪野球リーグ戰は六日午前十時より內外綿球場において本丸團長代理の挨拶に次ぎ滿電吉井大藤二氏相互審判の下に開始せられた、先づ城內對新市街の對戰は大接戰となり城內軍四回敵失に乘じ一擧七點を先取したが新市街軍六回を返し形勢逆轉せしかと思はれしが遂に十二A十にて新市街軍敗る、第二回內外綿對城內の對戰は十六對一にて內外綿の大勝、第三回城內に敗れし新市街軍對內外綿は內外綿の攻擊物凄く二十七對七にて內外綿最後の止めをさし閉戰午後四時、本丸岡島兩氏の手に依つて榮ある本社寄贈の優勝旗は遂に內外綿軍の手に歸した

町の便り

七日の七夕祭當夜の奉天では女子供を持つ各家庭に於て短冊に赤飯に瓜に夫々お供物まで飾へられ盛なお祭が行はれた

◇

小谷納涼園は今年は稻葉町三番地に於て八日より開場したが蒸明け興行には支那曲馬團の大演技がかけられ人氣を呼んでゐる入場料大人二十錢小人半額每夜七時から十一時迄

◇

在奉拓大學友會支部では七日午後五時から浪速通ユニオンの階上に於て臨時打合會が開かれ鈴木氏外八名出席、來る十三日夜開かれる拓大敎授學生の辯論大會に關する打合せを了し更に從來規定されてあつた會費徵收が不履行となつてゐたので七月から五十錢宛徵收することも打合せ決定し七時過散會した

撫順

熱球飛び美技續出＝
霸權鞍山組に歸す
壯觀！參加チーム實に四十八
庭球州外選手權大會

各方面から久しく期待されてゐた初めての試みである庭球州外選手權大會は、六日午前九時より永安臺のA、B兩コートにおいて行はれたが當日風なく絕好の庭球日和のこととてファンはコートの周圍を埋め盡し參加四十八チームの曾て見ざる接戰亦接戰は午前九時より開始され、觀衆の熱狂裡に午後四時五十分准決勝戰に入りAコートにおいて撫順の原、赤松組は橋頭の藏野、早田組を四對零で屠り

Bコート　では鞍山の片山大谷組と撫順の田所、鹿野組との對戰を接戰の後四對二で鞍山組勝ち、愈々最後の決勝戰は州外の雄鞍山の片山、大谷組と撫順の原赤松組に依つて演ぜられたが鞍山組の霸權は遠征の鞍山片山、大谷組に歸し六時閉戰した、當日の榮ある霸權は遠征の鞍山片山、大谷組に歸し六時閉戰した、當日の主なる經過次の如し

第一回戰(豫備戰で勝残つた組で行ふ)

(Aコート)

△四平街の藤原、藤井組と長春の安永、百田組は四對二で藤原組勝
△撫順の赤松、原對鞍山の座村、外尾は四對二で赤松組勝
△本溪湖の山下、中野對撫順の百武、野々宮は四對二で山下組勝
△遼陽の池野、村田組と奉天の川口、吉原組は四對二で松尾組勝
△橋頭の藏野、早田組對撫順の瀧澤、成井組は四對一で藏野組勝
△奉天の田中、前澤組と四平街の一松、入川組は四對一で田中組勝
△長春の眞子、徳田組と本溪湖の本村、鶴田組は四對零で本村組勝

(Aコート)

△開原の田中、木津組と本溪湖の小宮、田口組は四對二で田中組勝
△安東の宍戶、長谷川組と長春の手島、岸川組とは四對零で宍戶組勝
△撫順の田所、鹿野組と奉天の吉川、北川組は四對二で田所組勝
△鐵嶺の寺島、佐賀組と遼陽の平山、三宅組は四對一で平山組勝
△撫順の石井、木下組と鐵嶺の篠谷、酒井組は四對一で石井組勝
△鞍山の片山、大谷組と奉天の大田尾、石川組は四對一で片山組勝
△(長)間瀨、落合對(撫)梶、浪田は四對二で梶組勝
△(遼陽)岸、安住對(營口)牧岡、大西は四對三で牧岡組勝

第二回戰

(赤松原)	四—二	(藤井藤原)
(山下沖野)	四—一	(池野村田)
(松尾小澤井)	四—一	(藏野早田)
(田中前澤)	四—一	(本村鶴田)
(田中木津)	一—四	(宍戶長谷川)
(田所鹿野)	(四—〇)	(平山三宅)

第三回戰

(原赤松)	四—三	(山下沖野)
(藏野早田)	四—三	(田中前澤)
(木下石井)	四—一	(片山大谷)
(梶浪田)	四—〇	(牧大西園)

(准決勝以下前記の通り)

撫軍の好打空く
長春軍遂に復讐
＝3—2の大接戰＝

撫順野球部對長春野球部との大接戰は六日午後四時四十分より長春グラウンドにおいて熊本(球)長島(壘)兩氏審判の下にバッテリー撫森內、渡邊、長春高橋、中川、長春先攻で開始されたが觀衆頗る多く、連年の恨みをこの一戰に報ずべく復讐の意氣燃える長春は二四、六回に各一點計三點を得たるに反し撫軍は長春の全回を通じて安打三に對し安打六本を飛ばしながら武運拙く八回まで遂に物にならず、九回裏張打連發二點を得しも遂に及ばず、三對二で長春をして名をなさしむ、閉戰六時五十分

兩軍メムバー

	長春		撫順
9	淺杉	8	高尾
8	中小	7	野岡
2	久高	4	森渡
4	香田川	3	田崎
7	田橋	2	原田
3	保原	1	川邊
5	藤小	9	內原
6	戶嶋	5	森出

因に長春滿俱は來る十三日撫順へ來征する事と決定した

未教育補充兵の訓練

九月末頃竣工の豫定で撫順の軍人千余は他に比ない位惠まれてゐる撫順在鄕軍人會と撫順警察の協力で未教育補充兵に兵營生活の一端を體驗せしめ且つ激訓の一部を實施し一朝有事の際在鄕軍人として[illegible]の實務を遂行せしむるため昭和三四年度の壯丁七十名を十二日午前八時召集守備隊に宿泊せしめ、翌十三日午後一時解散の豫定であるなるべく應召せられたいと

普通校の敷地決定
九月中に竣工

各方面で引張凧であつた新築普通學校敷地が漸く決定した、場所は管理通學至便且つ同校特殊の使命を果し得るゆつたりした實習地のある憲兵隊分遣所南側一萬六千五十五平方米の地點である、同校は

奉天

吾等の町を語る

奧地を目標として
＝附屬地は見本市場＝
奉天地方事務所長　小倉鐸二氏談

明治　四十年滿鐵が露國から奉天附屬地の經營を引繼いで原田鐵造氏が奉天出張地方事務所長となつた、之が地方事務所長の初の就任者である、當時の附屬地は鐵道事務所があつたゞけで所々に支那の民家が散在してゐたに過ぎない、といふのはロシア時代に何等の施設をしてゐなかつたゝめである、ロシアは南方經營に急で遼陽、大石橋、瓦房店などは相當經營し、撫順でも一寸手を着けたが奉天は後廻しといふことになつてゐたものと思ふ、しかし交通の中心であるのと、支那政廳の所在地といふので將來を見越して附屬地だけは現在のやうに廣く取つてゐたのである

◇

處て　此の廣い土地を出張地方事務所は、主任の外僅かに一二人で經營管理したものである、間もなく奉天經理係と改められ主任に大槻平輔光氏、次に原田氏が再任し、松本謙逸氏、田中德三郎氏などが歷任し、是等の人が附屬地創業の基礎を造つたのである、その後地方事務所長と改稱せられてからも入江正太郞、赤坂正助、島崎好直、竹中政一、山西恒郞、井上信翁、平野正朝、太田雅夫氏などと代つてゐる

◇

四十　年頃の市街は南一條通から富士町に掛けての一小區劃だけであつた、しかし全附屬地の都市計畫は當時既に確立してゐた、區劃とか學校、その他の大建築物の位地などには多少の變更はあつても、大體最初のプランに從つて今日の大市街を完成したのである

人口增加の跡を見ると四十年は千七百餘、內日本人八百四十人、支那人八百七十人位だつたのが大正元年には約四千七百人、內日本人三千二百、支那人千四百となり、昨年の調査では三萬九千三百七十六人、內日本人一萬九千四百八十三、朝鮮人五百七、支那人一萬八千百七十一、外國人千二百十五、戶數は總計七千四百三十八戶、內日本人四千三百六十七、朝鮮人百支那人二千六百五十二、外國人三百十九の數字を示して居り、現在でも之と大同小異だらう

◇

以上　の戶口を擁する附屬地を經營するに要する經費は公費が六十萬圓、事業費は年に依つて違ふが大體三、四十萬圓である、公費の費途は三十七％が教育費、二十％が土木費、十五％が衛生、殘りの二十八％が諸支出となつてゐるが、此の內市民が負擔するのは僅に二十三萬圓であつて、不足の三十七萬圓は滿鐵が補助してゐるのである、今日まで滿鐵が奉天附屬地の都市經營に注込んだ金は恐らく二千五百萬圓に上るであらう附屬地の總面積百八十萬坪の內北部の住宅地に一萬坪ばかりが殘つてゐるだけで餘地といふものは殆ど無い、此の上は附屬地外即ち商埠地に進出する一途が殘されてゐるだけである

◇

現在　支那側でも新築の瀋陽驛を中心にして大規模の都市計畫を樹てゝ居り、我々もその推移を見て之と聯繫すべく將來の附屬地の道路その他の施設をする考であるが、邦商も今後日本人が三萬になり四萬に增えても共食ひでは多寡が知れてゐるから、將來は附屬地外に進出して支那人と一緒に生活し商賣するやうにしなければなるまい、殊に奉天は交通の中樞たる地位を惠まれてゐるのであるから、將來の邦商は廣大なる奧地を目標として附屬地は單に見本市場であり、倉庫であるところの對支商賣の根據地とする意氣を以て奮鬪すべきであらうと考へてゐる

間島

千四百年前の銅印を發見
延吉縣車道溝で

數日前間島中央學校全訓導の許へその知友から、大正十四年延吉縣車道溝で荒地を開拓中發見されたといふ古代の銅印一個を送つて來たが同銅印は青銅方一寸九分、厚さ五分五厘のもので印背の中央に高さ一寸一分幅五分長さ一寸五厘の長方形の撮紐があり、印面には篆書で二行に「勾當公事之印」といふ文字と「勾當□□印」(□□の二字不明)といふ文字の彫刻があり、印背の中央撮柄の一面に「上」の一字とその右側に「大同八年六月」といふ六字が彫つけられてある、考查の結果右、大同は支那南北朝梁武帝の年號で大同八年は皇紀一千二百二年第二十九代欽明天皇の第四年に當るから同銅印は西曆五百四十二年即ち今を距る一千三百八十八年前のものであることが判斷されると、なほ同印は入手した全訓導が所持し印面の「勾當公事之印」について研究中である(寫眞は銅印)

頭道溝分館主任更迭

間島總領事館頭道溝分館主任毛利此吉氏は奉天省通化領事分館主任に榮轉することゝなり、後任松原久義氏(元廣東總領事館在勤)の着任を見て、龍井經由二日朝官民の見送りを受けて退間したが、一職圓朝の上赴任した

大和校の兒童大學

大和小學校では毎週一度兒童大學を開き兒童の希望する學課に就き自由教育、指導、研究等をなしてゐたのを七日から毎日一度午後二時から開く事となつた

兒童に阿片

新義州府內初音町六ノ一勞働者金基豪(二三)は五日長男金春守が腸カタルに罹つたので同夜九時頃豫て安東縣から密輸してあつた阿片十錢分を服用せしめた所病兒は益々苦悶を訴へ六日朝遂に絕命した

鐵嶺

滿期兵
けふ離鐵す

鐵嶺衛戍病院に勤務中であつた看護卒、醫工卒二十六名は今回滿期となり九日午前十時二十三分發列車にて離鐵鄕里に向ふにつき市民は成るべく多數見送り共行を旺にされたいと

中川長春機關區長

長春機關區長に榮轉せる中川正氏は單身赴任中であつたが六日歸鐵家族を同伴して十日午前八時二十分發列車にて正式に赴任すると

簗谷特務曹長榮轉

前鐵嶺憲兵分隊班長たりし簗谷曹長は鐵嶺から安東に轉任し今回特務曹長に昇進すると共に海城憲兵分遣所長に榮轉したと

兒童水泳競技

鐵嶺小學校では來る十二日プールに於て全校兒童の水泳競技會を擧行する

四平街

全滿弓道大會
十三日、鐵嶺で擧行

鐵嶺に新築道場開きを擧行した鐵嶺弓道部は近く全滿大會及北部優勝旗爭奪戰を目前に控へ部員一同は弓道狂で知られた荻原三段を初め連日熱心に練習なしつゝあるが、其後市中又は滿鐵社員中よりも部員の新加入者ありて道場は晝夜非常の賑はひを呈してゐる、なほ道場新築記念の全滿大會は豫て委員間で着々準備中のところ愈々來る十三日午前十一時より開會する事となり各地へ案內狀が發せられた當日は石原範士の射初式がある外全滿における斯道達練の士多數來會の事なれば盛會は今より豫想せらる、因に當日のプログラムを示せば次の如し

開會の辭三浦會長▲射初式石原範士▲禮射各員一手▲競射十射▲納射石原範士▲賞品授與▲閉會の辭委員長

遼陽

公園で大園遊會
▽……移駐軍隊の歡迎

遼陽步兵第廿二聯隊所屬大隊が廿二日頃旅順司令部と共に柳樹屯から移駐し來るにつき遼陽官民は誠意を以て歡迎の意を表すべく、五日午後二時から滿鐵社員俱樂部に各方面の主腦者會合協議の結果、移駐々軍隊側に差支なき日時を選び白塔公園において將校以下全員の歡迎大園遊會を開催の事に決定、近日內地方事務所長代理として三澤庶務係長が柳樹屯に赴き旅團司令部と大隊本部に招待挨拶を兼ね打合せをなすことになつた

靈の大小の程度に差異こそあれ在住民の軍隊に對する敬意は終始一貫である▲遼陽在住民は軍隊の駐都を餘り歡迎せぬではなからうかなんて噂する者が軍人間にあるやうに仄聞するが非常な間違ひである▲疲弊しきつた遼陽なれば物質的に鳴物入の大歡迎は出來ぬまでも、精神的歡迎の微意を表はす氣分の持合せは多分にある事だけは間違ひない、▲遼陽は軍隊町と教育地として將來の振興策を樹立せねばならぬとは識者の唱ふる處である

中村中尉寄附

元開原守備隊附中村中尉は奉天第二大隊附に轉任につき當地獎兵義會より記念メダルを贈呈せるに對し金十圓を同會へ寄附した

川崎所長經過良好

大連醫院に入院加療中の川崎所長は經過非常に良好にして近日中に退院し當分(旅大方面か)隙地にて靜養出來るまでに回復したと

瓦房店

林間聚落
準備を急ぐ

瓦房店小學校ではいよ／＼林間聚落を開始して自然の出野に親み身心の教養は勿論其間にありて各種學科を修得せしむるといふので中條校長以下各受持訓導は大車輪で準備に忙殺されて居る、豫定左記の如し

八日第二水源地において全學年▲九日大沙河尋四以上同頭川尋三以下▲十日神社山プール遊び全學年▲十一日第一水源地全學年▲十二日大沙河尋三以上同頭川原尋二以下

衛生映畫會盛況

瓦房店警察署及地方事務所主催の衛生活動寫眞會は六日午後七時より公會堂に於て開催、定刻佐藤署長の挨拶についで映畫を公開したが觀衆六百名の多數に達し盛況を呈した

齋藤氏送別會

好人氣裡に當地機關區長主任より大石橋機關區長に榮轉せる齋藤誠之助氏のため諸山會にては五日午後四時より、また關東北人會にては六日午後二時より何れも社員俱樂部に於て送別會を開催した

開原

小坂次官來公

拓務政務次官小坂順造氏は松島庶務課長、中谷殖務局長、龐田部の諸氏の東道にて八日九時三十四分着の列車にて來公、守備隊司令部を訪問後農事試驗場その他を視察十三時五十五分發の列車にて南下

緊縮映畫公開
十二日公會堂で

滿洲公私經濟緊縮委員會にては來る十二日午後七時半より公會堂に於て活動寫眞會を催し左記映畫上映無料公開すると

▲聖上御巡幸復興の帝都一卷▲聖上御臨幸帝都復興式典一卷▲秩父宮殿下御渡滿記念畫寫(關東廳作)數卷▲日出づる國(文部省作)三卷▲覺めよ國民(文部省作)三卷▲二つの世界(文部省作)一卷

菱刈軍司令官通過

關東軍司令官菱刈大將は新任初巡視の途次八日午後三時十五分當開原驛通過北行するが、同司令官は十二日午前十一時鐵嶺公會堂に官民有志を招待し新任披露宴を催す

小坂拓務次官

小坂拓務次官一行は北方の視察を終へ八日第十六列車にて當驛を通過南行した

安東

遠來の奉天滿俱
3—0で敗る
安東滿俱軍大に振ふ

安東滿俱野球團は六日奉天滿俱を驛前グラウンドに迎へ一戰を試みた觀衆無慮一千、定刻吉本(球)戶田(壘)兩氏審判の下に午後二時半安東滿俱先攻にて開戰安滿此の日非常に調子よく第一回に三點を先取し最後まで壓迫を加へ結局三對〇を以て勝を占めん因に當日のメムバー及びスコアーは左の如し

	安滿		奉滿
8	願岡	7	香原
3	部井	5	水近
7	條山	3	青田
2	葉馬	2	池瀨
4	塚筒	9	中川
1	吉服	1	田原
5	酒上	8	藤木
6	瀨千	6	村谷
9	有手	4	日野

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
安滿	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
奉滿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

飛行演習
新義州にて

平壤飛行聯隊は近く新義州において約二週間にわたり飛行演習を實施する筈である、參加飛行機は偵察機六機なるが開始期は多分九日若くは十日頃となるであらう

競馬好成績

安東臨時競馬の去月二十八、二十九、三十の三日間の馬券總賣上は五萬九千七百六十圓で第二期の五日初日も一萬六千百三十六圓の賣揚げを示し、初日以來を通じて四日間の累計は七萬五千八百九十六圓に達し此處許りは不景氣知らず

粟野地方課長
七日來遼

滿鐵地方部粟野地方課長は七日朝來遼見坊所長の案內で師團司令部、領事館、警察署其の他を訪問新任挨拶の後十一時から地方事務所會議室に地方委員正副議長青山、猿渡兩委員、松田更正會委員を招き廿萬圓問題につき從來の經緯を聽取し將來の振興策につき意見を交換した、因みに生田更生會長外數名は社團法人設立の件につき七日夜行で關東廳を訪問した

白塔だより

遼陽駐[illegible]部隊の移駐は二十數年來其の計[illegible]つきては在住民は赤誠をこめて歡迎の意を表すべく計畫中である事は誠に結構▲駐[illegible]

公主嶺

菱刈軍司令官
官民招待披露宴

菱刈關東軍司令官は當地駐劄各部隊初度巡視のため八日午後六時着の列車にて來公、丸福旅館に一泊九日正午守備隊將校集會所に主なる官民を招じ開宴、十五時二十七分發の列車にて北行した

人・事

▲菱刈軍司令官　七日急行で來遼在遼部隊の初巡視をなし八日朝北行

馬賊頭目逮捕

懷德縣下の各部落を横行農民を襲ひ掠奪を擅にし婦女を拉致しうしてゐた馬賊頭目相は、同縣支那官憲の手に股肱の部下四名と共に逮捕され身邊に危險が迫つたので嚴重な警戒網を突破し公主嶺の支那部落に潛入したとの情報に、當署古田刑事は部下を督し附屬地を警戒中七日午前十一時市內新町と落合橋の十字路を徘徊しをる擧動不審の支那人を發見誰何訊問の結果、該頭目であることが判明したので間髮を容れず逮捕し目下嚴重取調中

新義州署では直に金基豪を引致し過失致死罪として取調中である

外蒙の現狀 (7)

Y X 生

(四) 對支關係と對國民軍態度（下）

從來外蒙が支那に期待せし所のものは、其國交を恢復して修交條約を結び新に支蒙貿易を復活せしむるにあり、蒙古政府は再三非公式に蒙藏院を介して其意を支那政府に傳へしめたるも支那政府の容るゝ所とならざりき、然るに其希望は前記露支條約によりて全く打ち碎かれたり、故に展開策として彼等は其境域內にある支那商人に對し極度の壓迫を加へ、彼等の經濟的勢力を一掃して自ら經濟的復活すべく官民一致して其宣傳と實行に着手したり、即ち、金融機關を各地に設き貨幣を鑄造して物々交換の弊を除き、コーペラティーブを設置して需給を調節し、其他精酒工場、皮革工場、自動車會社の設置經營、更に南方よりの輸入品への重稅、一方、北方貿易に對しては輸出入品とも極めて低廉なる稅率を課するに過ぎず、而して此機會に露商人の進入は日を追つて益々增加し與地到る處其部落を形成するの狀を呈し、恰も支那商に對する露蒙聯合の經濟戰の觀を呈し、遂に支那商をして孤立無援今や舊來の勢力によりて僅に命脈を保持するの悲境に沈淪せしめたり、外蒙今日の急激なる赤化進化は赤露の教化訓練に負ふ所大なりと雖も、一面に於て支那の冷酷なる對蒙態度が招來せる禍又尠しとせず、故に今日支那が多少なりとも妥協の意志を表示するに於ては外蒙は進んで其代表を派するに躊躇せざるべし、外蒙は已に支那が絕へず內亂政爭に沒頭して其餘力無きを知るも、支那の承認を欲するや切なり、支那の承認を得ざれば列強の承認を得ること容易にあらざるを知るが故なり

轉じて馮玉祥との關係を觀るに、一部的密約の如きは外蒙が殆ど之を世に發表せられたる馮對外蒙の局題視せざるが如し、抑々外蒙が馮玉祥と密約を締ぶに至りしは、昨十四年十一月、外蒙中央執行委員會長丹巴多爾濟が張家口に於ける內蒙國民黨創立總會式に際し外蒙を代表して出席せるを機として兩者の間に成立せるものなるも、是より先き同年三月廣東政府顧問ボローヂンが突如張家口に來りて馮玉祥との間に彼の有名なる密約を締結し、爾來國民軍は赤露より顧問教官を招聘し武器の供給を受け軍費を支給せらるゝ等、馮と赤露間の連絡は完全に成立せしも而も武器の受授赤露張家口間の往復等其他總て外蒙を經由せざるべからず、然るに當時未だ馮と外蒙間の諒解成らず且つ外蒙は地理的に兩者の仲介處たる位置であるを以て一は赤露を介し他は內蒙國民黨をして兩者連絡の任に當らしめたり、其結果兵を外蒙に入れざるを條件として馮側の希望を容るゝに至れり、然れども外蒙は馮に對しては中立的態度を以てし何れかと言へば寧ろ赤露對國民軍の關係を白眼視するの態度を以て之に對しつゝあるの狀態にあり、何となれば外蒙としては是に依りて何等益する所なきのみならず、畢に馮に赤露に過ぎざればなり、要するに赤露の態度已むを得ざりしに依るが如し當時外蒙當局者の予に語りし處に依れば

若し國民軍にして一歩を外蒙境域內に入るゝが如きことあれば外蒙は斷乎たる處置を採るに躊躇せざるべし

と、果して國民軍敗退の際外蒙は兵を國境に增派して是に備ふる所ありしと傳へらる、外蒙政府の對手は結局與中央政府にあり、故に區々たる國民軍の勢力消長の如き外蒙政府としては殆ど無關心の狀態に在り

海員團の要求

駿河町　一書生

近頃海員の團體より大連汽船に要求の乘組支那人の取替一件は少し無理ではありますまいか、力量が同一で賃金の高い邦人を採用は無理ではないでせう、邦人やフイリツピン人が米國に歡迎されるのは、賃が同じで價が安いからで、同國の勞働者連中が種々の妨害や壓迫を加へても矢張り無効だそうですそれに動物でさへ情合があるものです、今永く寢食苦樂を共にせし者を正當な理由も無しに突然追ひ出すなぞは不人情不德義全く沙汰の限りです、在滿邦人は口を開けば共存共榮を唱へてみるではありませんか餘りに狹い了簡を起しては個人間は勿論、國交上にも惡影響を及ぼすの虞れがありませう、も少し氣の利いた救濟法がないでせうか

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　一回行數五十行以內のこと

全世界に揚る報復の火の手
不評判の米新關稅

アメリカが實施した新關稅は世界的に不評判であるが、其の後反對の火の手は益々擧り、報復手段に出るものが益々增加して來た、そこで「各國がアメリカ品をボイコットするとすれば、その際に乘じて日本品が進出することは出來ないものかといふやうなことを考へてゐるものもある。

アメリカの新關稅法が議會に提出されて以來約三十ケ國が抗議を提出した、その中最も手廻しよく、而も有效に一擊を加へたのはカナダであつた、カナダはアメリカ新關稅實施の一ケ月半も前に關稅改正を行つた、改正の要旨はイギリス帝國品に對する特惠を擴張した事、外國へ對する報復關稅を用意した事である、この報復關稅はアメリカの引上實現と共に自動的に實施された、カナダはアメリカ最大の顧客で年々八億ドルのものを買つてゐた、然し新關稅で二億ドル以上減るとアメリカ商務省は憂慮してゐる、但しアメリカ品中最も打擊を蒙るのは農產物及鐵で、日本品の割込む餘地は餘りない。ゼネラル・モータース輸出會社々長ムーネー氏は先頃左の如き演說を試みた

アメリカの關稅引上げはイギリス品の進出に絕好の機會を與へた、カナダの關稅改正もオーストラリアの關稅改正もそうである、オーストラリアは先頃アメリカ自動車の關稅を五割引上げ其の他の商品にも禁止的關稅を課した、引上の主因は同國の經濟事情に基づくのであるが、アメリカの關稅引上がこれを刺戟したことも事實である、オーストラリアは從來「イギリス品を買へ」の運動には餘り動かされずアメリカには比較的好意的であつたのに殘念なことである。

フランスは去る四月自動車關稅の增徵になり、この結果一部の關稅は五割の基礎を輸出價格より重量に變更した、自動車は事實上輸出不可能となつた更に六月廿日パリ發電によるとアメリカ新關稅法實施に對しフランスの輿論は大いに沸騰し、本日フランス下院關稅委員會は政府に對し次の勸告決議を行つた、即ちアメリカの關稅を元通りにさせるか、若しくは報復手段に出づべしといふのである、一方急進黨首領エリオ氏は、アメリカの關稅引上に對しヨーロッパ諸國政府が共同的行動に出づべきであると說いた、又プチ・ヂュルール紙はこの際ヨーロッパ聯邦組織の絕對的に必要なることを力說してゐる。

ベルギー政府も報復手段を執るに決した、但しその具體案は他のヨーロッパ諸國と協議の上決定することになつてゐる、スペイン政府に於ても、この際アメリカとの現行暫定通商條約を廢棄すべしとの同國實業家の訴願を考慮中である又先頃次の如き噂もあつた、即ちイギリス、ドイツ及びベルギーの銅輸入商は共同して價格三千萬弗に上る對米銅注文を廢棄せんとしてゐると、又イタリー及びベルギーの自動車製造業者はアメリカ自動車排擊の全ヨーロッパ的運動を起さんとしてゐるとの報道もある

南米はアメリカの最も重要な市場であるが、そこにもアメリカ品排斥の運動が起つて來た、アルゼンチンは去る五月、對米報復の目的を以て新關稅制定委員を任命したアメリカ商品で最も狙はれてゐるのは自動車である、アメリカは年額五億弗以上を輸出するがこれでは日本品の割込む餘地はまづない

歐洲大戰同望 ……(6)……
兩軍の戰術的清算

K、O、生

(二) 塹壕戰

北地を驅る事早い。そぼ降る雨に濡れ乍ら泥濘の道を獨軍は逃げ聯合軍は追つた。勝つて追ふ者にも十分の餘力が無かつたから、逃げる者も次第にその陣形を立直す餘裕が出來た。かくて九月十九日の頃、兩軍は、エーヌ河の線に沿ふて踏み止まることが出來たそれから所謂北海までの長距離競走が始まつた。

日露戰爭によつて教へられた筈であり、而も十分に理解されて居なかつた塹壕の威力は、この長距離競走において無意識的に示された、エーヌ河畔で獨軍が踏み止まることが出來たのは主として速成の簡單な掩壕のおかげであつた。かくて彼我兩軍は塹壕の未だ築かれて居らぬ無主地帶へ進出して敵の側翼を抱込まうと互にその西翼を伸はし遂に北海の沿岸まで行つたのである。それは結局十月中旬獨軍はオスタンド、聯合軍はニューポールに達する事によつて行詰つた。これより後三年半の間、西部戰線は、猛烈なる塹壕突破の企と、これに伴ふ慘澹たる犧牲と、常に例外無き失敗とで終始し、塹壕の威力をいやが上にも證明するに過ぎなかつた。

この塹壕突破の企ては先づ獨軍によつて十月二十日より十一月十一日に亘り、アラスとイプルスに向つて試みられた。殊に後者に於いてはスタール・ゲウイッテス（鋼鐵の暴風雨）と名けられた砲彈と砲彈との晝夜の別無き砲擊を以てし、十月三十日フアベック指揮の新軍團と二百五十門の重砲が猛敵の猛擊を加へられたにも拘はらず英軍の砲兵は半時間に一發にその砲彈を制限すべく餘儀無くされ小銃用の機械油すらも缺乏を告ぐるほどの慘な有様になつたが敵は遂にその目的を達することが出來なかつた。

十一月下旬獨は東方戰場の急を救ふために騎兵全部と歩兵三個軍團を西部戰線から割いてガリシアに送つた。聯合軍はこゝに於て一九一五年三月末、酷寒の緩むを待ち、西部戰線に於て總攻擊を行つたが、英軍はリイルに向つて三哩幅に一哩進出し得たに過ぎず、佛軍はサンエルにおける獨軍突出部を少しく削り得たに止まり、四月に入るや獨軍は始めて毒ガスを使用し英佛軍の一翼部を中斷しやうとしたが失敗し、五月佛フオッシュの第九軍はヴイミイ丘陵部に向つて凄慘なる猛襲を加へたが、三ケ月間に二十萬の犧牲を出して殆んど何等の效果を收むる所無く九月ルースにおける攻擊に際しても英軍は空しく六萬の損傷を生じたに過ぎなかつた。

塹壕の威力は次第に明確に認識されざるを得なかつた。機關銃の發達と、其他各種火器の速射性及間接射擊法の進步とは、塹壕の威力を大なるものにした主因である。此等の火器と鐵條網とによつて擁護さるゝ塹壕は一の難攻不落せる要塞と化した。人は近來の各種火器の發達において只その攻擊力を見て防禦力を忘れて居たことが判つて來た。フレデリック大王は「進むことは勝つこと也」と言つた獨軍はこの信念の下に攻擊精神に於て徹底して居た。この旺盛なる攻擊精神を動力とせる惜む所無き肉彈と砲彈の洪水は如何に堅固なる陣地をも突破し得ると考へて居たが、その凡ての進擊が塹壕の前には失敗した。十分なる銃砲を以て守らるゝ塹壕はその前面四百乃至八百碼において敵の進擊を阻止することが出來た。一九一三年において一般專門家は、次の戰爭は移動戰であり、且つ迅速に終結するであらうと考へて居たが、ポーランドの一銀行員ブロッホは十九世紀において既に、

次の戰爭においては兵員は凡て塹壕にこもるべく、鋤は銃と同樣に缺くべからざるものとなるであらう

と豫言して、さうして其豫言は一〇〇パアセントに於いて實現したのである

（此項つゞく）

人世を蝕はみ誰にでも傳染す！
癩病の話 (一)

醫學博士　小久保惠作氏（遺稿）

西曆一八七二年ハンゼン博士の癩菌發見によつて、癩は遺傳ではなく傳染性である事が斷定せられ、內外の學者は舉つて此の說を是認唱導する處となり、臨床學上に一新紀元を劃する事になつた。

×　×

此の業病が遺傳でない事は生理學上に於ても、男子の精虫及女子の卵子は他の微生物の介在する時は斷じて受胎せざる事實によつて證明されてゐるにも拘らず我國に於ては未だ「遺傳」と信ずるもの多く、從つて警戒を怠るために年々新患者が增加し今日に於ては世界第一の癩病國に列せられ誠に寒心に堪えぬ次第であります。（東京朝日所報）

×　×

抑々癩菌が人體內に浸入すると徐々に潛伏繁殖して外部に症狀があらはれるので此の間を潛伏期と云ひ一年乃至十年位に亘る事もある潛伏期中は血液檢査をしても癩菌は發見出來ず、僅に患者自身の感覺に異狀を呈するに過ぎぬものである爲め偶々、皮膚病、梅毒、神經痛、と誤られ拾好な手當てを施す裡に潛伏期が過ぎて昂進期に進むのである。

昂進期に入ると病勢の惡化する速度は極めて迅く僅か數日のうちに顏面筋肉が腫脹弛緩し畢には腐敗せる梨の實の如く凸凹を生じ口唇は腐蝕崩壞して齒を露き出すの醜怪極まる相貌となるものであるから吾人は平素警戒せねばならぬ。

×　×

既に發病せる患者は勿論本稿末尾の初期兆候に心當りの人は予の知人福田秋水氏（東京市下谷區車坂町九二ノド號）に照會し治療書を乞へば小包便で無代送呈さる

傳染初期の兆候

（一）眉毛が痒く、掻けば切れ又は頭髮、眉毛、腋毛、陰毛等が徐々に脫毛する。

（二）冬期になると顏、手足が褐色を帶び紺肌となり、或は凍傷或は水疱を生ずるも夏になると治り亦は顏面油を塗りし如き光澤あり而て顏面に熱を感じ、逆上て頭痛を起す

（三）鼻孔內に腫物を生じ鼻の疏通を缺き涕は膿の如く粘り、而て偶々鼻血が出る事がある。

（四）躰の一部に小虫の這ふ如き感のする事あり、亦はチクチクと針を刺さるる如き痛みあるも瞬時にして止む。

（五）睫毛が逆生し拔き採るも亦生え眼球を刺して痛く眼瞼もピクピクと痙攣しウルミて淚が出る

（六）手足に脂肪氣なく、皮膚に皺を生じて老人の如く爪は白く脆なり指先の知覺が鈍くなる。

（七）田虫樣の斑紋を發生し、掻けば痛を覺す。

（八）躰の一部に知覺を失ひ亦は反對に此の部分に物が觸れば非常に疼痛を感ず。

探偵小説 女妖 (136)

江戸川亂步 作
橫溝正史
伊藤幾久造 畫

黒い棘 (一)

春日花子と成瀬子爵の新らしい共同生活は、パリーでも最も靜かな聖街で始まつた。

彼女はこの戀人と唯二人だけで棲めるといふだけの事で、極んな悲しみや惱みも暫く忘れてゐる位だつた。父の死――それは彼女にとつては何といつても大きな悲しみに違ひなかつた。千家鷹麿の恐ろしい魔手から逃れて、漸く氣も落着いた頃を見計らつて改めて、成瀬子爵からその事を告げられたのであるが、その時はさすがに彼女も氣を失ひさうであつた。

成瀬子爵はそれ以上の事は、彼女の氣持を押し計つて何も言はなかつたけれど、彼女には凡そその見當も附いてゐた。あの綾小路浪子邸で聞いた父の秘密――、それは永劫に消える事なしに彼女の心に蟠つてゐるだらう。忌まはしい私生兒――、情ない野合の子――それが自分の上に負はされた運命なのだ。幸か不幸か、父の前の妻は、最近になつて何者にとも知れず殺害された。然しそれかと言つて自分の出生にやきつけられた、忌まはしい運命は拭はるべくもないのだ。

自分の父とが母とが、神の御前で愛を誓ひ、永劫のちぎりを結んだ時、父の本當の妻は別の所で生存してゐたのだ。從つて彼等の誓ひは神を欺いた事になり、改めて本當の妻の死後、結婚をしない限り未來永劫本當の夫婦ではないのだ。さうした呪はれた夫婦の間に出來た子供――、それが即ち自分なのだ。あゝ何といふ呪はしい出生だらうか。

花子は今日も自分の居間に引籠つた切り、浮かぬ顏でとや角と思案に耽れてゐた。何時になつたらからりと晴れ渡つたやうな氣持になれるのだらう。

成瀬子爵は朝から出たきりまだ歸つて來ない。今は唯子爵ばかりが彼女にとつては唯一の頼みだつた。それに彼女は心の底から子爵を愛してゐる。しかし、それでゐ[illegible]く、彼女は子爵を白紙を以て迎へる事が出來ないのであつた。あの春日集街の事件――そして自分達一家の秘密――、それを考へ合はせると、子爵の無罪を信じきる事が出來なかつた。

自分達一家のために子爵があんな事をしたのではなからうか。それは充分信じられる事柄である。若も、若も、子爵が何も知らないといふのであつたなら――、あゝその時に殘る唯一人の人！それは自分の父親ではないか。

どちらを見ても彼女の周圍は眞闇だつた。良人を信じやうとすれば父を疑はねばならぬ。父を信じやうとすれば、當然、良人を疑はねばならぬのだ。どちらにしても彼女は、自分を疑ふ方がまだ安心なくらゐだつた。

「お孃樣、お客樣がお見えになりました」

さう言つて入つて來たのは、意外あの牛松の妻お乘ではないか。いやいや、別にこれは意外とするに足りぬ事柄であつたかも知れない。千家邸のあの夜以來、彼等は當然行動を共にする事になつたのだ。花子も子爵も牛松もお乘も、みんな世間から隱れてゐなければならぬ身分である事は同じである。

當然彼等が同盟を結んだのも頷ける話である。今ではお乘の父庄司三平をも加へて、此の隱れ家で五人暮しだつた。

「お客樣？あたしにと言つて？」

花子はどきりとしたやうに聞き返した。この隱れ家は、誰にも絶對に秘密にしてあつたのである。誰だらう。自分を名指して逢ひに來た人は？

「はい、春日花子さまへと申して居りました」

お乘も不安さうに答へる。

「どんな人、男の人？女の人？」

「ハイ、女の方でございます。でも、深いヴエールで顏を包んでゐらつしやいますので、どんなお方かよく分りませんので」

「浪子さんぢやアないか知らん」

花子はさう言つて、首をかし[illegible]た。

彼女は浪子があんな奇禍に會[illegible]たよく知らないのだ。